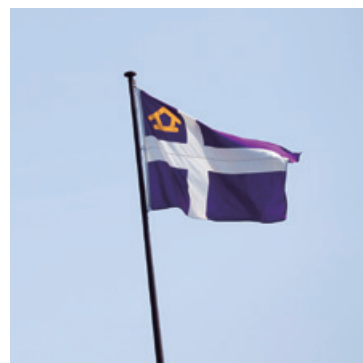




RIKKYO INFORMATION

保護者のための大学案内 2026-2027



立教大学

保護者の皆さまへ

立教大学では、毎年5月より池袋・新座の両キャンパスおよび全国各地にて「教育懇談会」を開催しています。

この会は、学生一人ひとりがより充実した大学生活を送ることができるよう、保護者の皆さまと大学との連携をより密にし、相互の理解を深め、情報を共有することを目的としています。

教育懇談会には、池袋・新座の両キャンパスで学年ごとに対象を分けて実施する「年次別教育懇談会」と、全国各地で開催する「地区別教育懇談会」があり、両方の懇談会にご参加いただくことも可能です。

なお、年次別教育懇談会の一部プログラムについては、ライブ配信およびアーカイブ配信を実施しており、遠方にお住まいの方や当日の参加が難しい方にも情報をお届けできるよう、多様な参加方法を用意しています。



創立者

チャニング・ムーア・ウィリアムズ

Channing Moore Williams

1829年7月18日、アメリカ合衆国ヴァージニア州リッチモンド市で生まれる。

聖公会のヴァージニア神学校を卒業後、中国派遣宣教師に任命され、1856年6月に上海に到着。1859年日本に派遣され、同年6月に長崎に到着。幕府のキリスト教弾圧の中、伝道に努める。1866年に一旦帰国した後、中国・日本伝道主教として中国の新拠点の武昌へ。1869年、大阪に移り英語塾を開く。

その後東京に移り、1874年2月に築地に立教の前身となる私塾を開く。1889年、後進に道をゆずるべく主教職を辞任。1895年、京都に移り関西地方の伝道に生涯最後の力を注ぐ。1908年、健康を害することが多くなり、帰国。1910年12月2日、故郷リッチモンド市で生涯を終える。享年81。

CONTENTS

総長挨拶 2	国際交流28
創立者チャニング・ムーア・ウィリアムズと 「建学の精神」 立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言	国際センター主催の海外留学制度、 国際センター以外主催のプログラム、 「大学間協定に基づく派遣留学制度」Q&A、 国内での国際交流、留学に関する情報収集
教育懇談会(保護者対象)のご案内 4	資格取得 33
立教大学のあゆみ 6	教職課程(教員免許状)、学芸員課程(学芸員)、 司書課程(図書館司書、学校図書館司書教諭)、 社会教育主事課程(社会教育主事)、その他の資格
数字でわかる立教大学 8	奨学金 34
学部・学科等一覧10	学部生対象の主な奨学金、奨学金に関するQ&A
立教カレンダー11	体育会・サークル活動 36
学びのシステム12	学生関係施設、 体育会・サークルのための主な援助金・表彰制度、 体育会・サークル一覧
RIKKYO Learning Style	図書館 38
教学上の主なスケジュール・ 単位修得等について14	多様化する学修への対応、ニーズに合わせた環境整備
2026年度スケジュール、成績表の見方、 「授業・成績」に関するQ&A等	学生生活支援 40
正課外教育プログラム19	健康管理、医療費の給付(学生健保)、学生教育研究 災害傷害保険(学研災)、診療所・保健室、学生相談所、 ボランティアセンター、ジェンダーフォーラム、人権・ハ ラスメント対策センター、部屋紹介、アルバイト紹介、 学生サポート窓口
学生課主催プログラム、 ボランティアセンター主催プログラム、 陸前高田サテライト主催プログラム、 チャペルプログラム	キャリア・就職支援 42
立教サービ斯拉ーニング(RSL)22	キャリアの立教、就職支援、 卒業者に占める就職者の割合推移、進路決定状況、 学部別進路決定状況、業種別就職状況、 業種カテゴリ別主な就職先、学部別就職状況、 Uターン就職率、道府県別主な就職先(首都圏を除く)
立教サービ斯拉ーニング(RSL)とは、 講義系科目の特徴、実践系科目の特徴、 立教ラーニングスタイルとの関係	立教大学データ 56
しょうがい学生支援24	受験状況、教員状況、学生状況、財務状況
しょうがい学生支援方針、しょうがい学生支援の取り組み、 しょうがいしゃ(学生・教職員)支援ネットワーク、 サポートスタッフ学生、合理的配慮の申請から支援まで、 しょうがい学生支援室	校友会 60
グローバル教育センタープログラム26	世界中に広がる校友のネットワーク、 さまざまな分野で活躍する校友、ホームカミングデー、 大学・学生への支援、次世代委員会
立教GLP(グローバル・リーダーシップ・プログラム)、 海外ワークエクスperiences関連科目、子どもの権利か ら考える国際協力、国連ユースボランティア、陸前高田 プロジェクト	各種ご案内 62
お問い合わせ先一覧 裏表紙	「緊急連絡システム」に関するご案内、 立教カードのご案内、キャンパスアクセスマップ

『創立者チャニング・ムーア・ウィリアムズと 「建学の精神」』



総長 西原 廉太

一昨年、立教学院は創立 150 周年を迎えました。1874 年、東京築地に「立教学校」(St. Paul's School)を創設した米国聖公会宣教師、チャニング・ムーア・ウィリアムズの「ミッション」とは何であったのでしょうか。1859 年、長崎にウィリアムズ主教が来日した時、そこにはまだ「切支丹禁令」の高札が立っていました。禁教令が廃されたのは、立教が創設される 1 年前の 1873 年のことです。ウィリアムズ主教が日本で活動を開始した時、ウィリアムズが願った教育に対する基本的需要は、日本には存在しなかったのです。

現代の教育関係者の多くは、学校を始めるに際し、まず市場の需要を調べ、その後でそれを支える教員や施設を調達するという順序を、何の疑いもなく選択するでしょう。しかしながら、学校教育とは、若い者たちに、如何としても伝えたいことがあり、教えることこそが自らの「ミッション」(使命)であると確信する者によって始まったということ、歴史は教えてくれています。事実、ウィリアムズの約 7 年にも及ぶ長崎での見通しのない生活と、その後の苦闘がなければ、今の私たちの立教大学は存在していません。そして、ついにウィリアムズが米国聖公会の支援のもと、築地に聖書と英学を教える「立教学校」(St. Paul's School)を開いた時に、集まったのはわずか数人の学生でした。

教育さえも、市場的原理で考える風潮が支配的となった現代において、もはや、このウィリアムズの孤独を理解することはできないのかもしれませんが。市場的原理に従えば、厳しくキリスト教が禁じられている国に、キリスト教の学校を開くという危険な選択は決して取らないはずで。もし、ウィリアムズ主教が、現代のような市場的原理で教育を考えていたならば、私たちの

立教大学は、決して存在していなかったのです。

人類が築きあげてきた「知」の体系に対する深い造詣と、これを現実の世界、社会の中で適応していく力を持ちうる「ひと」を生み育てる「場」として、私たちの立教大学は存在しています。この「建学の精神」を基として、時間と空間を超えて、人と人をつなぎ、世界につながる大学で、ご子息・ご息女は学ばれます。

私たち教職員は、ご子息・ご息女に最高級の教育内容・教育環境を提供するため、引き続き全力を尽くしてまいります。保護者の皆さまにおかれましても、どうぞご理解、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2021年4月、「立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言」を新たに公表し、立教大学を構成するすべての学生・教員・職員が協働して具体的に取り組むことを、本学における最重要の課題としています。

《立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言》

【1】立教大学は、キリスト教に基づいて人格を陶冶し、人間の尊厳を自覚する教育をおこないます。

立教大学は、個々人の「人格と尊厳」(ディグニティ)が尊重され、それぞれの能力が最大限に発揮されるような、自由な学問と教育の場であることをめざしています。人権意識、当事者意識をはぐくむ正課教育・正課外教育を追求します。

【2】立教大学は、みずからの学びと体験を他者に伝達し、他者と共有できる感性と知性をもった人間を育てます。

学びと体験を個人にとどめず、他者に正しく伝達できる「開かれた知性」をもった市民を社会に送り出します。それぞれが自由に触発・交流し合い、他者、とりわけ生きる条件のきびしい他者存在を受けとめて生き合うキャンパスづくりをめざします。

【3】立教大学は、あらゆるキャンパス・ハラスメントに対し、断固たる態度でこれを排除し、防止します。

キャンパス・ハラスメントは、個人の人格的尊厳(ディグニティ)を傷つけ、人権を侵害する行為です。同時に、大学の教育・研究を支える環境を損なう行為でもあります。立教大学は、このような行為を一切許さず、生じさせない環境を保持します。

教育懇談会(保護者対象)のご案内



立教大学では、5月より池袋・新座の両キャンパスおよび全国各地にて「教育懇談会」を開催しています。

この会は、学生1人ひとりがより充実した大学生活を送ることができるよう、保護者の皆さまと大学との連携をより密にし、相互の理解を深め情報を共有することを目的としています。

教育懇談会には、池袋・新座の両キャンパスで学年ごとに対象を分けて実施する「年次別教育懇談会」と、全国各地で開催する「地区別教育懇談会」があります。両方の懇談会にご参加いただくことも可能です。

年次別教育懇談会の一部のプログラムは、ライブ配信やアーカイブ配信を実施しており、遠方にお住まいの方や当日の参加が難しい方にも情報をお届けできるよう、多様な参加方法を用意しています。

2026年度 教育懇談会のプログラムご案内

年次別教育懇談会

年次別教育懇談会

(池袋・新座キャンパス開催) プログラム

■ 基本プログラム

- ① 全体会(本学代表者挨拶・講演)★
- ② 学部別プログラム★

■ 任意参加プログラム

- ① 留学に関する説明会(1・2年)★
- ② 就職支援の状況説明会・就職に関する個別相談(4年次)★
- ③ 学生によるキャンパスツアー

全体会では、大学代表者による挨拶の他、年次ごとのニーズに合わせたテーマでの講演会を実施しています。

学部別プログラムでは、各学部の教員が教育方針などをご説明します。

この他、任意参加プログラムでは、留学や就職支援の説明会、学生によるキャンパスツアーなどの任意プログラムもご用意しています。

★印の一部プログラムでは、ライブ配信またはアーカイブ配信を行います。



全体会



キャンパスツアー



留学説明会

地区別教育懇談会

地区別教育懇談会

(各地区ホテル開催) プログラム

■ 基本プログラム

- ① 大学代表者挨拶
- ② 懇談会

■ 任意参加プログラム

- ① 履修成績、キャリアに関する説明
- ② 個別相談会(事前申込制)

懇談会では、大学代表者の挨拶に続き、大学代表者が各テーブルを回り、参加者と直接懇談を行いますので、参加者同士での情報交換に留まらない貴重な交流の機会となっております。

任意参加プログラムでは、履修成績及びキャリアに関する説明会を実施しております。また、事前申込制となりますが、担当スタッフによる「履修成績」や「就職支援」の個別相談にもご参加いただけます。(一部オンライン実施の場合あり)



懇談会



個別相談

2026年度教育懇談会 開催日程及び参加方法

■ 年次別教育懇談会

対象学年	開催地	日付
1年次	池袋キャンパス	10月10日(土)
1年次	新座キャンパス	10月17日(土)
2年次	池袋キャンパス	5月16日(土)
2年次	新座キャンパス	5月23日(土)
3年次	池袋キャンパス	6月20日(土)
3年次	新座キャンパス	6月27日(土)
4年次	池袋キャンパス	6月13日(土)

皆さまにより柔軟かつ広くご参加いただくため、年次別教育懇談会は以下の3つの参加形式をご用意しております。

- ①現地参加
キャンパスツアーや4年次向けの就職個別相談など、現地参加ならではのプログラムをご用意しています。
- ②ライブ配信（一部プログラムのみ）
お好きな場所でもどこからでもリアルタイムでご視聴が可能です。
- ③アーカイブ配信（一部プログラムのみ）
配信期間中はいつでも、繰り返し視聴が可能です。

■ 地区別教育懇談会

開催地区	開催地	日付	会場
東北地区	仙台	9月12日(土)	仙台国際ホテル
福島県	いわき	7月18日(土)	いわきワシントンホテル
茨城県	水戸	8月1日(土)	水戸三の丸ホテル
栃木県	宇都宮	5月30日(土)	宇都宮東武ホテルグランデ
群馬県	高崎	7月25日(土)	ホテルメトロポリタン高崎
新潟県	新潟	7月4日(土)	ホテルグローバルビュー新潟
北陸地区	金沢	9月26日(土)	金沢ニューグランドホテル
長野県	長野	7月4日(土)	ホテルJALシティ長野
静岡県	静岡	6月6日(土)	ホテルアソシア静岡
中部地区	名古屋	9月6日(日)	ホテルメルパルク名古屋
近畿地区	大阪	9月19日(土)	アートホテル大阪ベイタワー
四国地区	高松	7月11日(土)	JRホテルクレメント高松
九州地区	福岡	8月29日(土)	ソラリア西鉄ホテル福岡
沖縄県	那覇	10月24日(土)	パシフィックホテル沖縄

■ 教育懇談会の予約方法について

教育懇談会申し込みはWebサイトから



- 1 上記二次元コードをお読み取りください。
 - 2 ログインID、パスワードを入力してください。
昨年度ログインされた方は④へ、
初回ログインの方は、以下のID、パスワードをご入力ください。
- (例) ID 11XX1111X (学生番号/半角英数字8文字) PW r11111111 (r+学生の生年月日8桁)
- 3 画面に従い、メールアドレスの認証と初期パスワードの変更を行います。
 - 4 予約者情報を登録、完了後、会場予約が可能になります。
- ※予約内容の変更やキャンセルは、予約サイトにログイン後、画面右上の「予約履歴」メニューからお手続きいただけます。

■ 教育懇談会についてのよくある質問について

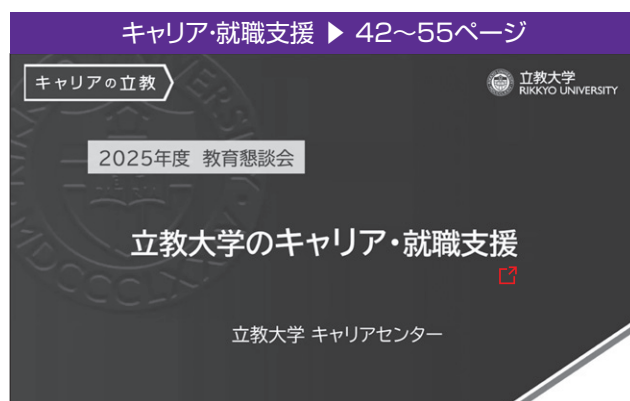
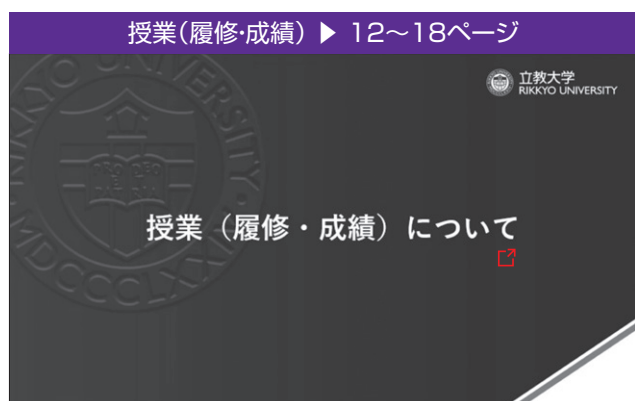
こちらの「[保護者の皆さまへ](#)」をご参照ください。

■ その他お問い合わせ事項について

こちらの「[保護者の皆さまからのご質問受付フォーム](#)」からご相談をいただけますと担当者より回答させていただきます。

授業（履修・成績）、キャリア・就職支援に関するご案内

地区別教育懇談会の「授業（履修・成績）」、「キャリア・就職支援」に関する説明はこちらの動画をご覧ください。動画上のタイトル記載の本紙該当ページもあわせてご参照ください。



立教大学のあゆみ

立教の創立

米国人宣教師に導かれ、「ボーイズ・スクール」が歩み始めた

立教大学の源流となる塾は、1874（明治7）年2月3日、米国聖公会の宣教師ウィリアムズによって築地の地につくられました。「立教学校」と名付けられたこの塾は、わずかな教師と生徒で出発しました。

1883（明治16）年、校名を「立教大学校」に変更し、米国のカレッジにならった高い水準の専門教育が目指され、授業は英語で行われました。しかし、国家主義・国粹主義的な傾向が強まる中で、キリスト教への風当たりが強くなっていきました。他方、官公立学校を中心とした学校制度が整えられ、制度外の私立学校の立場は難しいものとなりました。キリスト教主義を掲げてきた私立の立教大学校は、日本人の教員を増やすなど、日本の実情に合わせた改革を行い、校名を再び「立教学校」としました。



最初の校舎となるロングフェロー邸
ウィリアムズの塾は、詩人ヘンリー・ロングフェローの子息の邸宅を借りて始められた。

「立教大学」の設立

試練の中での模索— 「正規の学校」への道は険しかった

改革を続けてきた立教学校は、1896（明治29）年、「立教尋常中学校」と「立教専修学校」の2つにわかれしました。また、翌年には、神田に「東京英語専修学校」が設置され、三校体制になりました。このうち、立教尋常中学校は、1898（明治31）年、中学校令による尋常中学校として東京府知事からの正式な認可を受け、生徒数も順調に増えていきました。

しかし、設立の認可を受けていない立教専修学校と東京英語専修学校は、その後、閉鎖されました。立教中学校にとって卒業生を受け入れる上級課程の学校が不可欠だと判断したタッカー総理のもと、1907（明治40）年、立教に専門学校令による専門学校が開設されました。予科課程を備えていたため、文部省から「大学」の名を冠することを認められました。「立教大学」の名を持つ学校の始まりです。



立教大学の校舎
1907（明治40）年、「立教大学」の設置にあたって建設された校舎。

大学昇格と関東大震災

私学新時代のもとで「自由の学府」が生まれる

大学の新設により、築地キャンパスだけでは狭くなり、将来的な発展を考えて、1918（大正7）年9月に大学を池袋へ移転しました。翌年5月には、レンガ校舎の落成式が盛大に執り行われました。さらに、1918年の大学令のもと、公立・私立でも大学を設置できるようになり、立教大学も1922（大正11）年に文部大臣が認める正式な大学となりました。

1923（大正12）年9月1日の関東大震災により、立教大学のレンガ校舎も大きな被害を受けました。立教が深刻な被害に遭遇しているとの報に接した米国聖公会は、ただちに支援の手を差し伸べ、立教大学の校舎は2年のうちに修復されました。

その後、立教大学では、研究・教育環境が整備されるとともに、体育会と文化会からなる学友会の活動も活発に行われました。その一方で、1925（大正14）年、「陸軍現役将校学校配属令」が公布されると、軍事教練が実施されるようになりました。



**震災で崩れた
本館（南側）の前での集合写真**
関東大震災により、レンガ校舎には大規模な被害が発生した。

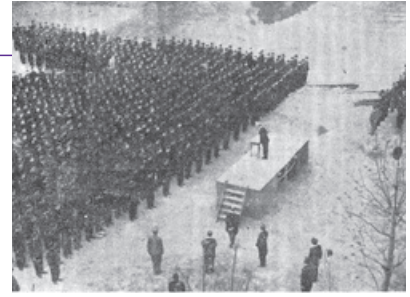
戦時下の立教大学

総力戦のもとで教育と学園は変わった

1931（昭和6）年の満州事変、1937（昭和12）年の日中戦争と戦火が拡大していく中で、日本の対外関係は悪化の一途をたどりました。それに伴い、外国人教師・宣教師は次々と日本を離れました。1941（昭和16）年12月8日のアジア・太平洋戦争の開始により、立教を生み、そして発展を支えてきた米国聖公会との関係は、ここで一度、完全に断たれました。

開戦以後、学内でも国家主義や軍国主義的な思想が広がりを見せ、立教の存在意義であったキリスト教主義への圧力が強まっていきました。1942（昭和17）年には、立教学院寄附行為と大学学則に記された教育目的から、「基督教主義」の文字が削除され、チャペルも閉鎖されました。

戦局が悪化すると、学生たちは、これまで以上に重要な戦力・労働力として期待されるようになりました。修業年限が段階的に減らされ、勤労働員は拡大していき、1943（昭和18）年には、「学徒出陣」が行われ、立教大学の学生も、一斉に戦地へと送られました。



宣戦の詔書捧読式

アジア・太平洋戦争の開戦に伴い、立教大学では、1941（昭和16）年12月9日、予科校舎（現4号館）南側の校庭に全学生を集めて、捧読式が行われた。

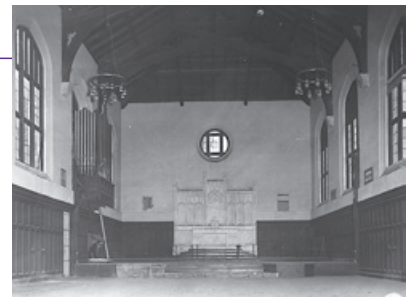
戦後の復興と新制への移行

戦後新時代を迎え、キリスト教精神がよみがえる

池袋周辺は、二度にわたる空襲によって焼け野原となりましたが、立教の施設の被害は軽微でした。しかし、敗戦直後、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）から、大学総長以下、幹部11名の追放指令が出され、立教大学に衝撃が走りました。この措置は、翌1946（昭和21）年から全国の大学・学校で実施された、いわゆる「教職追放」のさきがけとなるものでした。

戦後の立教大学の復興は、失ってしまったキリスト教主義の再建が第一とされました。戦後間もなく米国聖公会との関係が再建され、教育の目的に「基督教ニヨル教育ヲ行フ」の文字が復活し、チャペルの扉も再び開かれました。また、戦時下に「閉鎖」となった文学部が復興し、1946年には、初めて女子学生が入学しました。

6・3・3・4制の新しい学校制度が実施されると、1949（昭和24）年度には、文学部・経済学部・理学部の3学部からなる新しい立教大学が発足しました。



敗戦直後のチャペル [1945年10月]

戦時下、チャペルの椅子やスクリーンは防空壕の覆いとされ、以前のような美しい姿は完全に失われていた。

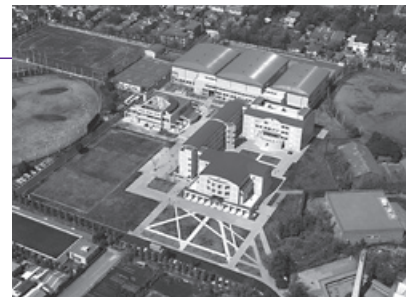
立教大学の発展

総合大学への道とリベラルアーツ教育の新生

新制大学の設立から紛争の時期を挟んで、総合大学建設への厳しい歩みが続きました。この間、1958（昭和33）年には社会学部、翌59（昭和34）年には法学部が開設され、5学部体制となりました。

1990（平成2）年には新座キャンパスが開校し、1998（平成10）年には観光学部とコミュニティ福祉学部、2006（平成18）年には現代心理学部、2023（令和5）年にはスポーツウエルネス学部が開設されました。

一方、池袋キャンパスにも、2006年に経営学部、2008（平成20）年に異文化コミュニケーション学部、2026（令和8）年に環境学部が開設され、立教大学は12学部体制となりました。



新座キャンパス

1990（平成2）年に開校した当時の新座キャンパス。

数字でわかる立教大学

少人数クラスで4技能を鍛える「英語の立教」

1年次の英語の必修科目は「英語ディスカッション(春学期)」「英語ディベート(秋学期)」「英語リーディング&ライティング(通年)」「英語プレゼンテーション(秋学期)」「英語eラーニング(春学期)」「上級英語(通年)※」の6科目。

「英語ディスカッション」をはじめ、いずれも極めて少人数できめ細かい英語の授業を行い、グローバル社会で必要とされる自らの意見を英語で発信していく能力の向上や、発信する上で必要不可欠な情報収集を英語で行える受信力の強化を目指します。

英語ディスカッション
1クラス10名

英語リーディング&ライティング
1クラス20名

英語ディベート
1クラス20名

英語プレゼンテーション
1クラス20名

※「上級英語」は一部学生のみ対象で「英語リーディング&ライティング」「英語プレゼンテーション」「英語eラーニング」の代わりに週2回履修。
※クラスの人数は標準のサイズです。入学者数によって変動する可能性があります。

全学共通科目の充実

総合系科目

772コマ

言語系科目(自由科目) *必修科目除く
英語 141コマ

ドイツ語	ロシア語	インドネシア語
フランス語	日本語	タイ語
スペイン語	ポルトガル語	タガログ語
中国語	日本手話	ベトナム語
朝鮮語		

268コマ

※コマ数は2026年度の数字(2026年1月時点)です。なお、履修数に制限のある科目、資格を満たした者のみ履修できる科目等があります(一部)。

海外体験の促進

海外派遣者数

2022年度	2023年度	2024年度
1,191名	1,185名	1,158名

海外プログラム数
(2025年度実績)

約80

海外協定校数
(2025年10月時点)

273校

グローバルキャンパス

留学生数

(2025年10月時点)

1,101名

留学生出身国・地域

(2025年10月時点)

61か国・地域

国際交流イベント開催状況

(2024年度実績)

235回開催、のべ2,652名参加

立教の就職支援 (2024年度実績)

キャリア・就職関係
イベント開催回数

262回

(オンライン・対面で開催。
一部をのぞき、後日動画視聴可)

キャリア・就職関係
イベントの種類

100種類

年間相談件数

9,912件

キャリア
カウンセラー人数

19名

サポートしてくれる
卒業生の人数
約45,000人

立教生の高い就職実績 (2024年度実績)

就職率

98.1%

(就職希望者3,883人中)

立教大学に届く
求人件数

52,321件(年間)

上場企業への
就職者数

1,281名

学内企業セミナー
参加企業数

225社(年間)

(オンライン・対面で開催。
オンラインは原則、後日動画視聴可)

世界ランキングで本学がランクイン

イギリスの教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション(Times Higher Education以下、THE)が実施している世界大学ランキングで本学がランクイン。International outlook(国際性)のスコアでは6年連続で国内私大1位(国内では4位)となりました。

総合ランキング
~1,501位+

国内大学全体
52位

International outlook(国際性)
国内私立大学1位(国内4位)

※THE世界大学ランキング2026は世界各国の約2,000以上の大学を対象とし、Teaching(教育)、Research environment(研究環境)、Research quality(研究の質)、International outlook(国際性)、Industry(産業)の5つのスコア(指標)から総合順位が決定されます。

奨学金の利用状況 (2024年度実績)

立教独自の奨学金(すべて返還不要)
31種類 総支給人数578名

日本学生支援機構の奨学金

給付 利用者数1,075名

貸与:第一種(利子なし) 利用者数1,284名

貸与:第二種(利子あり) 利用者数1,655名

充実した図書館

■ 所蔵図書資料 (2024年度末) ※新座保存書庫は来館利用不可

池袋図書館
1,316,994冊

新座保存書庫*
496,086冊

新座図書館
256,796冊

合計冊数
2,069,876冊

■ 入館者数

池袋図書館
727,639人

新座図書館
117,202人

合計
844,841人

■ 開館日数(2024年度実績)

年間 324日

学部・学科等一覧



学部・学科等一覧

池袋キャンパス

文学部

キリスト教学科

文学科

(英米文学専修、ドイツ文学専修、フランス文学専修、
日本文学専修、文芸・思想専修)

史学科

教育学科

異文化コミュニケーション学部

異文化コミュニケーション学科

経済学部

経済学科

経済政策学科

会計ファイナンス学科

経営学部

経営学科

国際経営学科

理学部

数学科

物理学科

化学科

生命理学科

環境学部

環境学科

社会学部

社会学科

現代文化学科

メディア社会学科

法学部

法学科

国際ビジネス法学科

政治学科

グローバル・リベラルアーツ・ プログラム (GLAP)

グローバル・リベラルアーツ・プログラム (GLAP)

新座キャンパス

観光学部

観光学科

交流文化学科

コミュニティ福祉学部

コミュニティ政策学科

福祉学科

現代心理学部

心理学科

映像身体学科

スポーツウエルネス学部

スポーツウエルネス学科



池袋キャンパス



新座キャンパス



大学の暦は、基本的に4月の入学式に始まり、翌年3月の卒業式をもって終わります。この間、7月下旬の春学期末試験終了後は、8月初旬から9月中旬まで夏季休業期間があり、2月初旬の秋学期末・学年末試験終了後は、2月から3月末にかけて、入試や卒業判定などがあるため授業のない期間となります。

大学の4年間はあっという間に過ぎ去ります。昨今は3年次になると、就職・進学など「進路」の問題が現実味を帯びてきます。すべての学生が大学の暦を有効に活かして、豊かな大学生活を送るよう願っています。

年間行事予定

4月	入学式(春季) 新入生オリエンテーション 春学期履修登録 春学期・春学期1 授業開始 保護者への成績表送付 第1回就職ガイダンス	10月	大学院入試(秋季)※ 保護者への成績表送付 学費納入(秋学期分)
5月	創立記念日 創立記念感謝礼拝 春学期1 授業終了	11月	St. Paul's Festival(池袋キャンパス学園祭) IVY Festa(新座キャンパス学園祭) スタディツアー 逝去者記念礼拝 入学試験(秋季) 秋季人権週間プログラム 秋学期1 授業終了 秋学期2 授業開始
6月	春学期2 授業開始 春季人権週間プログラム 学費納入(春学期分)	12月	ウィリアムズ主教記念日礼拝 クリスマス週間 メサイア演奏会 クリスマス・イブ礼拝 第3回就職ガイダンス 冬季休業
7月	春学期・春学期2 授業終了 春学期末試験	1月	秋学期・秋学期2 授業終了 秋学期末・学年末試験
8月	夏季休業 クラブ・ゼミ等合宿 榛名ボランティアキャンプ 一貫連携教育・立教学院清里環境ボランティアキャンプ 林業体験 各種夏期海外語学研修プログラム Rikkyo My Career Gate	2月	学部入学試験(春季) 3年次編入学試験(転部・転科・転専修試験) 大学院入試(春季)※ 卒業合格者発表 各種春期海外語学研修プログラム
9月	奥中山ワークキャンプ 農業体験 in 山形県高島町 成績発表(春学期開講科目) 秋学期履修登録 卒業礼拝(秋季) 学位授与式(秋季) 入学式(秋季) 秋学期・秋学期1 授業開始 第2回就職ガイダンス	3月	成績発表(秋学期・通年開講科目) 卒業礼拝(春季) 学位授与式(春季) 次年度履修要項・シラバスHP公開

※大学院入試については、代表的な日程です。詳細は入試要領でご確認ください。



「RIKKYO Learning Style」

3年次春学期～4年次秋学期

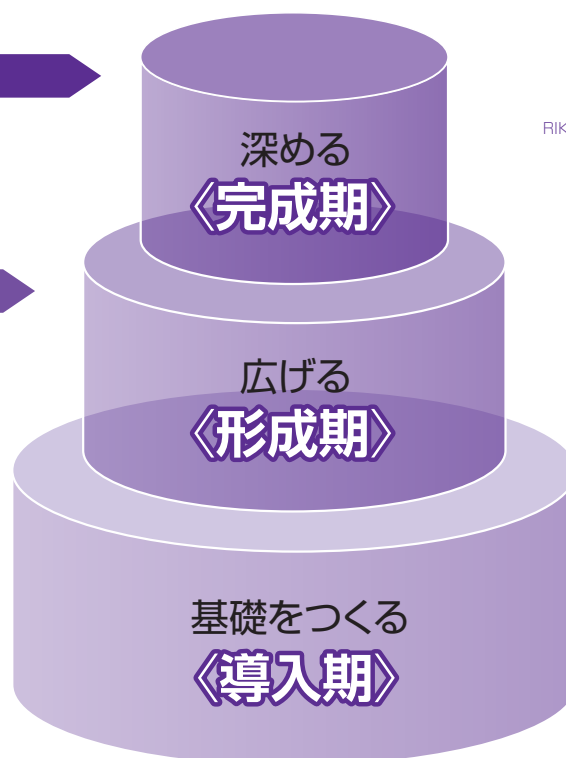
将来の目標を目指して
専門分野を究める

1年次秋学期～2年次秋学期

さまざまな経験を重ねて
視野を広げる

1年次春学期

Visionを見つけ、
学びの基礎を身につける
「立教ファーストタームプログラム」で
大学での最初の一步をしっかりサポート



RIKKYO Learning Style

3つの期間に分けて段階的に学ぶ

立教大学は、学生1人ひとりの成長に寄り添うために、学生生活を3つの期間〈導入期・形成期・完成期〉に分けてサポートしています。

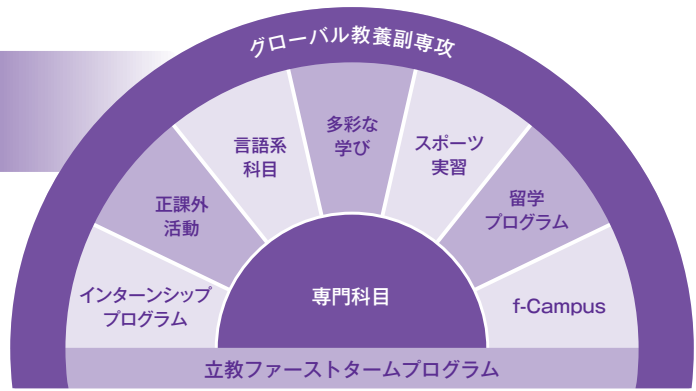
〈導入期〉は、立教で学ぶことの意義や楽しさを知り、大学4年間の学修の基礎を身につけます。
授業は、「立教ファーストタームプログラム」を中心に展開されます。

〈形成期〉は、さまざまな経験を重ねて視野を広げ、他者や異文化への理解を深めます。

〈完成期〉は、4年間の学びと自身の成長を振り返りつつ、将来の目標を目指して専門分野を究めます。

授業とさまざまな活動を通じ、 着実に成長できる学びの体系

立教大学は、4年間の学生生活を授業だけでなく、サークルやボランティアなどさまざまな活動と体系づけて考えています。将来なりたい自分を思い描き、その目標に向かって自律的に、着実に学んでいく新たな学びのスタイルを実践します。



立教ファーストタームプログラム	専門科目	多彩な学び	言語系科目	スポーツ実習
「学びの精神」と「学びの技法」のアプローチから、アクティブラーニングや少人数教育を取り入れ、4年間の学びに必要な基礎力を身につけます。	研究分野の第一線で活躍する講師による専門領域の授業です。学科ごとに構成した独自のカリキュラムで専門分野を深く追究します。	リベラルアーツ教育の主軸となる科目で、幅広い知識と教養を養います。専門分野の枠を越えた科目を履修して、自身の可能性を広げます。	英語と初習言語を必修としています。異文化理解を深め、多様な人と交流できる言語運用能力を習得することを目指します。	スポーツ実践や講義で心身の成長を促します。実技では文化的側面への理解や健康維持に関する知識も学んでいきます。
グローバル教養副専攻	正課外活動	留学プログラム	インターンシッププログラム	f-Campus
学部での専門的な学びに加え、興味・関心に応じてもう1つのテーマに沿って体系的に学びます。修了すると、大学から修了証が発行されます。	サークルやボランティアなどの課外活動のほか、海外体験、キャリア支援プログラムなどで、「自分づくり」をしていきます。	大学間または学部間協定による派遣留学や、短期語学研修など、目的や期間に合わせた多様なプログラムで見識を広げます。	企業や官公庁などで実習し、就業体験をします。参加することにより、自分自身で気づき、考える力がつきます。	協定他大学のキャンパスで、多様な科目を履修できます。修得した単位を卒業要件単位に組み入れることも可能です。

立教ファーストタームプログラム

導入期に自分だけのVisionを見つけ、大学生活のベースを作る

入学後の最初の半年間である〈導入期〉は、立教大学というフィールドで学びを実践しながら心と身体を慣らしていく、大切な期間だと考えます。〈導入期〉の授業では、すべての新生を対象とする「立教ファーストタームプログラム」が中心に展開され、高校とはまったく異なる学びに適応するための科目群が用意されています。

学びの精神

—なぜ学ぶのか—

立教大学での学びを理解する

大学での学びをはじめにあたり、大学で学ぶ姿勢を身につけ、また立教大学で学ぶことの意味について理解していくための科目群です。「宗教」「人権」「大学」の3つのテーマに加え、立教大学ならではの専門性をキーワードとした多様な科目が設置されています。教員との対話や議論、学生同士の協働作業などを通して大学の講義の受け方を体得。自ら調べ考える、大学での学びの姿勢を身につけます。

科目例

- 世界史の中のキリスト教
- 人文学からの学び(史学)
- ライフマネジメントと大学生活
- 芸術への扉
- 国際社会の中の宗教
- 法と政治の世界

学びの技法

—どのように学ぶのか—

4年間の学修の基礎を身につける

各学部による少人数教育の授業により、その後のさまざまな授業科目を学んでいくうえで必要となる知識、スチューデントスキル(マナー、人間関係づくり、自己分析、学修目標づくり、学生生活・習慣、タイムマネジメント)、スタディスキル(文献検索方法、レポートの書き方、プレゼンテーションスキル等)、情報リテラシーなどを身につけ、キャリアプランの形成についても学びます。

科目例

- 文学部
- 入門演習
- 異文化コミュニケーション学部
- 基礎演習
- 経済学部
- 基礎ゼミナール1 など
- 経営学部
- リーダーシップ入門

教学上の主なスケジュール・単位修得等について

大学の授業は、4月から始まる春学期と9月から始まる秋学期に分かれています。開講されている科目の多くは半期ごとの春学期、秋学期科目ですが、年間を通じて開講する通年科目や、各学期を2分割した4半期科目、また集中講義科目を導入している学部もあります。

学生は、それぞれの学期に定められたスケジュールに沿って、履修登録を行い、授業を受け、単位修得を目指します。

1 2026年度スケジュール

主たる行事予定		春学期		秋学期	
①	履修登録期間		2日(木)～11日(土)	9月	8日(火)～18日(金)
②	授業開始	4月	10日(金)		21日(月)
③	『成績表』郵送(保護者宛) ^{※1}		下旬	10月	上旬
④	英語単位認定試験 ^{※2}	6月	13日(土)	11月	7日(土)
⑤	試験(最終授業時試験期間)		14日(火)～20日(月)		18日(月)～23日(土)
⑥	授業終了	7月	20日(月)	1月	23日(土)
⑦	学期末・学年末試験期間		21日(火)～31日(金)		25日(月)～2月4日(木)
⑧	卒業予定者発表【Web】 卒業予定者成績発表【Web】		2日(水) ※特別卒業申請者対象	2月	26日(金)
⑨	成績発表【Web】	9月	2日(水)		12日(金)
⑩	学位授与式		18日(金) ※特別卒業対象者	3月	24日(水) 文・経済・理・社会学部・GLAP
					25日(木) 法・経営・異文化コミュニケーション・観光・コミュニティ福祉・現代心理・スポーツウエルネス学部

(注)9月入学者は通常の卒業が9月、特別卒業は3月となります。

各日程の詳細はR Guideからご確認ください。



RGuide

祝日授業日/授業休講日/休業期間	春学期	秋学期
① 祝日授業日*3 ※当該曜日の授業を実施	4月29日(水) / 5月5日(火) 5月6日(水) / 7月20日(月)	9月21日(月) / 9月22日(火) / 9月23日(水) / 10月12日(月) / 11月23日(月)
② 授業休講日	5月1日(金) / 5月2日(土)	11月13日(金) / 11月24日(火) / 11月25日(水) / 12月24日(木) / 1月7日(木) / 1月15日(金) 11月14日(土) ※池袋キャンパスのみ 1月16日(土) ※新座キャンパスのみ
③ 休業期間	夏季：8月1日(土)～9月19日(土) / 秋季：10月31日(土)～11月5日(木) 冬季：12月25日(金)～1月6日(水) / 春季：2月5日(金)～3月31日(水)	

- ※1：成績表の見方は「6.成績表の見方」をご確認ください。
- ※2：所定の年次に英語必修科目を修得できなかった場合、年2回(6月、11月)実施の英語単位認定試験の受験によって、年間最大4単位を修得することが可能です。但し、受験資格を得るために、学生は所定の期間に提示されたWeb上の事前課題I,IIの2つの課題を終了することが求められます。なお、1回に限って英語再履修クラス「英語R」を履修することができますが、修得可能な単位数は1単位のみで、かつ、「英語R」を履修した学期には英語単位認定試験の受験はできないので注意が必要です。
- ※3：科目ごとの授業回数を確保するために、祝日に授業を行う祝日授業日、代替として平日を休講とする授業休講日を設けています。このため、一般的なカレンダーと異なる授業運営となっています。

2 卒業までに必要な単位数、1年間の履修単位数と修得単位数

- (1)卒業までに必要な単位数(卒業要件単位)は学科により異なりますが124単位～134単位となっています。
- (2)1年間で履修できる単位数には上限が設定されています。学科・学年により異なりますが42単位～48単位となっています。半期ごとの上限単位数も設定されているので注意が必要です。それらを踏まえると、1年間あたりの順調な修得単位数としては、35単位～40単位程度となります。修得単位数については、4月(1年生を除

く)と10月の年2回保護者の方へ送付する『成績表』においてご確認ください。4月に送付する『成績表』においては、前年度までに修得した単位数が1年間あたり35～40単位の範囲であれば順調な単位修得状況にあります。10月送付分では当年度春学期科目を含む単位修得状況をご確認いただけます。

3 単位修得についての注意

卒業までに必要な単位は、特に指定された科目を除き、4年間の内に随時修得すればよいことになっています。しかし、就職活動が最も活発化する時期においては、学業に集中できない場合があることも確かですので、ある程度余裕をもった履修計画が必要です。

また、学業以外にもさまざまな経験をすることが大切です

すが、あまり学業を軽視し過ぎると4年間で卒業できないという結果になってしまいます。学業とそれ以外の活動を上手く両立させることが重要になります。特定の理由(療養、休学)を除き、学業から遠ざかっている状況が見受けられましたら、必要に応じて本人と相談するようにしてください。

4 大学における学修のサポート制度

本学には、学生1人ひとりに対して担当者(専任教員)を定め、学修全般に関する助言・指導や情報提供を行うアカデミックアドバイザー制度があります。また、専任教員が毎週決まった時間帯に研究室に待機し、主として担当する授業

に関する質問や勉学の相談等に応じることを目的とした、オフィスアワー制度も設けています。単位の修得状況が思わしくない等、心配事が見受けられる場合には、教員あるいは教務の窓口にご相談するようお勧めください。

5 進級、卒業、特別卒業について

本学では4年次までに毎年度4月に自動的に進級しますが、4年間在学しても卒業に必要な単位を修得していない場合は、4年次で留年することになります。卒業合否は2月末に発表され、学生本人が自身のIDとパスワードにより、Webサイトで確認することになります。

通常、卒業は3月末日ですが、在学8学期目(注)以降の学生で、卒業に必要な単位を修得、または修得見込みの場合、所定期間(7月上旬～中旬ごろ)に申請し、許可を受けることにより9月19日付で卒業することができます。

(注)休学していた学期は、在学期間に含まれません。また、休学中の学生は特別卒業を申請することはできません。

6 成績表の見方

(1)成績は9月上旬と3月中旬(卒業合格発表対象者は2月末)に発表されます。学生本人が自身のIDとパスワードでWebサイトで確認することになります。保護者の皆さまには4月下旬と10月上旬に成績表をお送りします。

(2)4月下旬の成績表については、成績表の「年度」欄が前年度となっている科目についてご確認ください。「授業科目」欄には◆や*で科目のカテゴリー(必修科目、選択科目など)が記載されています。成績がD、または欠となっている科目が多い場合には、なんらかの理由で学業に支障が生じていることが推察されますので生活上において困ったことがないか、ご確認ください。

また、2-(2)に記載したとおり、1年間あたりの順調な修得単位数としては、35単位~40単位程度となります。前年度に履修した科目の「単位」欄の数を合算いただくことで、順調に学修が進んでいるかの目安にしてください。

(3)10月上旬にお送りする成績表には、春学期までの成績と単位修得状況が記載されています。注意点は(2)と同じですが、右下の「単位集計」の「卒業単位」に記載されているのが卒業に必要な単位数、「修得単位」欄に記載されているのが修得済みの単位数です。「卒業単位」から「修得単位」を引いた数が卒業に必要な残りの単位数となります。

なお、残りの単位数と、残りの学期数によって1年当たりに必要な修得単位数が32から40単位であれば目安として4年間で卒業することが可能ですが、学科(専修)などによって詳細は異なりますので、ご心配な場合は、教務事務センターまでご相談ください。

(4)成績表の右下のGPA値はGrade Point Averageのことです。不合格科目も含めて計算するので学修の履歴や到達度を把握することができます。

成績表の見方

(20XX年 10月 X日 現在) ☆☆☆ 立教大学 成績表 ☆☆☆ 経済学部経済学科 2年次 XXBA999Z 立教 花子

授業科目	単位	成績	年度	備考	授業科目	単位	成績	年度	備考	授業科目	単位	成績	年度	備考
◆◆必修科目◆◆ *必)言語A*					基礎ゼミナール1	2	S	21						
英RW1	1	B	21		基礎ゼミナール2	2	S	21	自由					
英DSC	1	B	21		*共通選択科目2*									
英DBT	1	A	21		国際経済論	2	B	21						
英RW2	1	B	21		経済情報処理論A	2	B	22						
英語単位認定試験A1	1	C	22		*学科選択科目*									
英語e	1	A	21		証券経済論	2	A	22						
					外国為替論	2	A	22						
必)言語B					◆◆自由科目◆◆									
ドイツ語基礎1	2	A	21		*言語自由科目*									
ドイツ語基礎2	2	B	21		ドイツ語SD2	1	D	22						
専門必修科目					*自由選択科目1*									
経済学1	2	C	21		コーポレート・ファ1	2	S	22	自由					
経済学2	2	B	21		中級簿記1	2	A	22	自由					
					マーケティング論1	2	C	22	自由					
◆◆選択科目◆◆					キャリアデザイン論	2	B	22	自由					
学びの精神														
世界経済と日本	2	A	21											
ライフマネジメントと	2	B	21											
多彩な学び、スポ														
スポスタ(バスケ)	2	C	21											
観光学への誘い	2	A	21											
入門・経済教室	2	欠	22											
基本選択科目														
社会経済学1	2	C	22											
初級ミクロ経済学1	2	B	22											
共通選択科目1														
簿記1	2	S	21											
簿記2	2	B	21											
経営学1	2	C	21											
統計学1	2	A	21											
統計学2	2	B	21											
情報処理入門2	2	B	21	自由										
情報処理入門1	2	B	21											

①卒業に必要な単位数
(経済学部 合計124単位)

②修得済の単位数

【成績】その科目の成績状況が表示されています。
 S 100-90点
 A 89-80点
 B 79-70点
 C 69-60点
 D 59-0点 (不合格。単位の修得は認められません)
 欠 欠席(試験未受験により評価できない)
 合 合格
 H 不合格(単位の修得は認められません)
 認 他大学で修得した科目、本学で単位が認定された科目

区分名	卒業単位	修得単位
◆◆必修科目◆◆	6	6
必)言語A	4	4
必)言語B	4	4
必修科目	4	4
◆◆選択科目◆◆	4	4
学びの精神	4	4
多彩な学び、スポ	14	4
基本選択科目	8	4
共通選択科目1	14	14
共通選択科目2	12	4
学科選択科目	24	4
◆◆自由科目◆◆		
自由科目	34	12
GPA値	2.24/4.00	

$$\frac{S \text{の修得単位数} \times 4 + A \text{の修得単位数} \times 3 + B \text{の修得単位数} \times 2 + C \text{の修得単位数} \times 1}{\text{GPA算出対象科目の総履修登録単位数 (D・欠を含む)}}$$

「授業・成績」に関するQ&A

Q1 抽選登録科目における抽選のしくみや状況について教えてほしい。

A1 授業内容による履修者数の適正規模を勘案し、授業の質を維持するために、一部の科目では定員を設けています。

定員を設けている科目では、科目ごとにコンピューターによる無作為な抽選が行われます。過去の申請履歴や同時申請の状況などに関わらず、全学生が公平に抽選されます。

このような抽選登録科目は、人気のある科目や時間帯によって倍率が異なります。知名度が高い科目やスポーツ実習科目、各曜日2時限、3時限の少人数科目の倍率はどうしても高くなってしまいう傾向があります。履修申請時には、抽選登録画面に申請者数が表示されますので、募集定員の情報と併せて参考にしてください。

また、全学共通科目の総合系科目については、2次抽選期間で定員に満たなかった科目は、自由に登録できる科目(科目コード登録)に移行します。移行後は定員に関係なく履修登録することができます。

Q2 たくさん単位をとって卒業した方が就職などにも有利ではないかと思いますが、履修登録上限単位が決まっているのはどうしてですか？

A2 文部科学省が定めた大学設置基準では、1単位あたりの学修時間を45時間、そのうち15～30時間が授業とされています。本学では授業時間外の予習・復習の時間に必要な時間数を考慮した上で、42～48単位を年間で履修登録できる上限として定めています。

Q3 国民の祝日に授業を行い、代わりに平日に休講日とする日があるのはどうしてでしょうか？

A3 文部科学省が定めた大学設置基準に基づき、単位の認定には各曜日の授業回数を均等に確保する必要があるため、特定の祝日に授業を実施しています。また、いくつかの平日を全日休講日として設定しています。

どの日を祝日授業日または平日休講日とするかは、年度ごとに検討を行っています。

Q4 授業の出席状況を知りたいのですが。

A4 大学では、学生個別の出席状況は把握していません。また、出欠を取るかどうかは授業により異なり、出席状況の管理は科目担当者(教員)に一任されています。言語(の修得を目指す)科目は出席重視ですので、その単位が修得できている場合は、大学の授業に出席している一定の目安となります。

Q5 部活動の試合等で授業を欠席しなくてはならない場合、公休は認められるのでしょうか？

A5 大学全体の共通ルールとして、いわゆる公欠制度は設けておりません。

学校感染症に罹患した場合と裁判員制度に伴う場合にのみ、所定の申請手続きをおこなうことで「授業欠席に対する配慮依頼」文書を発行しています。ただしその場合も、どのように配慮するか(しないかも含め)は科目担当教員の判断に委ねられております。

また、教職課程の教育実習や、日本代表としてのスポーツ公式試合参加の場合に配慮依頼文書が発行されるケースがありますが、欠席した授業への配慮有無や内容については科目担当教員の判断によります。

Q6 授業とアルバイト、クラブとの両立が大変そうです。

A6 大学生活において学業以外のさまざまな経験も大切ですが、4年間での卒業に向けてバランスを考えてアルバイトやクラブ活動などに取り組んでいくことが重要になります。まずは学生本人がどのような学生生活を送りたいか計画を立てることが肝要です。履修計画について確認したいことがあれば、教務事務センターへご相談ください。

Q7 ゼミに入れませんでした。就活に不利になるのではなとかなりませんか？

A7 ゼミナール(演習)が必修でない学部では、定められた申込期間に学生自身がエントリーし、選考が行われま
す。多くの学部が二次または三次と追加募集を行っており、一次募集の選考にも別々のゼミナール(演習)へ
応募する機会が与えられていますので、第一希望に捉われずに応募してみてください。また、就職活動に不安が
ある場合は、キャリアセンターをご活用ください。

Q8 授業についていけないと言っています。

A8 各授業については、その科目の担当教員に直接相談いただければ、その科目の特性に沿った具体的なアドバ
イスを受けることができます。また、大学での学び全般についての不安や相談は、アカデミックアドバイザー制度
等をご利用ください。制度の詳細については **4 大学における学修のサポート制度**(P.15)をご参照ください。ま
た、図書館ではレポートや論文作成のための学修支援を行っています。本学の大学院生であるラーニングアドバ
イザーが、レポートや論文のテーマ設定から文献探し、執筆までをアドバイスしています。また、各種データベース
講習会や文献の探し方を学ぶ講座を定期的開催していますので、是非ご利用ください。その他、学生生活全般
の不安や相談については、学生相談所が対応しておりますのでご利用ください。

Q9 4年間で卒業できるでしょうか？

A9 卒業には4年間(8学期)以上在学して、定められた単位数を修得しなければなりません。単位の修得状況につ
いては、**2 卒業までに必要な単位数、1年間の履修単位数と修得単位数**(P.15)をご参照ください。履修計画に
不安がある場合は、教務事務センターに相談へ行くようお伝えください。なお、本学では4年次まで自動的に進級
しますが、4年間在学しても卒業に必要な単位数を修得していない場合は、4年次に留年することになります。

Q10 成績表が送られてきても見方がよく分かりません。

A10 **6 成績表の見方**(P.16)を参考に、成績と単位修得状況をご確認ください。卒業に必要な単位の修得状況につ
いては、《単位集計》で確認することができます。卒業単位(卒業に必要な単位数)のうちどのくらい修得単位が
あるかで、卒業までに不足している単位の状況もわかります。

個別の科目の単位と成績は、授業科目の欄をご覧ください。成績に「S~C」「合」「認」とあるものは、修得単位
として《単位集計》に集計されています。また、科目の備考欄に「自由」とある科目の単位は、《単位集計》の自
由科目に算入されています。なお、科目の備考欄に「随意」とある科目の単位は、卒業単位には含まれません。

Q11 学内での成績順位などは分かりますか？

A11 学生によって履修している科目の種類や数が異なり、相互に比較のしようがないため、大学として順位の算出
は行っていません。

Q12 大学院に進む場合、どのくらいの成績が必要になりますか？

A12 成績の目安といっても研究科によって入学要件が多様なため一概にはいえません。
また、入学するための学力だけでなく、入学後にどのような研究活動をするかも重要になるため、学生本人から教
員に直接相談することをおすすめします。

Q13 学部入学から大学院修了まで5年でできる制度があると聞きましたが、どのような制度ですか？

A13 4年間の学部教育と1年間の大学院教育(博士課程前期課程)を組み合わせ、最短で学部入学から5年間で学
士号と修士号を取得できる制度がある学部があります。在籍期間を1年伸ばすだけで、学部レベルよりも深いレ
ベルの勉強や、より本格的な学術研究ができます。

学部によって制度自体の有無、名称や詳細内容が異なりますので、所属する学部にお問い合わせください。

正課外教育プログラム



立教大学における学びの場は正課教育(=授業)にとどまりません。チャペルをはじめ、図書館、学生課、国際センター、ボランティアセンター、キャリアセンターなどさまざまな部局が正課外教育プログラム(=授業以外のプログラム)を展開しています。「立教生になる」「学ぶ」「学生同士で支えあう」「さまざまな世界を体験する」の4つにカテゴリ化されたプログラム群の中には、学生同士の交流や社会との交流を通して学ぶものなど、学生の自主性に応える多様なプログラムを用意しています。

導入期

1年次春学期

形成期

1年次春学期～2年次秋学期

完成期

3年次春学期～4年次

立教生になる(1年次春学期～)

立教大学で目的意識を持って、主体的に学生生活を過ごせるようになることをねらいとした、学生生活に必要な知識を得たり、大学で学ぶ意味を考えるプログラムや、立教大学の伝統に触れたり、学生生活を楽しむためのプログラム群です。

- チャペルガイダンス ●ラーニングアドバイザー ●礼拝(日々への祈り) ●セルフラーニング(INFOSS情報倫理)
- 国際交流行事 ●メサイア演奏会 等

学ぶ(1年次春学期～4年次秋学期)

自分・他者・社会について考える。学生生活や将来に役立つ能力を身につけることをねらいとした、人権、ボランティア、対人関係、キャリアなど多様なテーマについて、講義やワークショップなどさまざまな形式で学ぶプログラム群です。

- 災害救援ボランティア講座 ●実践!バリアフリー講座 ●就職ガイダンス ●セルフラーニング(office2019, Study Skill)
- 救急救命講習会 ●アサーショントレーニング 等

学生同士で支えあう(1年次春学期～4年次秋学期)

学生が学生を支援すること(=ピア・サポート)を通して総合的・実践的に学ぶことをねらいとした、学生という同じ立場を活かして下級生、しょうがい学生、留学生などをサポートするプログラム群です。

- しょうがい学生サポートスタッフ ●国際交流ボランティア ●学生サポーター(人権・ハラスメント対策センター)
- 学生コーディネーター(ボランティアセンター) ●新入生キャンプ ●学生アドバイザー 等

さまざまな世界を体験する(1年次春学期～4年次秋学期)

生きた現場に触れることや、さまざまな他者と関わることを通して総合的・実践的に学ぶことをねらいとした、ボランティア、異文化交流、インターンシップなどを通して、日常とは異なる世界や人々と出会えるプログラム群です。

- 奥中山ワークキャンプ ●榛名ボランティアキャンプ ●林業体験 ●農業体験 in 山形県高島町
- 一貫連携教育・立教学院清里環境ボランティアキャンプ ●Rikkyo My Career Gate 等

※その他、学生の成長を応援するチャレンジプログラムとして『RIKKYO CHALLENGE』(Webサイト)でも紹介しています。自分を知りたい、磨きたい、視野を広げたいといった多様なニーズに応えるのが『RIKKYO CHALLENGE』です。自分を成長させるための多彩なプログラムがラインアップされています。詳細は2次元コードからご覧ください。



正課外活動プログラム

学生課主催プログラム

林業体験

本学では、夏休みに岩手県陸前高田市の生出(おいで)地区で、自然と共に学び、成長する貴重な機会としてフィールドワーク「林業体験」プログラムを実施しています。2003年に開始して以来、自然と共に学び成長する機会を提供してきました。これまで多くの立教生の手によって、「立教の森」を育ててきました。学生たちは豊かな自然の中で汗を流し、生出地区の人々の優しさに触れながら、仲間たちとの共同生活を通して新たな気づきを得られるプログラムとなっています。



【プログラムの魅力】

- 1 本物の林業体験**：木々の育成から伐採まで、実際の作業を通じて林業のプロセスを学びます。専門スタッフの指導のもと、森の仕事に触れることができます。
- 2 自然との調和**：豊かな自然の中で、植物や生物の観察を通じて、森林の重要性と保護の方法を学び、持続可能な共存を考えます。
- 3 共同生活と地域交流**：仲間との共同生活を通じて、チームワークや連帯感を醸成します。また、地域の人々との交流で地域社会への理解を深めることができます。



ボランティアセンター主催プログラム

「農業体験in山形県高畠町」

40年以上も有機栽培農法で稲作を行っている、日本の有機農業運動の先進地として知られる山形県高畠町での「農」の現場での体験や地元の人々との交流を通して、「食」や「共に生きる」ことについて考えていきます。



「清里環境ボランティアキャンプ」

緑豊かな八ヶ岳山麓の清里高原を拠点に、立教学院各校の小・中・高校生、大学生たちがともに取り組む環境保全活動です。一貫連携教育の中で各学校の構成員が集まる唯一のプログラムとして2004年から歴史を刻んでいます。



陸前高田サテライト主催プログラム

立教大学は、東日本大震災発生以降、「林業体験」でつながりのあった岩手県陸前高田市を重点支援地域に指定し、さまざまな復興支援・交流活動を実施してきました。

「立教大学陸前高田サテライト」を設置し、体育会野球部による「立教野球教室」や同男子・女子バレーボール部による「立教バレーボール教室」、「陸前高田交流ツアー(学生向けのスタディツアー)」など、さまざまな交流プログラムを継続して展開しています。



チャペルプログラム

チャペルは、キリスト教に基づく教育を行う立教大学のシンボルとして、学生がキリスト教に多種多様な形で、体験的に触れることができるようにさまざまなプログラムを実施しています。

キャンプ

■ 榛名ボランティアキャンプ

場所：高齢者福祉施設「社会福祉法人新生会」（群馬県）
高齢者の方々と触れ合いを通して、生きること、老いること、人と共にあること、聖書のメッセージを学びます。

■ 奥中山ワークキャンプ

場所：知的しょうがい者施設「小さき群の里」（岩手県）
利用者や職員の方々と出会い交わり、共同作業を通して、「いのちのつながり」について考えるキャンプ。



チャペル RUM

(Rikkyo University Mission) 講演会

現代のさまざまな問題や立教のアイデンティティをキリスト教の観点から考える公開講演会を毎年開催しています。

チャペルコンサート

国内外の著名な演奏家による年6回のコンサートや、聖歌隊、オーガニスト・ギルド、ハンドベルクワイアなどの学生団体によるコンサートもチャペルで開催しています。

公開講演会やチャペルコンサートは保護者の方でもご参加いただけます。



チャペル紹介

チャペルとは、学校や病院などの施設に付属する礼拝堂のことです。立教学院には、池袋キャンパスに諸聖徒礼拝堂、新座キャンパスに聖パウロ礼拝堂、小学校に諸天使礼拝堂の3つのチャペルがあります。ここでは立教学院に連なるすべての人のために、日々の礼拝や授業が行われているほか、上記の公開講演会やコンサートなども催されます。礼拝はどなたでもご参加・ご見学いただけます。

また、学生たちは、チャペルを拠点として、9つの公認サークル（学生キリスト教団体 ▶ 37ページ）やクリスマス・メサイア等の実行委員会で活動しています。礼拝にかかわる奉仕や子どものための日曜学校、ボランティア活動やクリスマス行事等に参加する中で、建学の精神を学び、実践しています。

礼拝のご案内

池袋と新座両キャンパスのチャペルでは年間を通してさまざまな礼拝やプログラムを開催しています。とくに授業期間中は、始業前の「朝の祈り」や、昼休み中に学生団体も参加して行う「昼の祈り」、聖歌隊やハンドベルが奏楽奉仕する「夕の祈り」などを定期的に行っています。その他に日曜日の主日礼拝、早朝聖餐式なども行っています。



池袋チャペル(諸聖徒礼拝堂)



新座チャペル(聖パウロ礼拝堂)

この他にもチャペルに関するさまざまな情報をWebサイト等で発信しています



チャペル

立教サービスラーニング(RSL)

大学の学びとは、「答えのない問いについて考えること」とされていると言われています。そのためには、深めたいテーマとの出会いを学生自らが積極的に探す姿勢が重要です。立教大学ではキリスト教精神に基づき、創立当初からキャンプやボランティア活動を通じて学生が自分にできることを考え、行動することで社会の課題に取り組んだり、他者を支えていこうという姿勢を大切にしてきました。この脈々と受け継がれてきた学びを、立教ラーニングスタイルと融合させて2016年度から新たに誕生したのが、立教サービスラーニング(Rikkyo Service Learning:通称RSL)です。

立教サービスラーニング(RSL)とは

立教サービスラーニング(RSL)は、社会の現場での活動と教室における学問的な学びとの融合を目指す実践型のプログラムであり、人によって意見が異なる社会的課題について、学生が現場で体験し、その事柄を専門的に学びあうための新たな学びの体系です。

全学共通科目として開講し、立教大学に所属するすべての学部学生が履修することができます。また、正課教育の科目ですので、成績評価基準を満たせば所定の単位が付与されます。立教サービスラーニング(RSL)には、大別して講義系科目(演習系科目含)と実践系科目があります。

2025年度実績では、講義系科目、実践系科目合わせて延べ1,600名程度が履修しています。また、ボランティア活動などの正課外教育と連動することで、履修後の継続的な現場での活動も支援しています。

講義系科目の特徴

講義系科目は、サービスラーニングの基本的な考え方や社会問題の捉え方を学びます。グループディスカッションや全体発表、そしてさまざまなフィールドで活躍するゲストスピーカーによる社会の課題や問題への取り組みの報告など、いわゆる「座学」だけでは終わらない科目群となっています。

また、立教大学の歴史や建学の精神、「立教ラーニングスタイル」(P.12)における正課外教育及び正課教育における学びとは何かといった、初年次教育や自校教育の一環を担う科目群も展開しています。

■ 表1 講義系科目(一部抜粋)

(詳細はWebサイト上の立教大学シラバス [📄](#) を参照ください)

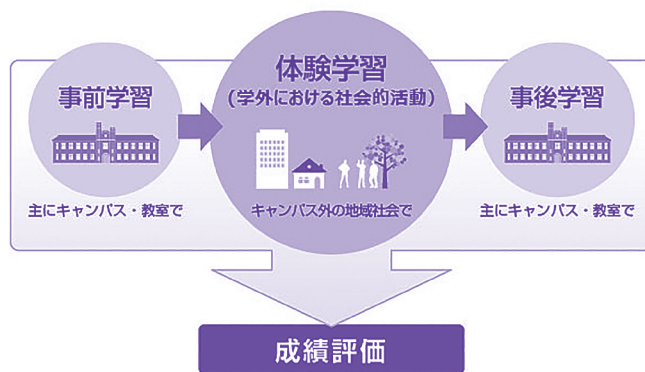
科目名	科目概要
大学生の学び・社会で学ぶこと	立教大学で学ぶこと、社会とつながることの意味について考えます
シティズンシップを考える	「市民」(citizen)としての「合意」と「選択」の本質とは何かを考えます
対話を学ぶ	なぜ平和構築において対話というツールが重視されるのかを理解します
RSLゼミナール	大学での学びの総まとめとして学際的なテーマを扱います

実践系科目の特徴

実践系科目は、現場へ赴く前の事前学修、実際の社会の現場での活動、そして事後学修と、大別すると3つの学びから成り立っています。現場での活動では、自治体、企業、NPO等の受入団体の支援・指導のもと、キャンパス周辺のコミュニティ、都市部とは異なる国内遠隔地、海外などのフィールドで活動します。多文化共生のまちづくり、社会格差、相対的貧困、過疎・高齢化等といったさまざまな地域・社会の問題について、現場で地域の方々と共に実際に取り組めるのが本科目群の魅力でもあります。

立教サービスラーニング(RSL)の実践系科目の場合、現場での実践だけでなく、事前学修において活動現場を取り巻く社会的な情勢や問題点を理論的に学び、活動後には事後学修として、活動全体を通じて社会を見る目がどのように変わったのかなどをしっかりと振り返ることが大きな特徴です。

■ 図1 実践系科目のイメージ



RSL-ローカル(南魚沼)活動中の様子



RSL-コミュニティ(埼玉)活動中の様子

■表2 実践系科目(一部抜粋)

(詳細はWebサイト上の立教大学シラバス  を参照ください)

科目名	科目概要
RSL- コミュニティ (池袋)	多文化共生の視点から池袋地域における相互連帯のあり方を地域の方々と共に考えます
RSL- コミュニティ (埼玉)	生活困窮世帯の小中学生への学修サポートを通じ、日本の社会的課題とされる見えない「貧困」の意味を問います
RSL- ローカル (南魚沼)	農山村地帯での交流を通して自然との共生と過疎・高齢化地域における持続可能なまちづくりを考えます
RSL- グローバル (フィリピン)	アジア地域の聖公会関係大学との連携によるフィールドプログラムで国際的な課題について日・韓・比・印の学生同士がチームとなって取り組みます

立教ラーニングスタイルとの関係

各講義系科目、実践系科目は、立教ラーニングスタイルにおける「導入期」「形成期」「完成期」に合わせて、それぞれの科目(全学共通科目)が用意されています。

しかし、必ずしもこの順番で履修しなければならないということではなく、各期の学年以外でも学生自身の興味や関心に応じて履修することは可能です。実際に高学年になっ

てから立教サービスラーニング(RSL)に興味を持ち、履修する学生もいます。



RSL-グローバル(フィリピン)活動中の様子

■ 図2 立教ラーニングスタイルと立教サービスラーニング(RSL)の関係性

立教サービスラーニング(RSL)科目の構成(全学共通科目)



■ RSL 科目を履修した学生の声

私が履修したRSLの実践系科目の一つである「RSL-ローカル(南魚沼)」では、現地活動を通し「豊かさとは何か」、「持続可能な社会にするにはどうすべきか」等、さまざまなことを学び考えた。RSLはさまざまな地域で展開されており、各地域が抱える諸課題について実際に講義を通して学び考えることで、その後の参加者の生活や活動に大きな影響や刺激を与えてくれる科目であると思う。

講義終了後、自分たちが学び考えたことを実際に行動することでお世話になった方々に恩返しをしたいと思った。そこで私は有志メンバーと話し合い、「立教×栃窪プロジェクト」を発足した。本プロジェクトではお世話になった地域のPRを目的とした米販売と現地体験プログラムの二つの活動に取り組んだ。本プロジェクトを通し、実際に自らが行動することの大切さを学ぶことができた。そして行動することで新たに学ぶことや新たに発見してくるものがあることも感じる事ができた。(法学部政治学科)



立教×栃窪プロジェクト後の地域との継続的な繋がり:年に一度の栃っ子米の販売



立教×栃窪プロジェクト・ホームカミングデーでの米販売

しょうがい学生支援

立教大学では、しょうがいのある学生が充実した学生生活を送ることができるように、関連する教職員と連携を図りながら、全学体制で共に支え合い、学び合うための支援を行っています。

しょうがい学生支援方針

立教大学は、すべての学生がかけがえのない個人として尊重され、しょうがいの有無によって分け隔てられることなく、互いに人格と個性を尊重する、開かれた大学を目指します。

立教大学はしょうがい学生が他の学生と同等の教育を受けられるよう合理的配慮を提供し、卒業後の自立的な社会生活を見据えて主体的に大学生活を送ることができるよう支援します。立教大学のしょうがい学生支援は、支援をする者受ける者が隔たりなく、共に支え合い学び合う双方向の活動とします。

しょうがい学生支援を通じて、大学全体の教育力を向上し、学生教職員の共生する力を育みます。

しょうがい学生支援の取り組み

立教大学では、1994年より、しょうがいのある学生を支援するネットワークを組織し、全学的なしょうがい学生支援を実施しています。

学内規程の整備

「立教大学しょうがい学生支援基本規程」「立教大学しょうがいしゃ(学生・教職員)支援ネットワーク規程」「立教大学しょうがい学生支援会議規程」「立教大学しょうがい学生支援不服申立て手続規程」などを整備しています。

全学的な支援組織

「しょうがいしゃ(学生・教職員)支援ネットワーク」を設置し、全学組織で支援しています。学部等と事務局それぞれでの支援を行うとともに、年に3回程度会議を開催し、支援にかかわる事項を共有・協議します。

専門窓口の設置

池袋・新座両キャンパスに「しょうがい学生支援室」を設置し相談の窓口になっています。しょうがい学生支援室には、身体しょうがい学生支援、発達・精神しょうがい学生支援の専門コーディネーターを配置し、学生・教職員からの相談に対応しています。相談内容によっては、関連部署と連携して支援に当たります。

FD・SD^{*}の実施

教職員を対象にしょうがい学生支援に関する研修を実施しています。

^{*}Faculty Development/Staff Development:教職員への能力向上・改善のための取り組み

サポートスタッフ学生の育成

サポートスタッフ学生を募集・育成し、池袋・新座の両キャンパスにてさまざまなしょうがい学生支援に当たっています。

緊急時対応

エレベーターや自動扉などの電気系統が停止した場合に自力で避難することが困難な学生や心配のある学生の緊急時対応を策定しています。必要に応じて、個別の災害緊急時マニュアルも作成しています。

バリアフリー環境の整備

校内施設にエレベーター・スロープ・多目的トイレを設置し、教室に車いす用座席を設けるなどキャンパスのバリアフリー化を進めています。

しょうがいに関するプログラム等の開催

しょうがい学生支援に関する講座やプログラムを実施しています。



【バリアフリー講座:アイマスク体験】

教職員や学生がしょうがいに対する理解を深めます

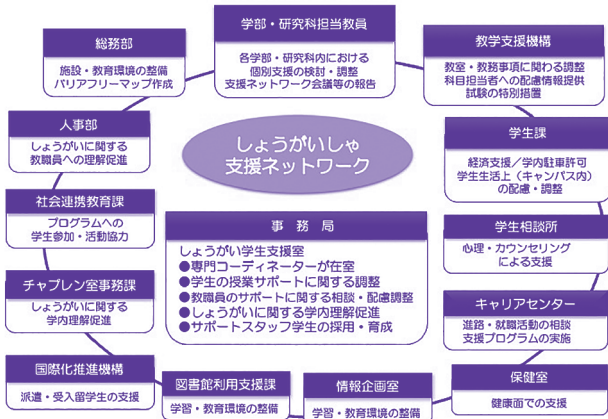


【点字カフェ】

視覚しょうがい学生が講師を務める実践講座

しょうがいしゃ(学生・教職員)支援ネットワーク

「しょうがいしゃ(学生・教職員)支援ネットワーク」は、しょうがいのある学生が修学・学生生活において支援が必要な場合に、関係する担当者が連携・協力して支援を行うための組織です。各学部・研究科等にしょうがい学生支援担当教員が、また、学生対応窓口をはじめとする関連事務部局にしょうがい学生支援担当職員がいます。



サポートスタッフ学生

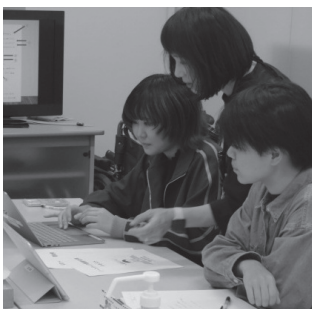
しょうがいのある学生への授業支援は、サポートをする学生が大きな役割を果たしています。例えば、聴覚しょうがい学生に対して講義内容をその場で文字にして伝えるノートテイクや、視覚しょうがい学生や肢体不自由学生の移動をサポートする学生等がいます。



【学修支援】聴覚しょうがい学生へのノートテイク



【移動サポート】車いす利用学生への教室でのサポート



【講習会】サポート内容に応じて実施



【ミーティング】学期ごとにサポート活動の振り返りを実施

合理的配慮の申請から支援まで

問い合わせ相談 支援(合理的配慮)を希望する学生は、しょうがい学生支援室まで連絡します。

面談 専門のコーディネーターが面談を行い、修学上の困難や必要とする合理的配慮の内容など具体的に聞き取りを行います。

合理的配慮の申請 合理的配慮の申請を希望する場合、①支援申請書 ②診断書等を提出します。

配慮内容の審議・決定 しょうがい学生支援会議にて、合理的配慮の必要性の判断や具体的な内容を審議、決定します。

合理的配慮の開始 科目担当者へ文書周知後、学生からの申し出と建設的対話を経て、共通理解に基づいた合理的配慮の提供を開始します。

フィードバック 合理的配慮開始後も担当コーディネーターとの定期面談により、修学状況の確認を行います。必要に応じて配慮内容を見直し、調整します。

合理的配慮の例

しょうがい	具体例*
視覚しょうがい	音声ガイド、学内移動サポート、教材の点訳・テキストデータ化、図表の立体コピー 等
聴覚しょうがい	ノートテイク、音声認識アプリのサポート・支援機器の提供、映像教材の文字起こし、字幕つけ、手話通訳者の手配 等
肢体不自由	学内移動サポート、ポイントテイク、教室等の環境調整 等
内部しょうがい	教室等の環境調整 等
発達・精神しょうがい	授業情報の視覚化や授業資料の提供、教室等の環境調整、授業参加方法の検討 等

*具体例は提供している合理的配慮の一部であり、個々の学生のニーズに応じて柔軟に対応しています。

しょうがい学生支援室

しょうがい学生支援の総合窓口として、共に支え合い、学び合うためのサポートをしています。池袋・新座キャンパスに、専門のコーディネーターが在室し、関連する教職員との連携により、1人ひとりのしょうがいのある学生に必要な修学支援を行います。

立教大学しょうがい学生支援室

場所	TEL
池袋キャンパス(12号館1F)	03-3985-4818
新座キャンパス(7号館2F)	048-471-7072

E-mail sien@rikkyo.ac.jp

開室時間 月～金9:00-17:00*

*大学休業期間中の開室日・時間は別に定めます。



しょうがい学生支援室

グローバル教育センタープログラム

グローバル教育センターでは、国境や地域を超え多様な背景をもつ社会で活躍するために、いつでも、どこでも、誰とでも、共に学びあい生きることができる人＝「グローバル・リーダー」の育成を目指しています。それは、多種多様な課題と社会的要請に対応し、広い視野に立って課題を発見・解決できる能力を持つ人材です。

グローバル教育センターが提供する科目は、5種類の実践的テーマ別に14科目を全学共通科目として開講しています。いずれのプログラムも、基礎知識や理論を学び、グローバル社会での実践を通じて自身の力を知り、その後のアクションプランを作成し、実践することを目指しています。各プログラムは全学部生を対象としており、英語科目と日本語科目をバランスよく配置し、海外からの留学生と共に学ぶ機会を提供しています。

リベラルアーツ教育を基盤とし、5種類の国際教育プログラムを全学に展開することにより「自ら考え(=思考力)、行動し(=変革力)、世界と共に生きる(=共感・協働力)」ことのできるグローバル・リーダーを輩出していきます。

立教 GLP	自分らしいリーダーシップを見つけ、磨く
海外ワーク エクスペリエンス関連科目	就業経験から海外で働くイメージをつかむ
陸前高田プロジェクト	震災被災地の「今」を学び課題を考える
国連ユースボランティア	開発途上国の国連機関で学生ボランティア
子どもの権利から考える 国際協力	SDGsについて子どもの権利に基づく活動事例を通して考える

立教GLP (グローバル・リーダーシップ・プログラム)

立教GLPが提唱するリーダーシップは、1人ひとりが自分の強み・弱みを理解し、ビジョンを掲げて周囲を巻き込み、チームの目標達成に向けて貢献できる能力(スキル)を指します。グローバルな環境でいつでもどこでもリーダーシップを発揮できるよう経験を重ね、段階的に強化していくことを目指しています。

Pick up

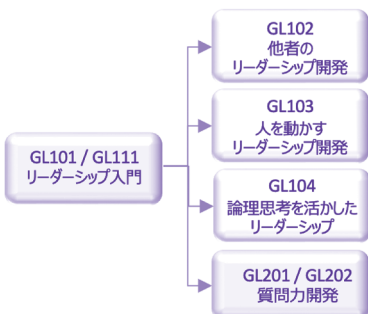
グローバル企業等と連携する GL101/GL111/GL201

プロジェクト型授業(GL101等)では、企業等から提示される課題にグループで取り組みます。

<過去の課題提供企業・団体>

レゴジャパン株式会社/日本航空株式会社/青山フラワーマーケット 等

科目体系図



グループでのディスカッション (GL111 (英語))

グローバル教育センター提供科目の特徴

対象	使用言語	授業形態	

*グローバル教育センター提供科目は、グローバル教養副専攻科目に指定されています。

海外ワークエクスペリエンス関連科目

海外企業での就業体験を通して、企業を知り、社会の仕組みを理解し、グローバルに働くイメージを持つためのプログラムです。団体で1週間程度海外を訪れ、企業訪問や企業の課す業務課題に取り組む入門編、個人で4週間程度現地企業に赴き、実践的な業務を経験する実践編があり、夏期(8~9月)、春期(2~3月)に実施されます。また、海外に拠点を置く企業の指示する業務に国内からオンラインで取り組むタイプもあり、形態の異なる3種類の実習科目を展開しています。さらに、自身の海外体験を基に、各自のグローバルキャリアを考える、講義系の国際キャリア科目を開講しています。

Pick up

11か国13地域に広がる多様な連携企業

<派遣実績> ※書類・面接による選考あり

日本航空(イギリス)/リコーヨーロッパ(イギリス)/JTB(シンガポール)/アルビレックス新潟シンガポール(シンガポール)/双日 テックイノベーション(ベトナム)他多数



アルビレックス新潟シンガポール



日本航空(イギリス)

子どもの権利から考える国際協力

国際NGOセーブ・ザ・チルドレンの現場で活動する職員を講師としてお迎えし、実際の活動の事例を通して、SDGsについての理解を深め、グローバル課題の解決に必要な多角的な視野を養います。



国連ユースボランティア

国連ユースボランティアは、世界の平和と開発を支援するためにボランティアリズムを推進する国連機関である国連ボランティア計画(UN Volunteers)が国内4大学と連携して、学生を約5ヶ月間開発途上国へボランティアとして派遣するプログラムです。グローバルな問題の本質に迫る知識と視野を身につけることを目指します。

Pick up

国内唯一 学部学生対象の国連派遣プログラム

世界各国の国連事務所・機関等に派遣され、各機関のスタッフとともに業務に従事します。広報活動業務やプロジェクト運営支援等を通して教育・環境・保健衛生などの分野に携わります。



開発途上国の
国連機関にて
5ヶ月間の活動

陸前高田プロジェクト

東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市を訪問し、被災当時の状況と現状を自身の体験として知り、市と市民の方々が抱える課題等を共に考えるプログラム。4泊5日の現地研修、事前・事後研修を実施。

Pick up

スタンフォード大等アメリカの大学、香港大、シンガポール国立大とのコラボレーション科目

スタンフォード大学等アメリカの大学、香港大学、シンガポール国立大学という海外有力大学の学生が参加するコラボレーションプログラム。共に学び協働作業をする中で、英語を使ったコミュニケーション能力のみならず、広く多様な視点から課題に向き合い意見を発信し行動する力を身につけます。



グローバル教育センタープログラムの構成

グローバル教育センタープログラムは、目指す目標に合わせて段階的に履修することが可能です。異なる科目を行き来し、自身の能力をより強化していくこともできます。

導入期

自己発見
多様性を理解する

形成期

自身の能力を知る
必要な知識・スキルに気付く

完成期

キャリア開発
自己変革力を身につける

講義・演習系科目

- ◆ GL101/GL102/GL103/GL104/GL111/GL201/GL202
- ◆ 子どもの権利から考える国際協力
- ◆ グローバル経験とキャリア

実習系科目

- ◆ 陸前高田プロジェクト
- ◆ 海外ワークエクスペリエンス 1
- ◆ 海外ワークエクスペリエンス 2
- ◆ グローバルワークエクスペリエンス (オンライン)
- ◆ 国連ユースボランティア

立教大学グローバル教育センター (池袋キャンパス マキムホール2階)

E-mail: cghrd-info@rikkyo.ac.jp

プログラム紹介動画・活動報告・申請要領等を掲載しています



グローバル教育センター



国際交流には、海外留学・研修によって経験する方法と、イベントに参加し国内で体験する方法があります。立教大学の海外留学制度は、留学の目的や、語学力等のレベルに応じてさまざまなプログラムを用意しています。また、本学学生が国内で国際交流を経験できるよう、グローバルラウンジや学内外の施設を利用し、さまざまなイベントを開催しています。留学情報や交流イベントは、メールや国際センターのSNSなどで定期的に配信されています。

ここでは、本学の海外留学制度の概要および国際交流行事について紹介いたします。なお、いずれの情報も大学Webサイトの「RIKKYO PORTAL」からご確認いただけます。

国際センター主催の海外留学制度

派遣留学制度

立教大学と国際交流協定を結んでいる海外の大学へ立教大学の代表として派遣する制度です。派遣先大学において専門科目を受講が可能な語学力と学識を有することが求められます。また、立教大学の代表として、派遣先大学での日本文化や立教大学の広報の役割を担うことが期待されます。

詳細は派遣留学生募集要項「STUDY ABROAD」をご確認ください。「STUDY ABROAD」は国際センターで配布しているほか、RIKKYO PORTAL上からダウンロードが可能です。

留学期間と出発時期について

渡航先によって異なりますが、1セメスター(4ヶ月程度)または1年(10ヶ月程度)となります。オーストラリア、ニュージーランド、ブラジル、および一部の韓国と中国は春出発の2月～3月、それ以外は秋出発の8月～10月に出発となります。

募集と選考について

12月と6月に春出発の大学の募集、9月と12月に秋出発の募集が行われます。選考方法は、語学試験、書類審査、面接審査、教授会審査によって選考されます。語学力だけではなく、大学内での成績や留学の目的の明確化、留学先の調査などが必要となります。

学費について

一部の大学を除き派遣先大学への授業料の支払いは不要です。「在学留学」を選択した場合、立教大学に学費を納付することになります。「休学留学」を選択した場合、在籍料(半期60,000円)を納付していただきます。但し、

派遣先大学および国・地域によっては諸手続きに関わる費用を徴収する場合がありますが、この費用は自己負担となります。

準備について

英語圏への留学は学内の出願期間までにIELTS等の外部英語試験の基準点を満たす必要があります。1年以上前に出願する場合がありますので、留学を希望する時期から逆算して準備を進めてください。英語圏以外は語学選考試験を実施する場合があります。

単位認定について

「在学留学」を選んだ場合、帰国後に単位認定願を提出することで、所属学部において審査を行い単位認定が可能です。単位認定状況は、所属学部、既修得単位と渡航後に履修した授業内容や時間に応じて異なります。「休学留学」の場合には随意科目として2単位の認定があります。

授業料非免除留学プログラム

本学の協定校であるケント州立大学(アメリカ・オハイオ州)・セントクラウド州立大学(アメリカ・ミネソタ州)で1セメスター(4ヶ月程度)または1年(10ヶ月程度)のプログラムが展開されています。現地の英語教育機関で英語学修を希望する場合、語学基準はTOEIC400点以上等(詳細は募集要項)です。また、語学基準が一定の水準を満たしている場合、専門科目を受講することが可能で、派遣留学とほぼ同等の制度です。派遣留学との大きな違いは「派遣先大学の授業料を支払う必要があること」です。募集期間は毎年1月上旬～1月中旬頃となります。

認定校留学制度

学生が個人で大学を選定し入学許可を得た上で、立教大学に留学を願い出て、公式な許可を受け留学する制度です。学費や単位認定、学籍については授業料非免除プログラムと同等の扱いとなります。

自分の留学目的に合った国や大学、出発時期を選択できることがこの制度の利点です。

短期英語研修プログラム

2026年度は、9プログラムの実施準備を進めています。団体渡航型と個人渡航型が用意されており、海外渡航経験やニーズに合ったプログラム提供ができるように整備を進めています。毎年約250名の学生がこのプログラムを利用しています。



国際センター以外主催のプログラム

国際センターの取り扱うプログラムは、ニーズの高い一般的な留学が中心となっています。海外留学プログラムは、さまざまなニーズに対応するため、国際センター以外の専門部局が主催するものがあります。主なものとして、「全学生」を対象とした①全学共通カリキュラム運営センター、②グローバル教育センター、③立教サービスラーニングセンターと、「特定の学部」を対象とした④各学部が取り扱うプログラムがあります（一部は他学部履修可能）。それぞれのプログラム概要と担当部局については、立教大学の海外留学プログラムの概要を網羅的に掲載している「Departure」でご確認ください。なお、①では主に語学研修を中心としたプログラム、②では就業体験やボランティアなどの体験型プログラム、③では実践的なプログラムが展開されています。また④では、主催学部の特徴・専門に特化した内容のプログラムが提供されており、特定の分野について海外で学びたい学生に向けられた内容が中心となっています。

■ 図表1 海外留学・研修プログラムの概要

プログラム	期間	申込時期	出発時期	申込から出発まで	担当部局
派遣留学制度	1 Semester～1年	6, 9, 12月	夏季休業・春季休業	8ヶ月～ 1年2ヶ月程度	国際センター
授業料非免除留学プログラム	1 Semester～1年	1月	8月	4ヶ月程度	
認定校留学制度	1 Semester～1年	出発時期による	各自で決定	2ヶ月～ 4ヶ月程度	
海外(言語)文化研修 (英、独、仏、西、中、朝)	3～4週間	4月、 もしくは8月	夏季休業・春季休業	4ヶ月程度	全学共通 カリキュラム 事務局
海外ワークエクスペリエンス・ 国連ユースボランティア		プログラムによる			グローバル 教育センター
学部主催プログラム		プログラムによる			各学部事務局
立教サービスラーニング		プログラムによる			立教サービス ラーニングセンター

「大学間協定に基づく派遣留学制度」Q&A

Q1 派遣留学の選考はどのように進みますか？

A1 ①語学選考、②書類選考、③面接選考、④教授会審査の4段階です。

英語圏への出願の場合、出願の段階で、IELTS等外部英語試験の基準点をクリアしていることが出願の条件となりますので「書類受理＝①語学選考合格」となり、そのまま出願時に提出した②書類選考に進み、合格者は③面接選考試験を受けます。面接の結果を所属学部で審査し最終的に立教大学からの推薦者となります。英語圏以外の場合には、①学内語学選考試験を受験(ただし、指定された語学検定を合格していれば学内語学選考試験は免除)する必要があり、合格すると英語圏と同じ選考過程となります。

Q2 毎年どのくらいの倍率ですか？

A2 倍率の公開はしていません。

公開しない理由は、ほとんどの大学の派遣枠は1～2名のため、出願者が1名違うだけでも倍率が大きく変動します。一方で倍率を公開すると前年度倍率の低い大学に出願が集中してしまい、本来あるべき「学びたいことを学ぶための留学」ではなく、「倍率の低い大学」への出願を誘発させてしまうためです。なお、派遣留学は大学の代表者の派遣ですので、例えば派遣枠2名に対して出願者が1名であっても、合格者が0名ということもあります。なお、合格者数は「STUDY ABROAD」に掲載しています。

Q3 語学力が高いほうが有利でしょうか？

A3 語学力が高い人が合格する制度ではありません。

派遣留学では、各大学の求める基準を応募資格としていますが、単純に語学力で候補者を比較することはありません。派遣留学では、留学の動機や目的、計画性、自己管理能力といった語学力以外の面も評価の対象となります。ただし、面接は日本語以外に現地の言語を使用する場合があります、上記のような受け答えができないと評価が下がる可能性はあります。

Q4 GPA が低いのですが出願は無理でしょうか。

A4 出願資格と応募資格で定められたGPA基準を満たしている場合に限り出願が可能です。

出願にあたっては、立教大学が定める出願資格(出願時の累積GPAが2.00以上)と留学を希望する大学が求めるGPA基準(大学によって異なる)両方を満たしている必要があります。希望先の大学へ出願するためにも、立教大学での日々の学修を大事にし、基準以上のGPA値を保つ努力をすることが大切です。

Q5 単位認定について教えてください。

A5 「在学留学」をした場合、単位認定申請することができます。

現地で単位を修得した授業の時間や授業内容を学部で審査し、立教大学の単位として認定可能かを判断します。そのため、渡航前にどの程度の単位認定が可能かはわかりません。単位認定について詳しく知りたい場合には、履修状況や履修計画を相談する必要がありますので、学生自身が教務事務センターに直接相談するほうが良いでしょう。

Q6 留学して就職活動は可能ですか？

A6 可能です。

キャリアセンターでは、立教大学内で実施している就職関連セミナーを、本学学生のみが閲覧できるWebサイトにて動画を配信しています。留学中もその動画を見ることができますので、事前に準備をすることが可能です。また、近年は留学が増えたこともあり、キャリアセンターでは、就職活動と留学を並行して進めるためのアドバイスをキャリアセンター窓口にて行っていますので積極的に活用するよう勧めてください。

Q7 必要な経費にはどのようなものがありますか？

A7 派遣留学で免除となるのは現地大学の学費のみとなります。

必要となる費用は、寮費、食費、テキスト費、渡航費、ビザ費用、海外旅行保険（立教大学指定）の他に、留学する国・地域・大学によっては授業登録事務手数料、入寮事務手数料、現地国民健康保険のような費用が発生します。また、在学留学の場合には立教大学の学費が全額、休学留学の場合には半期6万円の在籍料がかかります。そのほかにも大学ごとに必要となる費用が異なりますので、過去の留学経験者の報告書を国際センターのWebサイト で確認するよう勧めてください。

Q8 留学支援の奨学金について教えてください。

A8 立教大学ではグローバル奨学金・校友会成績優秀者奨学金という留学支援の奨学金があります。

毎年4月初旬に学生課のRIKKYO PORTAL 奨学金 ページにて要項が更新されますので漏れなくご確認ください。そのほかの奨学金についても原則として学生課がRIKKYO PORTAL 奨学金ページや掲示板に掲出しますので、適宜ご確認ください必要があります。

国際センター主管の奨学金については特定の条件を満たした学生のみを対象とするため、個人に直接連絡することになります。学生課・国際センター以外が取り扱う奨学金については日本学生支援機構の「海外留学支援サイト」などでも掲載されていますのでご参照ください。

Q9 希望大学が複数あるのですが、複数に出願できますか？

A9 出願時に第5希望まで記入することが可能です。

選考の際には第1希望を優先して審査し、派遣留学生として適切かを審査します。適切と判断された場合、第1希望の派遣枠が足りなければ第2～第5希望へ留学先が振り替えられます。

Q10 派遣留学は何年生から行ったらよいのでしょうか？

A10 留学の目的として何に重きを置くかによって異なります。

例えば、留学終了後の就職活動を重視するのであれば、2年生の秋学期から留学すると、帰国後にインターシップや就職活動準備に臨めることとなります。一方で、3年生以降に留学する場合には、留学期間と就職活動が重なることが想定されますので、就職活動に制限が出てくる可能性はありますが、日本で専門分野を理解してからの留学となるため、現地での学びは、2年生の留学よりも一層深いものになることが期待できます。

その他のよくあるQ&Aは右の2次元コードからご覧いただけます。



よくあるご質問 (FAQ)

国内での国際交流

国際交流イベント

立教大学にいる世界各国からの留学生とのさまざまな交流会に参加できます。

ワールドカフェ(毎学期開催)

日本語、英語、スペイン語、朝鮮語、中国語、ドイツ語、フランス語などの言語で留学生との会話を楽しめます。

留学生による母国・大学紹介

留学生が母国の文化や大学の紹介をします。

その他

各学期の最初に新人留学生を歓迎する国際交流イベントや季節イベント(クリスマス、お正月)など、多岐にわたるイベントを随時開催しています。

※イベントに関する最新のお知らせや詳細はグローバルラウンジのWebサイトで確認できます(s.rikkyo.ac.jp/gl)。

※年により開催されるイベントが変更される場合があります。

国際交流ボランティア制度

国際センターでは、立教大学に留学している留学生との交流を積極的に行っていただける学生ボランティアを随時募集しています。国際交流に興味のある学生は国際センターに登録申請をしていただくと、登録後はメンバーリストにて随時募集情報をお送りしています。

留学生バディシステム

立教生3~4名と新規に来日する交換留学生5~6名からなるグループをつくり、グループ内での交流を通じて、新規に来日する特別外国人学生が日本での生活や立教大学での学生生活に慣れるよう、相談や手助けをおこなう留学生サポートプログラムです。交換留学生が来日する9月、4月に向けて6月、1月頃に、国際交流ボランティアに登録いただいた学生の中からバディになりたい希望者を募集します。

バディになっていただくことが決まりましたら、来日前・来日時・来日後まで留学生と交流しながら、さまざまなサポートをしていただいています。

日本語関連ボランティア

日本語教育センターでは日本語授業に参加してくれる学生を募集し、会話やディスカッションのパートナー、留学生のプレゼンテーションの聞き手として活動してもらっています。また日本語スピーチコンテスト『立教大学留学生による日本語スピーチコンテスト~東京セントポールライオンズクラブ杯~』では、スピーチアドバイザーを募集し出場者(留学生)と一緒にスピーチの練習をしてもらっています。

留学に関する情報収集

Study Abroad Weeks

留学を希望する方、留学に興味のある方を対象に毎年5月と10月の年2回、2週間にわたり留学に関する情報収集ができる期間を設けています。派遣留学制度説明会、派遣留学・短期留学経験者の体験談、留学経験のある卒業生の講演会などを通して、留学制度や留学準備に必要な情報を全般的に知ることができます。


グローバルラウンジ

各キャンパスのグローバルラウンジではイベントを開催しています。

池袋キャンパス:マキムホール M2階

新座キャンパス:8号館 1階

※近年は毎年のべ2,000名以上の学生が100以上のイベントに参加しています。

国際交流に関する情報はRIKKYO PORTALの国際交流  ページの他にInstagram、X(旧Twitter)でも配信しています。



留学生が出身国を紹介するCountry Festa



英語で気軽に交流できるLanguage Loungeのイベント

資格取得

立教大学では、学校教育ならびに社会教育関係の専門職員の資格を取得するために、教職課程、学芸員課程、司書課程、社会教育主事課程の4課程を設け、受講を希望する学生には等しく履修する機会を設け、指導にあたっています。これらの課程は、卒業単位とは別に各課程所定の単位を修得しなければならないため、修了するには相応の努力を必要とします。

教職課程(教員免許状)

各学部・学科の卒業単位とは別にこの課程の単位を並行して履修することにより、各学部・学科の専門領域に関連し、文部科学省から課程認定を受けた教科(学科により取得できる免許教科は決められています)の中学校・高等学校の教員免許状を取得できます。教職課程を履修する学生にとっては、教育実習などを経験することによって、人間の成長・発達について深く洞察する機会が得られます。

毎年50名ほどが中学校や高等学校の教員に採用されています。立教大学の自由な校風の下で学び、教職課程を修了した先輩たちは、それぞれの学校現場で教員として活躍し、高い評価を得ています。

(注)立教大学では、小学校の教員免許状は教育学科初等教育専攻課程に在籍する学生だけが取得できます。また、文部科学省から課程認定を受けていない経営学部、現代心理学部では中学校・高等学校の教員免許状を取得できないため、教職課程を受講することができません。

学芸員課程(学芸員)

博物館・美術館などで資料・作品の収集・整理・調査・研究・展示・教育普及事業の中心的役割を果たす職員が学芸員であり、各分野についての高度な専門的知識を要する職種です。日本の大学において最初に学芸員養成課程を設けたのが立教大学で、これまで多くの学芸員を輩出してきました。近年では学芸員としての就職以外にもさまざまな業種でそのスキルを活かせる機会が増えております。本課程では確実な知識と技能を身につけることができます。

司書課程 (図書館司書、学校図書館司書教諭)

司書は、図書館法に定められる、公共図書館の専門職の資格ですが、大学図書館をはじめとする他館種の図書館だけでなく、一般企業等でも、資格取得において習得する情報の収集・整理・保存・提供に関わる専門的な知識や技能は有用です。

司書教諭は学校図書館法に定められる国家資格で、教員

免許状を取得のうえで取得できます。学校には司書教諭が必置と同法にあり、学校教育現場で読書や情報リテラシーの指導のリーダーになることが期待されています。

社会教育主事課程 (社会教育主事)

都道府県や市区町村教育委員会などでの青少年、成人、高齢者の学級や講座の企画・運営、また公民館や青年教育施設での指導・助言をおこなうのが社会教育主事です。「社会教育主事」は公務員として採用され、なおかつ教育委員会から発令を受け、初めて社会教育主事(補)となります。

2020年4月、社会教育の体系的理解や専門性、コーディネート能力・ファシリテーション能力等を発揮し、NPO法人や企業等、多様な立場で人づくりや地域づくりにおいて中核的な役割を担うことを目的に、文部科学省は「社会教育士」の称号を新設したことにとともに、「社会教育主事」任用資格とともに、「社会教育士」の称号を取得することができます。特に、地方公務員志望の学生に履修を進めます。

その他の資格

この他立教大学の㊦特定学部の特定科目を修得し、申請により得られる資格、㊧特定学部・大学院の特定科目の単位を修得することで、受験資格を得られる資格、㊨開講されている科目が資格の内容と関連している例、などがあります。

- ㊦ **社会調査士**
- ㊦ **障がい者スポーツ指導員**
- ㊦ **レクリエーション・インストラクター**
- ㊦ **日本語教員**
- ㊦ **健康運動指導士**
- ㊦ **税理士**
- ㊦ **社会福祉士・精神保健福祉士**
- ㊦ **公認心理師・臨床心理士**
- ㊦ **公認会計士**
- ㊦ **旅行業務取扱管理者**

奨学金



奨学金は、大きく2つの目的があります。

- ①経済支援目的：所定の学力を有していながら経済的理由で学業継続が困難な学生に対し、学業継続の機会を保障すること。
- ②育英目的：優れた能力を有する学生に対し、その能力をさらに伸ばす機会を提供すること。

立教大学では各種奨学金制度を用意しています。詳細については「奨学金案内」を確認してください。また、日本学生支援機構奨学金(国の奨学金)のほか、各種の学外奨学金も扱っています。申請手続きは、学生本人が所属キャンパスの学生課窓口または郵送等で行う必要があります。

学部生対象の主な奨学金(2026年度予定)

立教大学の主な奨学金

奨学金名称	目的	対象・金額	趣旨	募集要項 公開時期(予定)
学部給与奨学金	経済支援	全年次対象 文系学部年額50万円、環境学部60万円、理学部年額70万円、GLAP年額80万円を給付*	経済的理由により就学が困難な学部学生を支援する。	9月中旬
大柴利信記念奨学金	経済支援	全年次対象 年額50万円を給付*	経済的理由により就学が困難な関東地方以外の道府県出身の学部学生を支援する。	
ポール・ラッシュ博士記念奨学金	育英	全年次対象 年額70万円以内を給付	キリスト教に基づく奉仕活動に従事している者、あるいは従事しようとしている者の活動を支援する。	9月中旬
グローバル奨学金	経済支援	全年次対象 年額10万円～60万円を給付	派遣留学や単位認定を行う留学プログラム参加者を支援する(家計基準有り)。	4月上旬
校友会成績優秀者留学支援奨学金	育英	2年次以上対象 年額20万円を給付	派遣留学や単位認定を行う留学プログラム参加者で成績が優秀な者を支援する。	4月上旬
緊急給与奨学金	経済支援	1～4年次対象 年額30万円を給付	過去1年以内に発生した主たる家計支持者の死亡・失業等による家計急変に伴い学業継続が困難になった学生を支援する。	5月下旬 12月上旬
松崎半三郎記念奨学金	育英	2～4年次対象 年額40万円を給付	見聞を広め深い教養を身につけることを目的とする、学生の独創性ある海外渡航計画の実施を支援する。	4月上旬
田中啓允奨学金	育英	2・3年次対象 年額40万円以内を給付	アジア諸国のNPO・NGOの訪問と活動・研究を通して見聞を広め教養を身につけることを目的とする海外渡航計画の実施を支援する。	4月上旬
学業奨励奨学金	育英	2～4年次(GLAP除く)対象 年額20万円を給付	勉学意欲・人物ともに優れた学生の学業を奨励する。	9月中旬
GLAP学業奨励奨学金	育英	GLAP 2～4年次対象 年額20万円を給付	勉学意欲・人物ともに優れた学生の学業を奨励する。	9月中旬
内藤昌尚奨学金	育英	2～4年次対象 年額50万円を給付	勉学意欲・人物ともに優れた学生の学業を奨励する。	9月中旬
校友会奨学金	育英	3年次対象 年額50万円を給付	立教大学校友会が、卒業後の目覚ましい活躍が期待され、かつ学業成績が優秀な4年次学生を支援する(応募3年次)。	9月中旬
大川又三郎記念奨学金	育英	3年次対象 年額30万円を給付	研究対象として、広く金融に関わる内容を取り上げる者を支援する。	9月中旬

*国による修学支援新制度との併給制限があります。

*育英目的の奨学金は上記のほかにもあります。詳細は奨学金案内または奨学金窓口でご確認ください。

*経済支援目的の奨学金は家計審査があります。

*各種奨学金は、対象者や奨学金用途について細かく規定されている場合があります。詳細は募集要項を確認してください。

奨学金に関するQ&A

Q1 奨学金の情報はどこで確認できますか？

A1

①立教大学「オフィシャルWebサイト」
奨学金のサポート



奨学金 経済支援制度

②立教大学
「RIKKYO PORTAL-奨学金ページ」



RIKKYO PORTAL
奨学金

③冊子「奨学金案内」(PDF)で
奨学金の情報を確認することができます。

学生課奨学金窓口で配布
しているほか、「RIKKYO
PORTAL-奨学金ページ」で
も閲覧することが可能です。



RIKKYO PORTAL
奨学金案内

Q2 立教大学にはどのような種類の奨学金がありますか？

A2

入学後に出席が可能な奨学金には、大きく分けて①日本学生支援機構奨学金(貸与・給付)、②立教大学の奨学金(給与)、③民間育英団体の奨学金(給与または貸与)があります。立教大学の奨学金については、すべて給与型(返還不要)で、経済支援、留学支援や学業・活動支援を目的としたものがあります。学生本人が、「奨学金窓口」で配布または「RIKKYO PORTAL-奨学金ページ」に掲載している「募集要項」「出願書類」を入手し、出願準備を行うこととなります。

Q3 奨学金についての電話での相談は行っていますか？

A3

電話での相談も受け付けていますが、制度説明等の概要のみお答えしております。出願に関する相談については、出願資格の確認のために学業成績や家庭の経済状況など、個人情報扱う必要があるため、原則として奨学金窓口でご本人確認を行ったうえで受け付けています。

Q4 家計状況が急変してしまいました。どのような経済支援がありますか？

A4

立教大学では、家計が急変した学生に対して以下の紹介や経済支援を行っています。

①日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金の貸与奨学金(緊急・応急採用)および給付奨学金(家計急変)を受付しています。対象となる方や家計基準等の詳細は、日本学生支援機構ホームページでご確認ください。

②立教大学緊急給与奨学金<学部学生・大学院学生対象>

過去1年以内に主たる家計支持者に家計急変が生じた方を対象とした立教大学緊急給与奨学金の募集を年2回(5月・12月)行っております。対象となる方や家計基準等の詳細は、「RIKKYO PORTAL-奨学金ページ」で募集時期に公開する募集要項で確認ください。

③その他の立教大学経済支援奨学金<学部学生対象>

緊急給与奨学金の他、経済的理由により修学が困難な学生を支援するための奨学金(学部給与奨学金・大柴利信記念奨学金)の募集を秋学期に行う予定です。

Q5 奨学金の出願資格があるか確認したいのですが。

A5

各奨学金の出願資格の有無は、それぞれの募集要項をご覧ください。学生ご自身で確認いただくこととしております。成績基準や家計基準の詳細について、事前に資格の有無をお答えすることはできかねますのでご了承ください。

Q6 奨学金以外の経済援助制度はありますか？

A6

「学費の延納制度」「国の教育ローン」「立教大学提携教育ローン」などがあります。

学費の延納制度

申請期限があります。詳細は各学期に送付される学費案内、「RIKKYO PORTAL」の「学費・納入金」でご確認ください。

国の教育ローン(日本政策金融公庫)

入学時・在学のために必要な諸費用を融資する国の教育ローンです。学生一人につき350万円まで利用できます。詳細は奨学金窓口にあるパンフレット、もしくは日本政策金融公庫ホームページで確認ください。

教育ローンコールセンター0570-008656(加入している電話回線で利用できない場合、03-5321-8656)

立教大学提携教育ローン

立教大学が提携している下記の金融機関から融資を受ける制度です。審査には、融資の申込み手続から相当の期間が必要であり、また、審査の結果によって利用できない場合があります。金利、融資条件等の詳細は、融資を希望する下記の金融機関に直接お問い合わせください(提携教育ローンより、一般向けの教育ローンの方が、金利が低い場合があります)。

①三井住友銀行

0120-523-605(ネットローンプラザ)

②オリエントコーポレーション

0120-517-325(学費サポートデスク)

※学生本人が借主となる場合は社会人に限る

③楽天銀行

0120-61-6910(カードセンター)

④ジャックス

0120-338-817(コンシューマデスク)

上記以外の金融機関でも一般向けの教育ローンを取り扱っている場合があります。

詳細は各金融機関のHP等をご参照ください。

体育会・サークル活動



共通の趣味や目的をもった仲間が集まる体育会・サークル。池袋と新座、キャンパスの垣根を越えて交流が行われています。運動系や文化系、伝統のあるクラブから新しいことに取り組むサークルまでさまざまです。

ここで出会う仲間との経験は、大学生活でしか得られない貴重なものです。

立教大学には、学術・文化・スポーツの分野にわたってさまざまな体育会・サークル活動団体がありますが、そのうち大学の公認団体としては、体育会・学生キリスト教団体・登録団体などに所属する約200余りの団体があり、学生の自主的な運営によって学内外で活発に活動しています。90%余りの学生が一度は体育会・サークルに加入し、60%強の学生が継続して活動しています。

学生関係施設

ウィリアムズホール（池袋キャンパス）

ウィリアムズホールは池袋キャンパスにおける課外活動の中心的施設として1992年に建設されました。この施設には、学生団体の部室をはじめ、音楽練習室、和室、板の間、会議室、スタジオ（小ホール）、シャワー室、クライミングウォール、軽食堂などの施設が盛り込まれ、学生に広く利用されています。

施設名は立教大学の創立者であるウィリアムズ主教にちなんで命名されました。主教は常に学生と起居をともし、学生をこよなく愛し続けたと言われます。ウィリアムズホールは、こうした主教の心にそって、この施設に集う人々の豊かなコミュニケーションを、また新しい時代にふさわしい学生の文化を生み出す場として機能しています。

ユリの木ホール（新座キャンパス）

ユリの木ホールは新座キャンパスにおける学生団体の活動の中心的施設として2005年に建設されました。この施設には、学生団体の部室をはじめ、会議室、ステージボックス（小ホール）、音楽練習室、和室、学生団体用各種倉庫、学生の集うラウンジなどがあり、学生に広く利用されています。

施設名は学内の公募によって集められた名称の中から決定されました。ユリの木ホールは学生同士のコミュニケーションの場のひとつとして、また学生文化を生み出す場としても機能しています。

■体育会・サークルのための主な援助金・表彰制度(2025年度実績)

援助金および表彰制度を用意し、積極的に活動を支援しています。

制度名	制度概要	援助・表彰内容	制度名	制度概要	援助・表彰内容
立教カード 奨励賞(課外活動)	課外活動において、優秀な成果を収めた個人および団体を表彰する。	奨励金の授与。 支給額等は採用数を鑑み決定。	国内大会 援助金	所属キャンパスを基点として片道100km以上離れた国内の会場で開催される全国大会および国際大会で、公共の交通機関で片道5000円以上の交通費が必要となるものを対象に援助する。	1名あたり1万円とし、1団体あたり年間上限20万円
立教カード 奨励賞 (社会貢献・地域連携)	立教大学の建学の精神を具現化し、ボランティア活動等の社会貢献や地域連携活動に力を注ぎ、優れた学生として模範となる個人または団体を表彰する。	個人 :賞状及びメダルの授与 団体 :賞状及び盾の授与	指導者謝礼 援助金	構成員の専門的なスキルを向上させるために独自に指導者を招く団体に対して、指導者謝礼を援助する。	費用の60%を支給 上限は30万円
物品購入 援助金	団体の活動に必要とされる高額な物品(税込単価8万円以上)の購入を援助する。	費用の60%を支給 上限は50万円	周年行事等 援助金	原則として5年または10年を区切りとして行うような周年行事等の企画を行う場合に援助する。	費用の60%を支給 上限は50万円
発表会場 使用料 援助金	団体が単独で主催した企画で、学外で演奏会・発表会・展示会などの企画を行う場合に当日およびリハーサルで必要となる施設使用料を援助する。	費用の60%を支給 上限は20万円	学生団体 学外施設 利用料 援助金	学外で演奏会、発表会、展示会等の企画を実施する場合や対外的な試合、コンテスト等に参加する場合に、練習等で利用する学外施設利用料を援助する。	費用の60%を支給 上限は10万円
海外大会 援助金	日本代表またはこれに準ずるものとして選抜された上で、海外で開催される大会または遠征に参加する場合に援助する。	個人 :10万円 団体 :1名につき3万円/1団体あたり年間45万円まで	キリスト教 教育実践 活動援助金	学生キリスト教団体の宿泊を伴う活動で、立教大学チャプレンが同行する企画を対象に、活動に必要な施設使用料・宿泊費および交通費を援助する。	1団体あたり年度内1件のみ支給 上限は15万円
			体育会学外施設 利用団体援助金	体育会に所属し、学内に練習場を持たない団体に対し、交通費や学外施設利用料を援助する。	費用の50%を支給。 上限は交通費として15万円、施設利用料として45万円。

体育会・サークル一覧

■ 体育会

山岳部	ホッケー部	卓球部	航空部
アメリカンフットボール部	テニス部	バレーボール部	射撃部
バドミントン部	空手部	レスリング部	ローラーホッケー部
野球部	自動車部	ヨット部	女子バドミントン部
バスケットボール部	馬術部	弓道部	女子バスケットボール部
ボート部	ラグビー部	柔道部	女子卓球部
ボクシング部	スケート部	剣道部	女子バレーボール部
応援団	スキー部	重量拳部	少林寺拳法部
自転車競技部	サッカー部	合気道部	軟式野球部
フェンシング部	準硬式野球部	拳法部	男子ラクロス部
陸上競技部	ソフトテニス部	洋弓部	女子ラクロス部
ハンドボール部	相撲部	モーターボート・水上スキー部	アイスホッケー部
体操競技部	水泳部	ゴルフ部	「立教スポーツ」編集部

■ 学生キリスト教団体

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊	立教大学B.S.A.第8支部
立教学院諸聖徒礼拝堂祭壇奉仕者会アコライト・ギルド	立教学院諸聖徒礼拝堂ハンドベルクワイア
立教大学オーガニスト・ギルド	立教ローバース
立教学院諸聖徒礼拝堂日曜学校さゆり会	アジア寺子屋
立教大学G.F.S.	

■ 学生健康保険互助組合

学生保険委員会
献血運動の会

■ 池袋キャンパス登録団体【文化系】

音楽	アメリカ民謡研究会	写真部	将棋部
合唱団アヒル会	庶民吹奏楽団	書道研究会	鉄道研究会
軽音楽部	Pianoの会	放送研究会	福音キリスト者聖研会
グリークラブ	えどむらさき	マジック研究会	法学研究会
交響楽団	創作・表現	落語研究会	考古学研究会
スペインギタークラブ	アルバム制作委員会	漫画研究会	学生法律相談室
ハーモニカ・ソサイアティ	映画研究会	児童文学研究会	その他
マンドリンクラブ	英語会(E.S.S.)	陶芸部	ホテル研究会
ビッグバンドクラブ	演劇研究会	学園祭研究会	堀の内ゼツルメント(立教大学子供会)
作詞作曲部OPUS	文芸思想研究会	St.Paul's Campus	立教YMCA
サウンドハウスALBION	華道部	文芸批評研究会	立教大学アイセック
おたまじゃくしの会	劇団テアトルジュンヌ	学術・研究	M.E.T.S.
OVER ALL MUSIC	広告研究会	化学会	手話サークル テブクロ
R.F.U.	茶道部	歌舞伎研究会	R.S.C.C.
クラブDJ	サパヌ美術クラブ	ジャーナリズム研究会	

■ 池袋キャンパス登録団体【スポーツ系】

旅行・アウトドア	ソフトテニス愛好会DASH	その他の球技	合気道会
釣部	理学部テニス会	FC立教	シーズンスポーツクラブ
サイクリストツツリングクラブ	硬式庭球同好会イル・エ・エル	硬式野球サークルRiyakyu	乗馬同好会BORO
理学部山の会	硬式庭球同好会ロングフェロー	サッカー愛好会	チアリーディングクラブ
ハイキングクラブ	硬式庭球同好会 ローランギャロ	バスケットボール同好会	BEAMS
逍遙会	硬式庭球同好会ラプスマッシュ	バレーボール同好会	MANEUVERS
探検部	BEETLEテニスサークル	卓球同好会	クライミングサークル
古都散策会	スキー	Diavolo.S.P.F.C.	Rocher
翠嵐会	ベーレンスキークラブ	硬式ソフトボール部	チアダンスサークル
スキューバメイツ	ダウンヒル基礎スキークラブ	その他	LUMINAS
テニス	ゴルフ	舞踏研究会	弓道同好会
硬式庭球同好会オールホワイト	イーグルゴルフクラブ	スポーツ愛好会	

■ 新座キャンパス登録団体【文化系】

SEMBRAR	新座吹奏楽サークル Harmony Of Rainbow
Etwas	立教新座写真サークル シャッターズ
ボランティアパフォーマンスサークル どりいむほっくす	サイコロクラブ
新座キャンパス学園祭 IVY Festa実行委員会	劇団WARBLER
手話サークルHand Shape	茶道研究会
JG	新座アニメーション制作委員会
Nuggets Of Hospitality	立教大学JAZZ研究会
新座イラスト会	立教大学ベリーダンスサークルLatees
シネマトグラフ	東日本大震災復興支援団体 Three-S
Coffret danse ensemble	立教大学BBS会
立教大学劇団志木	

■ 新座キャンパス登録団体【スポーツ系】

昼バス会
HEARTS
Powder Peaks
FEVER NOVA
Niiza Badminton Assembly
Wering
ポルトガル
RCC univ.
Esperanza

立教大学図書館は、大学での主体的な学び・教育・研究活動を幅広く支援するため、「知の拠点」として学術情報の収集・蓄積・発信のほかさまざまな利用支援サービスを行っています。

池袋図書館、新座図書館、新座保存書庫の3館で200万冊以上の資料を所蔵し、電子書籍やデータベース等の電子リソースは図書館外からでも利用可能です。図書館Webサイトの優れた検索性により、多様化する利用者の学修・研究のニーズにも応えています。

また、都内10大学が加盟する「山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム」を活用することで、本学に所蔵のない資料等の閲覧・貸出も可能となっています。



池袋図書館

多様化する学修への対応

■利用環境の充実

①ICT (Information and Communication Technology)

環境の整備

館内にはPCを設置した閲覧席に加え、貸出用PCも十分に備えています。また、館内全域で無線LAN・携帯電話通信ネットワークが完備され、利用者自身のPCやスマートフォン等のモバイル端末の利用はもとより、「WebPrint」システムにより印刷の利便性も向上しました。

閲覧席には、利用者自身のPCやモバイル端末を利用する際の電源コンセントも整備しています。

②グループ学習室

可動式の机・椅子、大型ディスプレイ、ホワイトボードを備えた「グループ学習室」を池袋図書館に8室、新座図書館に3室設けています。予約システムを通じてスマートフォン等から簡単に予約し、利用することができます。

③グループワークのための空間

池袋図書館に「ラーニング・スクウェア」、新座図書館「しおり」(ラーニング・commons)内にグループワークエリアを設けています。



新座図書館「しおり」

個人またはグループによる学びのスペースで、創造・発信の場としても活用できるよう、開放的な空間になっています。利用者のグループワークを促進するため可動式の机・椅子やホワイトボードを備えています。

池袋キャンパスには、この他にメジャーライブラリー記念館新館にメジャー・ラーニング・commonsがあります。

④静謐な閲覧スペース

従来から図書館にある静粛を保った閲覧席や個別に区切られたキャレル席等も十分用意しており、利用者のニーズに合わせて各閲覧席を利用することができます。

⑤視聴覚資料

図書館では学部の特徴に合わせて、DVDやCD等の視聴覚資料も豊富に所蔵しています。これらを視聴するためのAVブースも整備しています。

⑥電子リソースの利用

データベースや電子ジャーナル、電子書籍等の拡充に合わせて、非来館型サービスとして、図書館外でも多彩な電子リソースをいつでもどこでも利用できる図書館サービスを提供しています。



池袋図書館 講習会室

■学修サービスの拡充

設備の充実に留まらず、学修・研究を推進するソフト面のサポートも拡充しています。

池袋・新座図書館ともに、学修支援に必要な機能を1フロアに集中させており、ワンストップで多様なサービスを受けることができます。そのひとつが、レポートや論文作成などのための学修支援サービスです。他にも、PCの操作方法などで困ったときの相談に応じるPCヘルプサポート、主体的な学修に資するための各種講習会を実施しています。

①ラーニングアドバイザー(LA)

本学の大学院学生が、図書館の活用方法やレポート・論文のテーマの決め方から文献の探し方、書き方などのアドバイスをしています。池袋・新座両図書館専用ブースでの対面相談に加え、Zoomによるオンライン相談(予約制)も選択できます。また、これまでの相談に基づくFAQ方式のアドバイスを図書館Webサイト [☞](#) 上でいつでも閲覧できるほか、「レポート作成セミナー」「図書館活用講座」「おすすめ本」「語りの時間」などを

通して、LAならではの情報発信も行っています。

②各種講習会の開催

学術論文の全文および書誌情報・新聞記事等を検索するデータベースの活用方法を学ぶ講習会や、就職活動に役立つ情報収集の仕方を学ぶ講習会を定期的に開催しています。

後者では、キャリアセンターと連携し、データベースを提供する企業の担当者を招いて企業情報の収集方法や関連するデータベースを紹介しています。また、キャリア支援図書として、企業研究、業界研究、職種研究に役立つ資料を提供しています。

③授業との連携

学生の情報リテラシーの向上を目的として、授業・ゼミ単位で、図書館リソースを活用した授業内情報検索講習会を開催しています。この講習会は授業の1コマを利用し、図書館の効果的な利用方法をはじめ学修・研究に必要な資料の検索方法、データベースの活用方法などを詳しく説明します。いくつかの学部では、1年次生の必修科目の授業に組み入れられています。

ニーズに合わせた環境整備

学修スタイルが多様化するなか、図書館では、年間320日を超える開館日数を確保し、夜間まで利用可能な環境を整え、利用者が館内での滞在時間を快適に過ごせるようさまざまな工夫を凝らしています。

①多様な空間を用意

発話してグループワークができるエリア、静粛を保った閲覧席、AVブース、PC席、リラックスした状態で利用できるエリアなど、多様な空間を用意しています。

②バリアフリーの図書館

池袋図書館では、主要動線をフラット化・自動ドア化し、全ての閲覧フロアに電動昇降機や多目的トイレ(1Fはオストメイ

ト対応)を設置しています。また、両図書館において、視覚しようがい等がある利用者に対し、図書資料のデータ化支援を行っているほか、新座図書館では学修支援のための対面朗読室も設けています。

③飲食について

全館でペットボトル等のキャップ付飲料の持ち込みを認めており、また、軽食をとることができるスペースを設けています。池袋図書館は館内に飲料および軽食の自動販売機を設置しています。



池袋図書館 地下1階



新座図書館 1階

〈図書館の展示企画〉

図書館では、立教大学で所蔵する貴重資料をはじめ、特別なコレクション資料の展示を池袋・新座両図書館で定期的に行っています。また、学内他部署とも連携しながら、教員推薦図書や留学に役立つ資料等のさまざまな企画展示を開催しています。図書館Webサイト上のデジタル・ライブラリーにて、デジタル化した各種貴重資料の閲覧が可能となっていますが、今後も実際の貴重資料を間近に見ていただく機会を随時提供していきます。



「竹取物語絵巻」中巻 第三図(大納言大伴御行、続き)

(注)「学修」について

大学設置基準には、大学での学びは「学修」と表記されています。これは、大学での学びの本質は、講義、演習等の授業時間の他に、授業のための事前の準備、事後の展開など、学生の主体的な学びに要する時間を内在したものと考えられているからです。そこで施設・設備の名称を除いて、「主体的な学び」を意味する場合は、一般的な「学習」と区別するため「学修」と表記しています。

健康管理

毎年4月上旬に、全学生を対象とした定期健康診断を行うほか、保健室では日常の救急措置・健康診断等を行っています。また、池袋キャンパスには医師のいる診療所(学生健康保険互助組合契約医療機関) [☞](#)も開設されています。

医療費の給付(学生健保)

「立教大学学生健康保険互助組合(学生健保)」の組合費は学期ごとに学費と共に徴収し、原則全学生が組合員です。かかった医療費のうち保険診療内の自己負担分は、申請すれば給付されます(基準に合致する場合3割負担全額が対象)。申請方法、給付基準等詳細は大学WebサイトRIKKYO PORTAL「医療給付等(学生健康保険互助組合)」 [☞](#)をご確認ください。

学生教育研究災害傷害保険(学研災)

入学と同時に学生はこの保険に加入します(保険料は大学が負担)。主に正課中、課外活動中、正課・課外活動中を除くキャンパス内滞在中、および通学中の事故が対象です。詳しくは、大学WebサイトRIKKYO PORTAL「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」 [☞](#)をご確認ください。

診療所・保健室

池袋キャンパスには医療機関としての診療所があり、内科診療を行っています。1950年の開設以来、学内で診療を受けることができる機会を提供しています。病気治療などの場合に利用出来ます。診療は専任の所長および大学病院などからの嘱託医師が交替で担当しています。

利用者の大半は軽度の内科疾患による受診ですが、必要に応じて、大学病院や総合病院等への紹介を行っています。健康診断書の作成も行っています。

一般の保険診療を行う医療機関です。更に立教大学学生健康保険互助組合の契約医療機関でもあるため、学生健康保険互助組合に加入している学生は、「マイナ保険証」または「資格確認書」と「学生証」を提示することにより補助が適用されます。従って、健康保険の範囲内での診療の自己負担金の支払いは、会計窓口では発生しません。ただし、「マイナ保険証」または「資格確認書」を忘れた際には自費になる場合があります。

また、保健室は池袋キャンパスと新座キャンパスにそれぞれあります。毎年、年度初めに定期健康診断を実施するなど学生の健康管理を行っています。保健師が常駐し、体調や健康一般についての相談を随時受け付けています。気になるこ

とがあれば、利用されることをお勧めします。

診療所・保健室は、健康で有意義な学生生活を送ることができるような手助けをしていきたいと考えております。

学生相談所

学生相談所では、学生がより充実した学生生活を送れるようにあらゆる相談に応じています。

大学生活の中で多くの学生が学業、人間関係、課外活動などさまざまな場面で問題にぶつかります。それらの問題に取り組み中で自分を見つめ直し、問題を解決する力を養います。考えることを放棄して人任せにしたり、先送りにするのはなく、自分で考え、必要な援助を求め、適切な対処をすることは、社会に出る前の大きな学びとなるでしょう。学生相談所では、1人ひとりの問題解決の営みをお手伝いします。

学生相談所は池袋キャンパス、新座キャンパスの両方にあります。どちらも職員とカウンセラーが在所しています。必要に応じて学内外の相談先の紹介も行います。学生が安心して利用できるように、相談に来たことや相談内容は、家族であっても、本人の承諾なしに他者に知らせません。学生の皆さんに悩み事がある時には学生相談所のご利用をお勧めください。

また、学生相談所では自己理解や、より良い対人関係をつくるためのさまざまな「心理教育プログラム」を年間を通して行っています。学生は誰でも参加できます。

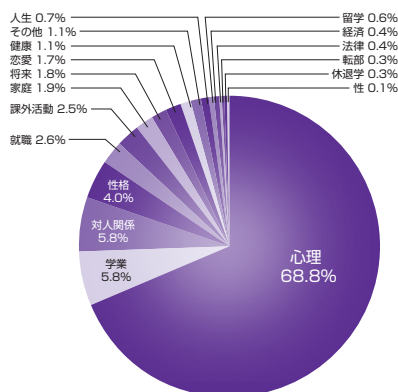
プログラム例

- アサーション・トレーニング
- パーソナルカラー講座
- ボディワーク(ヨガ等) など

開所時間 月～金 9:00～17:00

TEL 池袋キャンパス学生相談所 03-3985-2653
新座キャンパス学生相談所 048-471-7902

2024年度相談内容割合



ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、本学の建学の精神を具体化した「共に生きる」を礎に、学生1人ひとりが実践を通して学ぶ機会をさまざまな形で提供してきました。

センターには、専門職のボランティアコーディネーターが常駐しており、「ボランティア活動をしたい」という学生のさまざまな疑問や想いに寄り添いながら、1人ひとりにあった活動先とつながることができるようにサポートしています。

さらに、全学共通科目「ボランティア論」の授業、学生の立場からボランティア支援を行う「学生コーディネーター」が企画する『ボラカフェ』、立教チームとして活動する『1 dayボランティア』などに参加することで、ボランティアを知ること、実際に活動に関わることができます。

2014年度には、多層的な支援の実績に対する「ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」を受賞しました。



ジェンダーフォーラム

「常識」にとらわれず、性差やセクシュアリティ(性自認・性的指向など)についての問題を本音で語り合い、考える場、それがジェンダーフォーラムです。ジェンダー(gender)とは、社会や文化の「常識」にしたがってつくられた性差のこと。「女／男らしさ」「女／男役割」や異性愛を「あたりまえ」とする考え方もそのひとつです。「常識」「あたりまえ」とみなされている性をめぐる社会通念・制度・規範には、1人ひとりの個性的なあり方を抑圧するものが少なくありません。ジェンダーフォーラムはジェンダーについての教育・研究拠点として、1998年に誕生しました。ジェンダーに関する身近な違和感をもっている方から学識を深めたい方まで、さまざまな人に広く開かれています。より多くの人々が、自分自身の問題として社会生活における「ジェンダー」に気づき、理解し、考える契機となるよう、公開講演会やジェンダーセッション、コーヒーアワーなどを開催しています。

人権・ハラスメント対策センター

立教大学は、誰もが個人の人権を尊重され、安心して居られるキャンパスを目指しています。しかし、多様な学生や教職

員が集うキャンパスでは、人間関係のトラブルが起きるものです。そのため、人権・ハラスメント対策センターでは、人権侵害やハラスメントの防止と発生時の問題解決のための相談を受け付けています。例えば、大学の授業や課外活動においてハラスメントを受けたとき、ストーカーやデートDVに悩んでいるとき、いじめにあったときなど、専門相談員が面談にて一緒に問題の状況を整理し、解決に向けてのサポートを行います。

E-mail : jinken@rikkyo.ac.jp

https://portal.rikkyo.ac.jp/human_rights/



人権・ハラスメント
対策センター

部屋紹介

ひとり暮らしをする学生のために、不動産会社2社(株)ハウスメイトショップ、(株)学生情報センター)と提携して部屋の紹介を行っています。これらの業者を利用すると、通常は家賃の1ヶ月分必要な仲介手数料が管理物件であれば0.5ヶ月分で済みます。

学生寮は、専用寮(立教大学国際交流寮)と推薦寮があります。専用寮は立教大学の学生専用で、交換留学生も入居する国際交流を目的とした寮です。(株)毎日コムネットが管理・運営する「RIR椎名町」、(株)共立メンテナンスが管理・運営する「RUID朝霞台」および「RUID志木」があります。推薦寮は他大学の学生も入居しており、さまざまな学生と交流できます。推薦寮の管理・運営は、(株)共立メンテナンスが行っています。



アルバイト紹介

学業に支障をきたさないことを第一条件に、(株)学生情報センターの「バイトネット」を利用して、安心・安全なアルバイトの紹介を受けることができます。

学生サポート窓口

学生課、教学支援機構、キャリアセンター、国際センターなど本学ではさまざまな事務部局が学生生活をサポートしています。各種申請や諸手続きをはじめ、学生の抱えている問題や悩みについて対応するため、本学ではさまざまな学生支援の窓口が連携を図り学生生活をサポートしています。お気軽にご相談ください。



「キャリア」という言葉は、もともと荷馬車が路を通ってできる「轍(わだち)」を指すものでした。立教大学では、キャリアを「仕事・職業を含めた、自立した個としての自分らしい人生の在り方」と捉えており、就職＝ゴールだとは考えていません。就職という“点”だけではなく、その後のキャリアまで見通した“線”での支援に力を入れて取り組んでいます。そして、“自分らしさ”を大切にしています。人にはそれぞれに個性があり、1人ひとりの人生の在り方は違って当然です。単なる「就職活動」のサポートだけにとどまらず、学生が卒業後の人生において、自らの意志によって将来を見据え、主体的に考えながら、自分でキャリアを切り拓いていく力を身につけることができるよう支援しています。

キャリアの立教

4年間を通じたキャリア支援

立教大学では、学生が卒業後の人生において、自らの意志によって将来を見据え、主体的に考えながら、自分でキャリアを切り拓いていく力が大切だと考えています。その力は、学生生活での学びや経験を基礎として築かれるものです。何に興味があり、将来どうなりたいのか、そのために学生時代の今できることは何か、自分自身を見つめ「キャリア」について考えていく第一歩です。

また、世の中には数えきれないほどの企業があり、魅力のある企業はたくさんありますが、学生が知っている企業はごく一部ではないでしょうか。一方、やりたいと思うことは、知っていることの中からは生まれません。知らない企業や知らないシゴトは将来の選択肢にはならないのです。ということは、知らないところには、実はたくさんの可能性があるということになります。将来やってみたいことが決まってい

ても、知らないだけでももっともっと興味をもつことがあるかもしれません。

学生たちには、知っていることを増やしながらかる将来のキャリアを探す過程を楽しんで欲しいと考えています。そのため、学部とキャリアセンターが連携し、「自分を知る」「社会を知る」の2つの視点を軸に、1年次生から参加できるプログラムを多数展開しています。特に、社会との接点を大切に、学生が多くの経験や多様な価値観に触れ、「学ぶ力」「考える力」を身につける環境を整えています。

【立教大学キャリア支援方針】

- ◆学生が社会的および職業的に自立した個人として自分らしい人生のあり方を追求できるように支援する。
- ◆学生が一生涯を通じて自らの資質を向上させ、教養をもって社会に貢献できる人となるよう支援する。

キャリアの
立教

＝ **就職という“点”だけでなく、その後のキャリアまで見通した“線”で支援**

>> **4年間を通じて多様なキャリア支援プログラムを展開！**

1・2年

自分自身の生き方・将来について考え行動する時期

3・4年

進路・将来に向かって具体的に準備行動する時期

導入期

形成期

完成期

- Rikkyo My Career Gate
- スタディツアー
- 業界企業研究SPECIAL TALK
- RIKKYO卒業生訪問会
- 社会を知る講座

100種類以上のプログラムを
年間**260**回超開催！

(就職ガイダンス、合同企業説明会、自己分析講座、業界企業研究講座、ES対策講座、面接対策講座、グループディスカッション対策講座、公務員向けセミナー、教員志望者向けセミナー など)

■RIKKYO卒業生訪問会

自分でアポイントを取らずに、さまざまな業界・企業などで活躍する卒業生3名と懇談できるプログラムです。毎回20名ほどの卒業生が、後輩のために学生生活から就職活動、働き方までNG質問ナシでお話していただきます。年5回実施し、約100名の卒業生が協力してくださっています。首都圏だけでなく、地方や海外から参加して下さる卒業生もあり、さまざまなロールモデルを示すことが出来ます。多くの卒業生と交流することで視野を広げ、自身のキャリア観を醸成して欲しいと考えています。



■業界企業研究SPECIAL TALK

「業界や企業についてどうやって調べればよいかわからない」という学生の声に応え、2023年度からスタートしました。立教生に人気のある業界・テーマを取り上げ、その第一線で活躍する3~4社が登壇。業界の実態や業務内容などについて、プロのファシリテーターが、社員の方々から生の声を引き出す公開インタビューを実施します。一度に複数の企業・団体についての話を聞くことで、比較をしながら、業界や企業について広く学ぶことができます。

【テーマ例】

「IT・情報通信業界」「マスコミ・エンタメ業界」「街づくり・観光業界」「食品業界」「化学・化粧品業界」



■スタディツアー(1・2年次生対象)

企業を訪問し、業務内容を体験するビジネスゲームや社員との懇談、職場見学などを行います。実際に目で見て、体感することで会社・仕事・働き方・社会人の思考などについて具体的なイメージを醸成します。

【2025年度訪問先企業29社／のべ759名参加】

ANAグループ／NTTドコモ／オービックビジネスコンサルタント／キングジム／クリスチャン ディオール／京浜急行電鉄／JALUX／JKホールディングス／双日グループ／ディスコ／東京商工リサーチ／東京ドーム／東武百貨店／TOPPAN／日本IBM／日本カストディ銀行／日本政策金融公庫／野村不動産／阪急阪神エクスプレス／ぴあ／ベネッセコーポレーション／マクロミル／みずほ銀行／三菱地所ホテルズ&リゾーツ／三菱食品／ライフネット生命／LIXIL／ロッテ／東京都庁



■Rikkyo My Career Gate(2年次生対象)

低年次の学生が、就職活動が本格化する前に社会を知る機会として、夏季休業期間中に企業・団体で「就業体験」を含む3日間以上の実習を行うプログラムです。大学と企業・団体が連携して実施し、事前・事後研修、報告資料提出までを一連の教育的プログラムとして位置づけています。

学生のうちに実社会を体験することにより、学び・気づき・行動できる人間になることを期待し、「仕事とは、会社とは、社会とは、人生とは、そして学生生活とは」などを考えることを通じて、自己に目覚め、有意義な学生生活を過ごす助けとすることを目的としています。

【2025年度実習先企業・団体36社／93名参加】

神奈川中央交通／西武信用金庫／東武百貨店／ホリプロデジタルエンターテインメント／毎日コムネット／丸善雄松堂／リゾートトラスト／豊島区／新座市 ほか

学部の支援

各学部がキャリアセンターと連携し、その特長を生かして、正課および正課外において多様なキャリア支援を行っているのも立教大学のキャリア支援のポイントです。学部の学びとつながるインターンシップや、学部独自のガイダンスや業界研究、卒業生との交流会、ワークショッププログラムなど、1年次生から4年次生まで参加できる～プログラムを開催しています。



キャリアセンターと学部のダブルサポート！

授業で行われるもの（一例）

- ▶ 学部独自のインターンシップ
- ▶ ゲストスピーカーを招いたキャリア講義
- ▶ キャリアの理論を学ぶキャリアコンサルティング論
- ▶ 公務員について学ぶ公務入門
- ▶ 企業とコラボした課題解決演習
- ▶ 自治体とコラボした学習支援 など

授業以外で行われるもの（一例）

- ▶ 学部の卒業生との座談会
- ▶ 学部の上級生の就活体験談
- ▶ 業界研究講座
- ▶ 面接対策講座
- ▶ 公務員対策講座
- ▶ 著名人を招いた講演会 など

就職支援

充実のサポート

就職は人生におけるゴールではなく、その後の人生に大きな影響を与えるマイルストーンです。学生が、卒業後も生き生きと自分らしい人生を歩むためには、学生本人が納得して進路を決定することが重要です。また、就職活動では、学生が大切にしてきた価値観、積み上げてきた経験を通して、今後どう自己実現を図っていききたいのかという自らの考えを「伝える」ことが求められます。キャリアセンターでは、学生の就職活動時期や力をつけたい内容に沿ったさまざまな支援を行っています。

ニーズに応じた就職支援プログラム

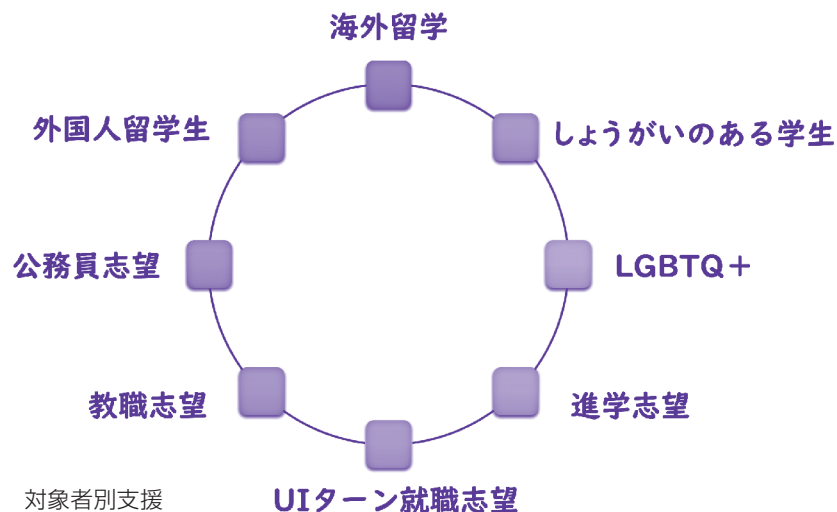
本学では、第1回就職ガイダンスをスタートとして、3年次生以上を対象としたさまざまな就職支援プログラムを開催しています。ガイダンスで就職活動に向けた準備などについて、各時期に、学生たちが自身のキャリアについて考え、行動できるよう必要な情報を提供しています。行動への第一歩として、「自己分析講座」や「エントリーシート対策講座」「面接対策講座」など、就活スキルを身につける就職準備講座を実施しています。また、公務員志望者、教職志望者など対象者別支援も行っています。

キャリア相談(全年次対象)

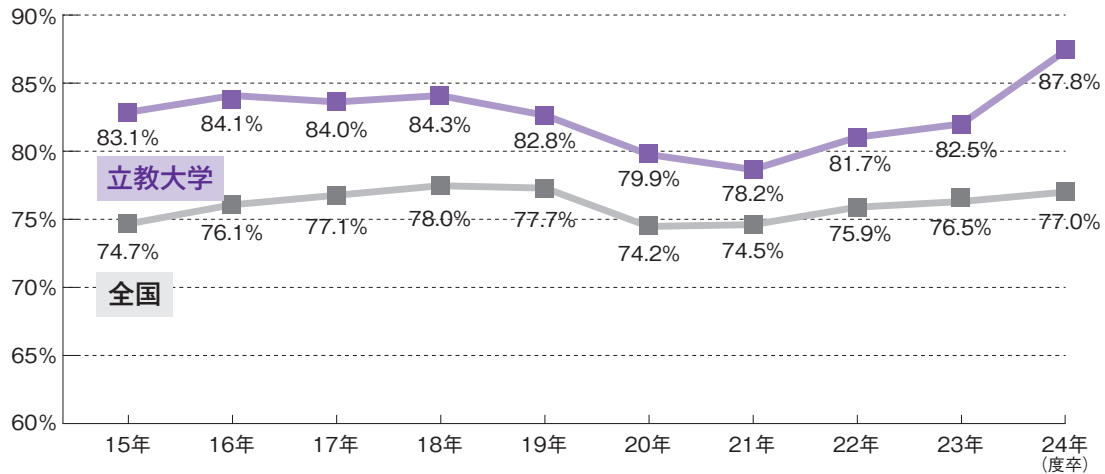
自分らしいキャリアを見つけるために、プログラムではカバーしきれない個別の悩みや質問に対応するため、キャリア相談にも力を入れています。キャリア相談では、経験豊富なスタッフが、一対一で40分間じっくりお話を伺います。エントリーシートや面接についての相談はもちろん、漠然とした将来への不安や、考えを整理するためなど、キャリアについての相談であればどんなことでも伺いますし、就職活動を控えた学生だけでなく、全学年の学生が利用できます。学生1人ひとりの成長に寄り添い、学生自身が納得した進路を決定できるよう支援しています。

4年次生の秋以降の支援

さまざまな就職活動の仕方がありますので、人によっては就職先を決めるまでに時間が掛かってしまうこともあります。最終的に、学生1人ひとりが、長い社会人生活を中心とした人生を、充実したものにできる仕事・職場を見つけることができるよう、4年次生・大学院2年次生の秋学期以降、活動継続中の学生に対する支援も手厚く行っています。各種プログラムや個人相談などで、自分の課題に気付き、それを修正出来るよう支援するとともに、求人紹介メールの送信、事前研修付き合同企業説明会での企業とのマッチングなども並行して実施しています。

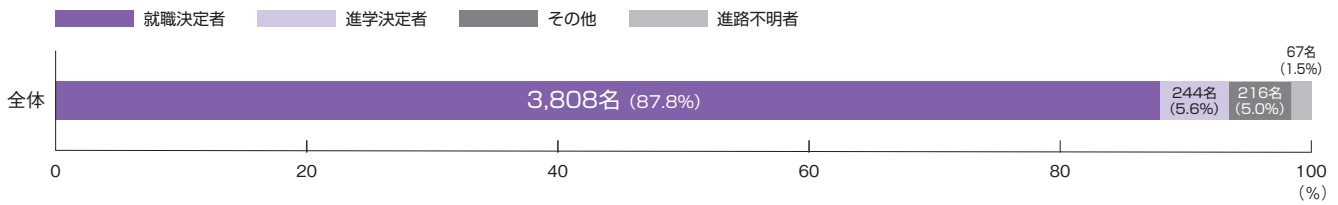


■ 卒業者に占める就職者の割合推移 ～全国平均と立教大学～



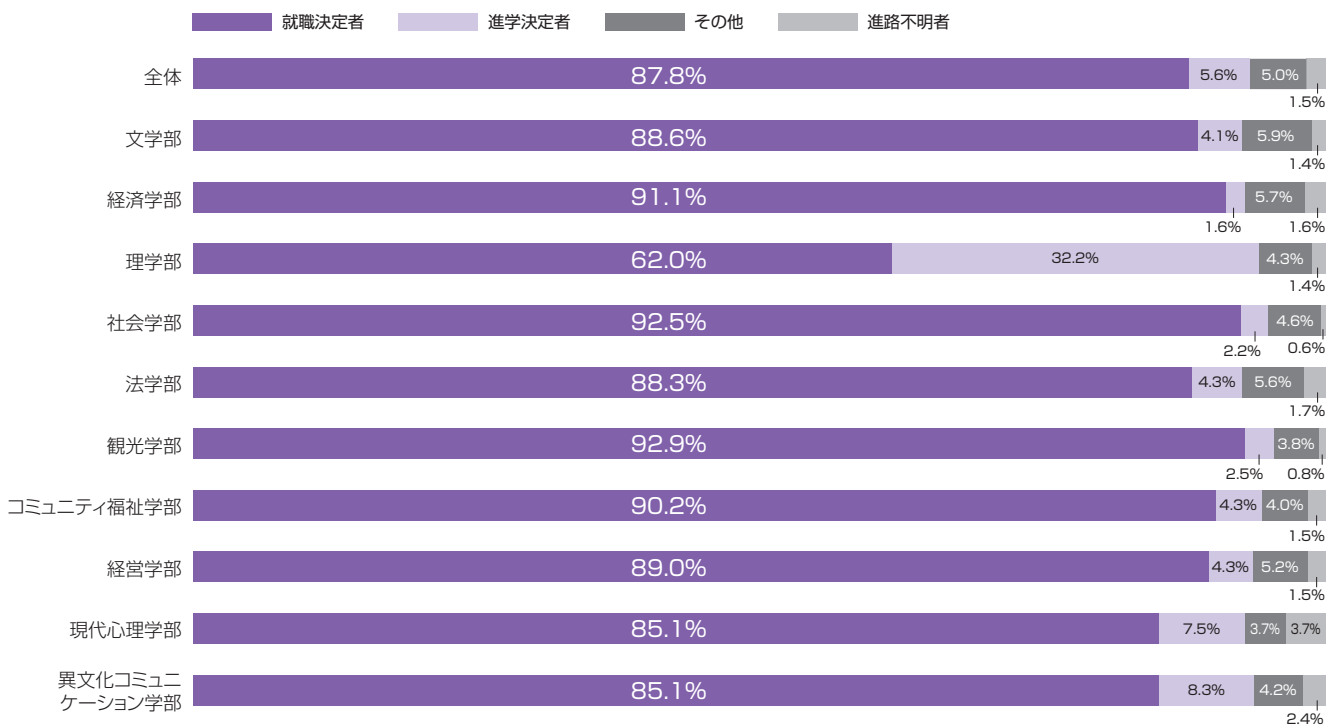
対象:2024年度卒業生(2024年9月卒業者と2025年3月卒業者を含む)

■ 2024年度 進路決定状況 卒業生4,335名



対象:2024年度卒業生(2024年9月卒業者と2025年3月卒業者を含む)

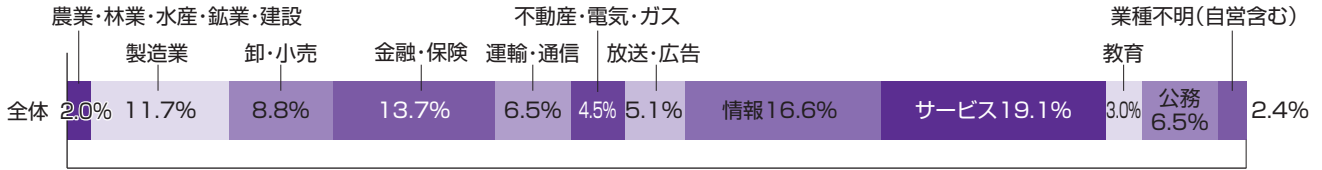
■ 2024年度 学部別進路決定状況



※パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入

対象:2024年度卒業生(2024年9月卒業者と2025年3月卒業者を含む)

2024年度 業種別就職状況



※パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入

対象:2024年度卒業生(2024年9月卒業者と2025年3月卒業者を含む)

2024年度 業種カテゴリ別主な就職先

農業・林業・水産・鉱業・建設

カルビーポテト株式会社
株式会社INPEX
株式会社安藤・間
株式会社大林組
鹿島建設株式会社
株式会社一条工務店
清水建設株式会社
住友林業株式会社
積水ハウス株式会社
大成建設株式会社
東急建設株式会社
東京セキスイハイム株式会社
公益財団法人東京都都市づくり公社
株式会社NIPPO
株式会社長谷工コーポレーション
独立行政法人 水資源機構
三井デザインテック株式会社
高砂熟学工業株式会社
日揮ホールディングス株式会社
株式会社LIXIL

製造業

味の素株式会社
カゴメ株式会社
キリンホールディングス株式会社
サントリーホールディングス株式会社
コクヨ株式会社
エーザイ株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社資生堂
積水化学工業株式会社
富士フイルム株式会社
Meiji Seika ファルマ株式会社
ENEOS株式会社

三菱重工業株式会社

株式会社キーエンス
日本電気株式会社(NEC)
株式会社日立製作所
三菱電機株式会社
トヨタ自動車株式会社
本田技研工業株式会社
株式会社バンダイ

卸・小売

伊藤忠商事株式会社
株式会社内田洋行
双日株式会社
豊田通商株式会社
丸紅株式会社
三菱商事株式会社
三菱食品株式会社
キャノンマーケティングジャパン株式会社
ポッシュ株式会社
株式会社サンリオ
日本出版販売株式会社
株式会社三越伊勢丹
株式会社高島屋
日本生活協同組合連合会
株式会社良品計画
株式会社ルミネ
株式会社ファーストリテイリング
ルイ・ヴィトンジャパン株式会社
株式会社ニトリ
アマゾンジャパン合同会社

金融・保険

日本銀行
株式会社みずほフィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行

株式会社三菱UFJ銀行

りそなグループ
三井住友信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社
株式会社千葉銀行
株式会社横浜銀行
株式会社ジェーシービー
株式会社日本政策金融公庫
SMBC日興証券株式会社
大和証券株式会社
野村證券株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
第一生命保険株式会社
日本生命保険相互会社
明治安田生命保険相互会社
東京海上日動火災保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社

運輸・通信

株式会社NTTドコモ
KDDI株式会社
ソフトバンク株式会社
東日本電信電話株式会社
小田急電鉄株式会社
京王電鉄株式会社
京浜急行電鉄株式会社
東海旅客鉄道株式会社
東京地下鉄株式会社
東武鉄道株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
日本通運株式会社
シンガポール航空
全日本空輸株式会社
日本航空株式会社
株式会社住友倉庫

三井倉庫ホールディングス株式会社
三菱倉庫株式会社
ANAエアポートサービス株式会社
東日本高速道路株式会社

不動産・電気・ガス

株式会社JERA
電源開発株式会社
東京電力ホールディングス株式会社
東京ガスネットワーク株式会社
イオンモール株式会社
伊藤忠都市開発株式会社
住友不動産販売株式会社
東急不動産株式会社
東急リパブル株式会社
野村不動産株式会社
野村不動産ソリューションズ株式会社
三井不動産株式会社
三井不動産リアルティ株式会社
三井不動産レジデンシャル株式会社
三菱地所株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
東急不動産SCマネジメント株式会社
独立行政法人都市再生機構
三井不動産商業マネジメント株式会社
三菱地所・サイモン株式会社

放送・広告

TBSテレビ
株式会社テレビ朝日
株式会社テレビ東京
株式会社テレビ新潟放送網
日本放送協会
株式会社時事通信社
一般社団法人共同通信社
株式会社集英社
東映株式会社
東映アニメーション株式会社
東宝株式会社
株式会社日本経済新聞社
株式会社読売新聞東京本社
株式会社ADKホールディングス
株式会社読売広告社
株式会社サイバーエージェント
株式会社電通
株式会社東急エージェンシー

株式会社博報堂
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

情報

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社
株式会社NTTデータグループ
株式会社大塚商会
株式会社オービックビジネスコンサルタント
株式会社カプコン
コナミグループ株式会社
Sky株式会社
TIS株式会社
株式会社電通総研
日本アイ・ビー・エム株式会社
株式会社日本総合研究所
日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ株式会社
株式会社日立システムズ
株式会社日立ソリューションズ
BIPROGY株式会社
富士通株式会社
レバレジーズ株式会社
株式会社タイミー
楽天グループ株式会社

サービス

アクセンチュア株式会社
アビームコンサルティング株式会社
株式会社大和総研
デロイトトーマツコンサルティング合同会社
株式会社電通デジタル
西村あさひ法律事務所
株式会社野村総合研究所
PwCコンサルティング合同会社
株式会社ベイカレント
株式会社帝国ホテル
星野リゾートグループ
株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社JTB
株式会社オリエンタルランド
日本中央競馬会
日本年金機構
全国農業協同組合連合会
株式会社リクルート
株式会社日本M&Aセンター
独立行政法人日本貿易振興機構

教育

東京都教員
埼玉県教員
千葉県教員
神奈川県教員
新潟県教員
川崎市教員
横浜市教員
東京大学
京都大学
東京理科大学
学校法人立教学院
立教女学院小学校
株式会社ECC
株式会社学究社
株式会社公文教育研究会
株式会社日能研
株式会社日本能率協会マネジメントセンター
株式会社ベネッセコーポレーション
株式会社リクルートマネジメントソリューションズ
株式会社早稲田アカデミー

公務

国家公務員総合職
国家公務員一般職
法務省専門職員
外務省専門職員
国税専門官
財務専門官
家庭裁判所調査官補
裁判所事務官一般職
航空管制官
東京都庁
警視庁
東京消防庁
埼玉県庁
千葉県庁
神奈川県庁
東京都特別区
さいたま市役所
千葉市役所
川崎市役所
横浜市役所

対象:2024年度卒業生(2024年9月卒業者と
2025年3月卒業者を含む)

2024年度 学部別就職状況

学部毎に決定者数の多い20社・団体を掲載しました。

全学部・研究科

企業・団体名	男	女	合計
東京都特別区	15	33	48
東京都庁	8	33	41
株式会社JTB	13	19	32
りそなグループ	14	17	31
全日本空輸株式会社	2	28	30
国家公務員一般職	13	16	29
楽天グループ株式会社	2	25	27
日本航空株式会社	5	19	24
株式会社NTTデータグループ	6	17	23
株式会社三井住友銀行	14	9	23
株式会社三菱UFJ銀行	13	9	22
富士通株式会社	8	13	21
株式会社ベイカレント	13	8	21
アクセンチュア株式会社	5	15	20
日本生命保険相互会社	9	11	20
株式会社みずほフィナンシャルグループ	6	12	18
株式会社NTTドコモ	6	12	18
ソフトバンク株式会社	6	11	17
星野リゾートグループ	6	11	17
株式会社ニトリ	6	11	17

全学部

企業・団体名	男	女	合計
東京都特別区	15	33	48
東京都庁	8	33	41
株式会社JTB	13	19	32
全日本空輸株式会社	2	28	30
りそなグループ	13	17	30
国家公務員一般職	13	15	28
楽天グループ株式会社	2	25	27
株式会社NTTデータグループ	6	17	23
株式会社三井住友銀行	13	9	22
日本航空株式会社	3	19	22
株式会社三菱UFJ銀行	12	9	21
株式会社ベイカレント	13	8	21
日本生命保険相互会社	9	11	20
富士通株式会社	6	13	19
株式会社みずほフィナンシャルグループ	6	11	17
ソフトバンク株式会社	6	11	17
株式会社NTTドコモ	5	12	17
アクセンチュア株式会社	3	14	17
レバレッジズ株式会社	7	10	17
星野リゾートグループ	5	11	16

文学部 ※GLAP含む

企業・団体名	男	女	合計
東京都特別区	3	12	15
東京都庁	1	12	13
東京都教員	3	7	10
りそなグループ	2	7	9
楽天グループ株式会社	1	6	7
国家公務員一般職	3	4	7
日本航空株式会社	0	5	5
株式会社JTB	2	3	5
株式会社ニトリ	1	4	5
東京海上日動火災保険株式会社	0	4	4
東日本電信電話株式会社	0	4	4
星野リゾートグループ	1	3	4
TIS株式会社	2	2	4
横浜市役所	1	3	4
千葉県教員	0	4	4
全日本空輸株式会社	0	3	3
アクセンチュア株式会社	0	3	3
株式会社みずほフィナンシャルグループ	1	2	3
富士通株式会社	0	3	3
日本アイ・ビー・エム株式会社	2	1	3

〈立教就職ガイド〉



この1冊で就活のすべてがわかる!

★立教生のためだけの就活バイブル★

ここが POINT

- 自己分析、業界・企業研究、ES作成、筆記試験、面接対策、卒業生訪問、メールの書き方、内定辞退など、就活に関する全てが詰まった1冊!
- キャリア相談の相談内容のほとんどは、実は、立教就職ガイドを読めば解決してしまう!
- 立教生なら絶対に熟読しておきたい!

※閲覧にはV-CampusのIDとパスワードが必要です。



立教就職ガイド

■ 経済学部

企業・団体名	男	女	合計
みずほ証券株式会社	3	7	10
株式会社三井住友銀行	6	2	8
日本生命保険相互会社	4	4	8
株式会社みずほフィナンシャルグループ	3	3	6
りそなグループ	4	2	6
三菱UFJ信託銀行株式会社	4	2	6
株式会社NTTドコモ	1	5	6
国家公務員一般職	4	2	6
国税専門官	2	4	6
株式会社ベイカレント	3	2	5
アクセンチュア株式会社	0	5	5
ソフトバンク株式会社	2	3	5
株式会社千葉銀行	4	1	5
東京都特別区	3	2	5
楽天グループ株式会社	0	4	4
TIS株式会社	2	2	4
株式会社野村総合研究所	0	4	4
日本電気株式会社 (NEC)	1	3	4
株式会社横浜銀行	1	3	4
日本航空株式会社	1	2	3

■ 理学部

企業・団体名	男	女	合計
富士通株式会社	4	4	8
株式会社日本総合研究所	4	0	4
株式会社NTTデータグループ	3	0	3
日本電気株式会社 (NEC)	1	2	3
三井住友カード株式会社	2	1	3
全日本空輸株式会社	0	2	2
積水ハウス株式会社	0	2	2
明治安田生命保険相互会社	2	0	2
日本アイ・ビー・エム株式会社	0	2	2
株式会社日立システムズ	1	1	2
SCSK株式会社	1	1	2
NECソリューションイノベータ株式会社	1	1	2
三井住友トラスト・システム & サービス株式会社	2	0	2
TIS株式会社	2	0	2
富士ソフト株式会社	2	0	2
株式会社マクニカ	2	0	2
東京都特別区	2	0	2
日清食品ホールディングス株式会社	0	1	1
株式会社セールスフォース・ジャパン	0	1	1
PwCコンサルティング合同会社	0	1	1

■ 社会学部

企業・団体名	男	女	合計
パーソルキャリア株式会社	3	5	8
りそなグループ	4	2	6
東京都庁	1	4	5
株式会社三菱UFJ銀行	1	3	4
三井住友海上火災保険株式会社	2	2	4
富士通株式会社	0	4	4
全日本空輸株式会社	0	3	3
株式会社NTTドコモ	0	3	3
ソフトバンク株式会社	0	3	3
SMBC日興証券株式会社	2	1	3
三井住友信託銀行株式会社	0	3	3
株式会社NTTデータグループ	0	3	3
株式会社マイナビ	1	2	3
キャノンITソリューションズ株式会社	2	1	3
ポート株式会社	2	1	3
株式会社ベイカレント	1	2	3
株式会社パナソニック	0	3	3
株式会社ファーストリテイリング	1	2	3
東京都特別区	1	2	3
横浜市役所	0	3	3

対象:2024年度卒業生(2024年9月卒業者と2025年3月卒業者を含む)

〈Webサイト〉

RIKKYO PORTAL→キャリア・就職支援でキャリアセンターページが確認できます。キャリア相談の予約、プログラム申込、求人検索、開催済みプログラム動画の視聴や卒業生訪問マナー確認、エントリーシート作成のためのワークシートや履歴書PDFのダウンロードなど就職活動に役立つコンテンツが満載です。



※一部コンテンツにより、閲覧にはV-CampusのIDとパスワードが必要です。



RIKKYO PORTAL
キャリアセンター

法学部

企業・団体名	男	女	合計
東京都庁	2	10	12
東京都特別区	3	6	9
株式会社三菱UFJ銀行	2	4	6
株式会社NTTデータグループ	1	5	6
株式会社ADKホールディングス	0	5	5
レバレジーズ株式会社	3	2	5
国家公務員一般職	2	3	5
東日本旅客鉄道株式会社	3	1	4
株式会社ゆうちょ銀行	2	2	4
損害保険ジャパン株式会社	1	3	4
株式会社日立システムズ	1	3	4
裁判所事務官一般職	0	4	4
埼玉県庁	0	4	4
全日本空輸株式会社	1	2	3
楽天グループ株式会社	0	3	3
みずほ証券株式会社	1	2	3
株式会社みずほフィナンシャルグループ	0	3	3
三井住友信託銀行株式会社	0	3	3
三菱UFJ信託銀行株式会社	2	1	3
日本生命保険相互会社	1	2	3

観光学部

企業・団体名	男	女	合計
株式会社JTB	7	13	20
全日本空輸株式会社	0	7	7
日本航空株式会社	2	5	7
リゾートトラスト株式会社	3	3	6
星野リゾートグループ	3	2	5
クラブツーリズム株式会社	2	2	4
東武鉄道株式会社	1	2	3
株式会社帝国ホテル	1	2	3
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社	1	2	3
株式会社エイチ・アイ・エス	1	2	3
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド	1	2	3
アパホテル株式会社	1	2	3
株式会社ホテルマネジメントジャパン	1	2	3
ANAテレマート株式会社	0	3	3
株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	1	2	3
楽天グループ株式会社	0	3	3
レバレジーズ株式会社	0	3	3
国家公務員一般職	2	1	3
東京都庁	1	2	3
東海旅客鉄道株式会社	1	1	2

コミュニティ福祉学部

企業・団体名	男	女	合計
東京都特別区	1	10	11
東京海上日動火災保険株式会社	2	2	4
明治安田生命保険相互会社	0	4	4
株式会社みずほフィナンシャルグループ	0	3	3
りそなグループ	1	2	3
株式会社NTTドコモ	2	1	3
レバレジーズ株式会社	1	2	3
アクセンチュア株式会社	1	2	3
株式会社ニチイホールディングス	0	3	3
株式会社キーエンス	2	0	2
三菱重工業株式会社	1	1	2
三井不動産株式会社	0	2	2
全日本空輸株式会社	0	2	2
富士通株式会社	1	1	2
東京都庁	1	1	2
埼玉県庁	0	2	2
横浜市役所	0	2	2
さいたま市役所	0	2	2
千葉市役所	0	2	2
東京都教員	2	0	2

2024年度 Uターン就職率

出身県	出身県への就職者数	県出身者数 (就職者のみ)	Uターン 就職率	(参考) 出身県者数
北海道	6	36	16.7%	39
青森県	0	6	0.0%	7
岩手県	0	10	0.0%	10
宮城県	1	30	3.3%	30
秋田県	1	5	20.0%	5
山形県	2	10	20.0%	14
福島県	4	31	12.9%	36
茨城県	5	68	7.4%	81
栃木県	6	41	14.6%	45
群馬県	8	56	14.3%	63
新潟県	2	30	6.7%	36

出身県	出身県への就職者数	県出身者数 (就職者のみ)	Uターン 就職率	(参考) 出身県者数
富山県	2	13	15.4%	13
石川県	2	12	16.7%	12
福井県	1	7	14.3%	7
山梨県	2	19	10.5%	21
長野県	9	33	27.3%	38
岐阜県	1	11	9.1%	12
静岡県	9	45	20.0%	52
愛知県	5	63	7.9%	72
三重県	0	8	0.0%	9
滋賀県	0	2	0.0%	3
京都府	0	8	0.0%	9

■ 経営学部

企業・団体名	男	女	合計
株式会社三井住友銀行	5	2	7
株式会社三菱UFJ銀行	5	0	5
株式会社ベিকাレント	4	1	5
楽天グループ株式会社	0	4	4
株式会社NTTデータグループ	1	3	4
株式会社サイバーエージェント	1	2	3
東京海上日動火災保険株式会社	1	2	3
株式会社ジェーシービー	1	2	3
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社	3	0	3
株式会社電通デジタル	2	1	3
日本タタ・コンサルタンシー・サービズ株式会社	3	0	3
株式会社ファーストリテイリング	1	2	3
東日本電信電話株式会社	1	2	3
株式会社ディスコ	1	1	2
ソフトバンク株式会社	2	0	2
株式会社ADKホールディングス	0	2	2
アクセンチュア株式会社	2	0	2
アビームコンサルティング株式会社	1	1	2
株式会社シグマックス	1	1	2
日本アイ・ビー・エム株式会社	0	2	2

■ 現代心理学部

企業・団体名	男	女	合計
株式会社良品計画	0	3	3
株式会社オープンハウス	0	3	3
東京都庁	1	2	3
株式会社バンダイナムコフィルムワークス	1	1	2
東映アニメーション株式会社	1	1	2
株式会社ベিকাレント	1	1	2
株式会社パナソニック	0	2	2
パーソルクロステクノロジー株式会社	0	2	2
三菱HCキャピタル株式会社	2	0	2
星野リゾートグループ	0	2	2
株式会社NTTデータグループ	0	2	2
りそなグループ	0	2	2
全日本空輸株式会社	0	2	2
日本航空株式会社	0	2	2
住友林業株式会社	0	2	2
株式会社ディスコ	0	2	2
株式会社ファーストリテイリング	1	1	2
家庭裁判所調査官補	0	2	2
株式会社テレビ東京	0	1	1
株式会社博報堂	0	1	1

■ 異文化コミュニケーション学部

企業・団体名	男	女	合計
全日本空輸株式会社	1	4	5
岩谷産業株式会社	2	1	3
日本航空株式会社	0	2	2
楽天グループ株式会社	1	1	2
株式会社DYM	1	1	2
Earth Technology株式会社	0	2	2
株式会社JTB	1	1	2
星野リゾートグループ	0	2	2
エンワールド・ジャパン株式会社	0	2	2
ルイ・ヴィトンジャパン株式会社	0	2	2
株式会社ファーストリテイリング	1	1	2
日本生命保険相互会社	1	1	2
国家公務員一般職	0	2	2
株式会社電通	0	1	1
株式会社博報堂	1	0	1
東映株式会社	1	0	1
ソニー株式会社	0	1	1
サントリーホールディングス株式会社	0	1	1
デロイトトーマツグループ合同会社	1	0	1
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	1	0	1

対象:2024年度卒業生(2024年9月卒業者と2025年3月卒業者を含む)

出身県	出身県への就職者数	県出身者数(就職者のみ)	Uターン就職率	(参考)出身県者数
大阪府	4	35	11.4%	39
兵庫県	2	32	6.3%	33
奈良県	0	3	0.0%	4
和歌山県	1	6	16.7%	6
鳥取県	0	0	0.0%	0
島根県	0	1	0.0%	1
岡山県	0	8	0.0%	10
広島県	4	21	19.0%	24
山口県	0	5	0.0%	7
徳島県	0	5	0.0%	6
香川県	0	6	0.0%	6

出身県	出身県への就職者数	県出身者数(就職者のみ)	Uターン就職率	(参考)出身県者数
愛媛県	1	10	10.0%	10
高知県	0	5	0.0%	5
福岡県	6	40	15.0%	47
佐賀県	0	6	0.0%	6
長崎県	0	3	0.0%	3
熊本県	2	9	22.2%	10
大分県	1	12	8.3%	15
宮崎県	2	5	40.0%	6
鹿児島県	1	10	10.0%	10
沖縄県	3	11	27.3%	17
総計	93	777	12.0%	879

対象:2024年度卒業生(2024年9月卒業者と2025年3月卒業者を含む)

2023年度・2024年度 道府県別主な就職先(首都圏を除く)

道府県名に続く数字は2024年度求人件数。企業については本社所在地で分類しています。

<p>北海道 796</p> <p>カルビーポテト株式会社 エアウォーターアグリ&フーズ株式会社 株式会社ニトリ 株式会社アインホールディングス 株式会社ナシオ 株式会社ホクレン商事 株式会社北海道銀行 株式会社北洋銀行 北海道信用農業協同組合連合会 北海道旅客鉄道株式会社 株式会社ロジネットジャパン 株式会社AIRDO 北海道電力株式会社 株式会社十勝毎日新聞社 株式会社北海道新聞社 株式会社テレビ北海道 株式会社HBA 株式会社アジェンダ 株式会社NTTネクシア 日本ハム球団株式会社 札幌市役所</p>	<p>株式会社仙台銘板 カメイ株式会社 株式会社七十七銀行 東北放送株式会社 東北大学 秀光中学校 仙台市役所 宮城県庁</p>	<p>国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 株式会社東日本技術研究所 社会福祉法人恩賜財団済生会 龍ヶ崎済生会病院 茨城県教員 筑波大学 国立大学法人茨城大学 土浦日本大学高等学校 茨城県庁 つくば市役所 石岡市役所</p>	<p>株式会社エフエム群馬 株式会社両毛システムズ 前橋赤十字病院 有限会社玉樹 群馬県教員 株式会社うすい 群馬県庁 渋川市役所</p>
<p>秋田県 172</p> <p>株式会社秋田魁新報社</p>	<p>山形県 414</p> <p>日新製薬株式会社 株式会社山形銀行 株式会社山形テレビ 山形県庁</p>	<p>栃木県 807</p> <p>ギガフォトン株式会社 クレハ合繊株式会社 国分関信越株式会社 株式会社足利銀行 足利小山信用金庫 シーデーピージャパン株式会社 社会保険労務士法人TMC 学校法人 自治医科大学 栃木県教員 栃木県庁 宇都宮市役所 下野市役所</p>	<p>新潟県 893</p> <p>株式会社タカヨシ 株式会社タマハシ 株式会社第四北越銀行 株式会社テレビ新潟放送網 株式会社BSNメディアホールディングス 株式会社NST新潟総合テレビ キャノンイメージングシステムズ株式会社 ソリマチ株式会社 新潟県教員 NSGグループ 魚沼市役所</p>
<p>青森県 272</p> <p>青森宝栄工業株式会社 青森放送株式会社 青森朝日放送株式会社 凸版メディア株式会社</p>	<p>福島県 462</p> <p>株式会社東邦銀行 福島テレビ株式会社 株式会社ラジオ福島 株式会社福島放送 デロイト・マツテルワークセンター株式会社 株式会社福島野球団 福島県庁 会津坂下町役場</p>	<p>群馬県 639</p> <p>三益半導体工業株式会社 株式会社小林機械 生活協同組合コープぐんま 関東いすゞ自動車株式会社 株式会社群馬銀行 株式会社東和銀行 株式会社カチタス</p>	<p>富山県 470</p> <p>三協立山株式会社 陽進堂ホールディングス株式会社 株式会社北陸銀行 株式会社富山銀行 北陸電力株式会社 株式会社インテック 株式会社吉田商会 富山県教員 富山県庁</p>
<p>岩手県 279</p> <p>株式会社テレビ岩手 株式会社岩手日日新聞社</p>	<p>茨城県 561</p> <p>株式会社日立パワーソリューションズ キャノセミコンダクターエキップメント株式会社 タカノフーズ株式会社 株式会社染めQテクノロジー 株式会社常陽銀行 沼尻産業株式会社 株式会社ベストランド</p>	<p>群馬県 639</p> <p>株式会社群馬銀行 株式会社東和銀行 株式会社カチタス</p>	<p>富山県 470</p> <p>三協立山株式会社 陽進堂ホールディングス株式会社 株式会社北陸銀行 株式会社富山銀行 北陸電力株式会社 株式会社インテック 株式会社吉田商会 富山県教員 富山県庁</p>
<p>宮城県 432</p> <p>トヨタ自動車東日本株式会社 古川電気工業株式会社</p>	<p>茨城県 561</p> <p>株式会社日立パワーソリューションズ キャノセミコンダクターエキップメント株式会社 タカノフーズ株式会社 株式会社染めQテクノロジー 株式会社常陽銀行 沼尻産業株式会社 株式会社ベストランド</p>	<p>群馬県 639</p> <p>株式会社群馬銀行 株式会社東和銀行 株式会社カチタス</p>	<p>石川県 364</p> <p>株式会社PFU EIZO株式会社</p>

株式会社クスリのアオキ
今村証券株式会社
株式会社北國フィナンシャルホールディングス
株式会社テレビ金沢
石川テレビ放送
株式会社リハス

福井県 424

ゲンキー株式会社
株式会社福井銀行

山梨県 204

株式会社シャトレーゼ
株式会社山梨中央銀行
富士急行株式会社
株式会社コンピュータムーブ
株式会社アミューズ
山梨県庁

長野県 771

セイコーエプソン株式会社
キッセイ薬品工業株式会社
株式会社八十二銀行
長野県労働金庫
長野県信用組合
株式会社テレビ信州
信越放送株式会社
長野朝日放送株式会社
全国農業協同組合連合会 長野県本部
独立行政法人長野県立病院機構
日本スキー場開発株式会社
長野県庁
長野市役所
塩尻市役所

岐阜県 377

三甲株式会社
株式会社十六銀行【十六フィナンシャルグループ】
株式会社大垣共立銀行
済美高等学校

静岡県 1363

株式会社一条工務店
スズキ株式会社
ヤマハ株式会社
ヤマハ発動機株式会社
株式会社河合楽器製作所
トクラス株式会社
株式会社TOKAIホールディングス
株式会社スクロール
天龍木材株式会社
株式会社静岡銀行
株式会社清水銀行
スルガ銀行株式会社
遠州鉄道株式会社
株式会社静岡朝日テレビ
静岡ITソリューション株式会社
明電システムソリューション株式会社
株式会社浜友A.L.
EXPACT株式会社
学校法人三島学園知徳高等学校
JFAアカデミー福島
御殿場西高等学校
静岡県庁
富士市役所
掛川市役所

愛知県 2238

東建コーポレーション株式会社
株式会社田中建設
トヨタ自動車株式会社

日本特殊陶業株式会社
リンナイ株式会社
株式会社デンソー
ミカングループ(株式会社Mizkan J plus Holdings)
株式会社オリバー
株式会社クラウン・パッケージ
株式会社バッファロー
鈴秀工業株式会社
CKD株式会社
ブラザー工業株式会社
株式会社東海理化電機製作所
株式会社豊田自動織機
カリモク家具株式会社
株式会社アドヴィックス
太田油脂株式会社
株式会社CJVインターナショナル
岡谷鋼機株式会社
豊島株式会社
豊田通商株式会社
株式会社サンゲツ
興和株式会社
タキヒヨー株式会社
株式会社ENEOSウイング
モリリン株式会社
瀧定名古屋株式会社
信友株式会社
株式会社ジェアール東海パッセンジャーズ
名古屋電気株式会社
豊通マテリアル株式会社
株式会社中部リユース
トヨタファイナンス株式会社
株式会社愛知銀行
株式会社Liv.Design
中日本高速道路株式会社

中日本航空株式会社
株式会社フジドリームエアラインズ
ANA中部空港株式会社
中部電力パワーグリッド
東邦瓦斯株式会社
株式会社中日新聞社
アドブランナー株式会社
CCNet株式会社
株式会社システムリサーチ
株式会社中電シーティーアイ
株式会社コラボスタイル
株式会社N2i
リゾートトラスト株式会社
株式会社ゲオホールディングス
株式会社じよぶれい
株式会社コアズ
興亜商事株式会社
学校法人河合塾
CKCネットワーク株式会社
株式会社わ
愛知県警察本部

三重県 390

株式会社扇港産業

滋賀県 338

株式会社ケイバブック
株式会社Nazuna
公益財団法人滋賀県スポーツ協会

京都府 802

株式会社フジヤ
株式会社村田製作所
株式会社イシダ
京セラ株式会社
株式会社ITP

対象:2023年度卒業生(2023年9月卒業生、2024年3月卒業生)、2024年度卒業生(2024年9月卒業生、2025年3月卒業生)

任天堂株式会社
佐川印刷株式会社
株式会社創味食品
ムーンバット株式会社
外興株式会社
JR西日本京都SC開発株式会社
SGホールディングス株式会社
株式会社ジェイ・エス・ビー
株式会社新学社
京セラコミュニケーションシステム株式会社
SGシステム株式会社
社会福祉法人洛和福祉会
京阪ホテルズ&リゾート株式会社
洛和会ヘルスケアシステム
株式会社エスユーエス
株式会社寺子屋
学校法人立命館
株式会社京進
国立大学法人京都大学

大阪府 4732

積水ハウス株式会社
大和ハウス工業株式会社
株式会社竹中工務店
パナソニックホームズ株式会社
株式会社鴻池組
株式会社キーエンス
サントリーホールディングス株式会社
コクヨ株式会社
ダイキン工業株式会社
住友電気工業株式会社
レンゴー株式会社
タカラスタンダード株式会社
塩野義製薬株式会社
株式会社クボタ
株式会社カネカ
江崎グリコ株式会社
パナソニックハウジングソリューションズ株式会社

ピアス株式会社
美津濃株式会社
NTN株式会社
株式会社椿本チエイン
小林製薬株式会社
シャープ株式会社
株式会社マングラム
マルホ株式会社
エア・ウォーター株式会社
ダイトロン株式会社
大和冷機工業株式会社
グンゼ株式会社
不二製油株式会社
ザ・バック株式会社
ヤンマーホールディングス株式会社
丸大食品株式会社
東洋紡株式会社
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
パナソニックインダストリー株式会社
パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社
昌弘貿易株式会社
株式会社リゲッタ
阪和興業株式会社
岩谷産業株式会社
長瀬産業株式会社
稲畑産業株式会社
株式会社山善
株式会社高島屋
シャープマーケティングジャパン株式会社
井上特殊鋼株式会社
神鋼商事株式会社
株式会社ミキハウス
株式会社赤ちゃん本舗
コーナン商事株式会社
株式会社あさひ
オー・ジー株式会社
株式会社モリタ
モリト株式会社

株式会社エスエスケイ
八木通商株式会社
杉本商事株式会社
株式会社エイコー
株式会社アーバンリサーチ
株式会社たけでん
株式会社エディオン
岡畑産業株式会社
株式会社ホンダ泉州販売
株式会社アイヴァンリテーリング
日本生命保険相互会社
住友生命保険相互会社
三井住友カード株式会社
株式会社関西みらい銀行
株式会社住友倉庫
西日本電信電話株式会社
近鉄グループホールディングス株式会社
ケービーエスクボタ株式会社
株式会社Kスカイ
株式会社ジェイエア
Peach Aviation株式会社
大和リース株式会社
阪急不動産株式会社
近鉄不動産株式会社
株式会社エスエスシステム
株式会社毎日放送
朝日放送テレビ株式会社
株式会社よしもとブロードエンタテインメント
株式会社出版文化社
株式会社AIAD
株式会社プランニングオフィスエスエムエス
日本システム技術株式会社
株式会社カプコン
株式会社ソフトウェア・サービス
株式会社WAVE
株式会社日本ビジネス開発
ノバシステム株式会社
株式会社シナプスイノベーション

株式会社スーパーソフトウェア
株式会社PLAN-B
株式会社イルグルム
株式会社船井総合研究所
ライクスタッフィング株式会社
株式会社阪急交通社
吉本興業ホールディングス株式会社
株式会社CCG HOLDINGS
カナデピア株式会社
株式会社日本経営
株式会社エフアンドエム
株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
株式会社つむら工藝
株式会社タイズ
株式会社miraim
株式会社YRK and
株式会社ザ・ビッグスポーツ
株式会社ユニバーサル園芸社
カトープレジャーグループ
株式会社フロンティア
株式会社ジンジブ
株式会社i-plug
船井総研ロジ株式会社
東洋カーマックス株式会社
株式会社ECC
追手門学院小学校
専修学校クラーク高等学院
株式会社関西国際学園
航空管制官
大阪市役所
豊中市役所

兵庫県 1263

川崎重工業株式会社
伊藤ハム株式会社
P&Gジャパン合同会社
日本イーライリリー株式会社
株式会社神戸製鋼所

株式会社ノエビア
 UCC上島珈琲株式会社
 株式会社アシックス
 株式会社ロック・フィールド
 住友ゴム工業株式会社
 六甲バター株式会社
 TOA株式会社
 エスフーズ株式会社
 シスメックス株式会社
 AREホールディングス株式会社
 三陽工業株式会社
 伊藤ハム販売株式会社
 株式会社西松屋チェーン
 東興海運株式会社
 シン・エナジー株式会社
 コベルコシステム株式会社
 monoAI technology株式会社
 宝塚歌劇団
 マーブル株式会社
 藤田整形外科スポーツクリニック
 日ノ本学園高等学校
 尼崎市役所

奈良県 228

関西美術印刷株式会社
 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所

和歌山県 210

株式会社オークワ
 和歌山県庁

鳥取県 231

*過去2年なし

島根県 252

社会福祉法人海士町社会福祉協議会

岡山県 552

菅公学生服株式会社
 小橋工業株式会社

株式会社キャン
 大黒天物産株式会社
 株式会社スライブインターナショナル
 有限会社バルプラン
 岡山放送株式会社
 株式会社ベネッセコーポレーション

広島県 823

エム・エムブリッジ株式会社
 マツダ株式会社
 株式会社あじかん
 株式会社エフピコ
 株式会社大創産業
 青山商事株式会社
 株式会社広島銀行
 中国電力株式会社
 株式会社中国四国博報堂
 株式会社ビーライズ
 広島県庁

山口県 332

*過去2年なし

徳島県 123

株式会社あわせ

香川県 330

穴吹興産株式会社
 高松市役所

愛媛県 293

日本食研ホールディングス株式会社
 三浦工業株式会社
 株式会社伊予銀行
 株式会社ANAエアサービス松山

高知県 130

旭食品株式会社
 株式会社パンクチュアル

福岡県 1028

TOTO株式会社
 株式会社安川電機
 日之出水道機器株式会社
 株式会社イケヒコ・コーポレーション
 株式会社アクタ
 株式会社測上ファインズ(Dress the Life)
 ヤマエ久野株式会社
 株式会社ダリア
 株式会社福岡銀行
 株式会社西日本シティ銀行
 FFG証券株式会社
 西日本鉄道株式会社
 株式会社レベルファイブ
 西部ガス株式会社
 九州電力株式会社
 株式会社九州博報堂
 九州朝日放送

株式会社読賣新聞西部本社
 株式会社ゼンリン
 フォーサイトシステム株式会社
 株式会社YEDIGITAL
 株式会社システムライフ
 株式会社ワールドインテック
 アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社
 社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会
 学校法人都築育英学園リンデンホールスクール
 福岡県警察本部

佐賀県 81

公益財団法人佐賀県スポーツ協会

長崎県 120

株式会社親和銀行
 社会福祉法人赤い鳥保育会
 株式会社リージョナルクリエーション長崎

熊本県 216

株式会社南星機械
 株式会社マルク

株式会社熊本放送
 学校法人熊本大学

大分県 162

シーティービーメディア株式会社
 大分朝日放送株式会社
 大分県庁
 大分市役所

宮崎県 120

株式会社宮崎銀行
 株式会社ソラシドエア
 株式会社宮崎放送
 株式会社ネオキャリア

鹿児島県 163

日本瓦斯株式会社
 株式会社富士通鹿児島インフォネット

沖縄県 176

株式会社琉球新報社
 株式会社りゅうせき(りゅうせきネットワーク会議)
 株式会社琉球銀行
 沖縄振興開発金融公庫
 琉球放送株式会社
 株式会社プロトンリユーション
 株式会社南西楽園リゾート
 学校法人角川ドワンゴ学園
 沖縄県庁

海外 12

バンダイナムコ코리아株式会社
 似鳥(中国)投資有限公司
 S.E.A.T.S Inc.
 UTO CHEM
 株式会社 国民銀行
 HKC
 The folly

立教大学データ

受験状況

2025年度 一般・共通テスト等入試結果

学部等	学科・専修等	一般入試				大学入学共通テスト 利用入試		特別入試													
		2月11日		2月6・8・9・12・13日				自由選抜		国際コース選抜		アスリート選抜		帰国生		外国人(筆記面接)		外国人(書類選考)			
		志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数		
文学部	キリスト教	82	18	159	31	92	37	12	6	-	-	-	-	3	-	-	-	-	6	2	
	史	498	104	1,294	262	708	283	70	29	-	-	-	-	5	-	-	-	-	21	6	
	教育	319	93	844	207	405	109	57	8	-	-	-	-	5	-	-	-	-	11	4	
	文	英米文学	505	112	1,223	242	922	365	49	25	-	-	-	-	0	-	-	-	-	4	4
		ドイツ文学	161	39	381	83	338	117	11	4	-	-	-	-	0	-	-	-	-	3	1
		フランス文学	168	52	359	117	213	105	15	6	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	1
		日本文学	371	77	646	127	478	118	30	7	-	-	-	-	5	-	-	-	-	29	12
		文芸・思想	328	72	701	154	366	88	39	7	-	-	-	-	1	-	-	-	-	11	2
	小計	2,432	567	5,607	1,223	3,522	1,222	283	92	-	-	-	-	21	-	-	-	-	87	32	
	経済学部	経済	-	-	2,723	658	2,092	697	105	6	-	-	-	-	5	-	-	-	-	68	17
会計ファイナンス		-	-	1,140	263	892	235	37	5	-	-	-	-	6	-	-	-	-	19	8	
経済政策		-	-	1,110	254	498	201	69	8	-	-	-	-	3	-	-	-	-	26	10	
小計		-	-	4,973	1,175	3,482	1,133	211	19	-	-	-	-	14	-	-	-	-	113	35	
理学部	数	-	-	760	207	612	222	6	2	-	-	-	-	0	-	-	-	-	3	0	
	物理	-	-	1,225	242	975	274	10	5	-	-	-	-	0	-	-	-	-	8	0	
	化	-	-	1,085	295	685	193	19	1	-	-	-	-	0	-	-	-	-	8	1	
	生命理	-	-	1,019	283	820	233	14	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	22	3	
	小計	-	-	4,089	1,027	3,092	922	49	14	-	-	-	-	1	-	-	-	-	41	4	
社会学部	社会	-	-	1,999	366	874	285	121	8	36	1	-	-	5	-	-	-	-	38	11	
	現代文化	-	-	1,480	290	620	256	73	7	41	8	-	-	1	-	-	-	-	17	2	
	メディア社会	-	-	1,551	293	916	222	89	8	21	4	-	-	4	-	-	-	-	25	4	
	小計	-	-	5,030	949	2,410	763	283	23	98	13	-	-	10	-	-	-	-	80	17	
法学部	法	-	-	2,410	603	2,108	585	35	9	-	-	-	220	7	-	-	-	-	25	20	
	政治	-	-	801	200	900	245	26	9	-	-	-	-	3	-	-	-	-	9	5	
	国際ビジネス法	-	-	608	157	921	267	13	4	25	13	-	-	4	-	-	-	-	33	20	
	小計	-	-	3,819	960	3,929	1,097	74	22	25	13	-	-	14	-	-	-	-	67	45	
観光学部	観光	-	-	1,541	318	883	259	62	9	-	-	-	-	4	-	-	-	-	17	5	
	交流文化	-	-	1,281	311	597	215	68	12	-	-	-	-	3	-	-	-	-	7	3	
	小計	-	-	2,822	629	1,480	474	130	21	-	-	-	-	7	-	-	-	-	24	8	
福祉学部	福祉	-	-	543	135	462	215	29	6	-	-	-	-	3	-	-	-	-	5	4	
	コミュニティ政策	-	-	1,061	269	796	241	71	13	-	-	-	-	6	-	-	-	-	13	9	
	小計	-	-	1,604	404	1,258	456	100	19	-	-	-	-	9	-	-	-	-	18	13	
経営学部	経営	-	-	1,739	263	1,098	175	245	47	-	-	-	-	13	14	5	-	-	23	3	
	国際経営	-	-	926	177	671	116	104	44	-	-	-	-	1	16	6	-	-	6	0	
	小計	-	-	2,665	440	1,769	291	349	91	-	-	-	-	14	30	11	-	-	29	3	
現代心理学部	心理	-	-	977	132	918	214	79	18	-	-	-	-	3	-	-	-	-	16	4	
	映像身体	-	-	932	144	619	184	162	31	-	-	-	-	2	-	-	-	-	8	4	
	小計	-	-	1,909	276	1,537	398	241	49	-	-	-	-	5	-	-	-	-	24	8	
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション	-	-	1,531	277	1,037	184	207	35	102	26	-	-	3	-	-	34	13	28	15	
	小計	-	-	1,531	277	1,037	184	207	35	102	26	-	-	3	-	-	34	13	28	15	
スポーツ学部	スポーツウエルネス	-	-	1,761	329	1,071	192	197	46	-	-	-	-	14	-	-	-	-	9	5	
	小計	-	-	1,761	329	1,071	192	197	46	-	-	-	-	14	-	-	-	-	9	5	
GLAP	GLAP	-	-	-	-	-	-	-	-	158	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	158	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計		2,432	567	35,810	7,689	24,587	7,132	2,124	431	383	90	-	-	112	30	11	34	13	520	185	

2025社会人入試(学部1年次)

学部	学科	志願者数	合格者数
現代心理学部	心理	4	2
	映像身体	0	0
	小計	4	2
スポーツウエルネス	スポーツウエルネス	0	0
	小計	0	0
合計		4	2

教員状況

■ 教員数(2025.11.1現在)

学部・学科・専修・研究科等	特別兼任教授	特任准教授	カンセラー	助教	講師等	
						3
大学チャプレン						
キリスト教	8	0		0		
史学科	史(世界)	5	1	0	0	
	史(日本)	6	1	0	0	
	史(超越)	5	2	0	0	
	教育	10	3		1	
文学部	文(英文)	10	0	1		
	文(独文)	3	2	1		
	文(仏文)	4	0	1		
	文(日文)	7	1	1		
	文(文芸)	7	0	0		
小計	65	10	0	5	305	
経済学部	経済	17	3		5	
	会計ファイナンス	11	3		1	
	経済政策	10	2		2	
	小計	38	8	0	8	92
理学部	数	12	2		4	
	物理	9	5		10	
	化学	10	3		5	
	生命理学	10	3		7	
	小計	41	13	0	32	113
社会学部	社会	12	1		1	
	現代文化	10	1		2	
	メディア社会	10	2		1	
	小計	32	4	0	4	142
法学部	法	14	2		3	
	国際ビジネス法	12	4		0	
	政治	9	2		3	
	小計	35	8	0	6	94
観光学部	観光	13	2		2	
	交流文化	10	1		1	
	小計	23	3	0	3	94
福祉学部	福祉	8	3		6	
	コミュニティ政策	10	5		3	
	小計	18	8	0	9	128
経営学部	経営	9	6		1	
	国際経営	7	2		4	
	小計	16	8	0	5	86
現代心理	心理	8	5	2	3	
	映像身体	12	1		1	
	小計	20	6	2	4	97
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	22	5		6	
	小計	22	5	0	6	78
スポーツ	スポーツ	12	7		8	
	小計	12	7	0	8	20
GLAP	1	7		0	9	
環境学部開設準備室	3	1		0	0	
文学研究科	1	0		0	2	
経済学研究科	3	0		0	0	
理学研究科	0	1		0	0	
経営学研究科	0	0		0	3	
ビジネスデザイン研究科	10	0		1	21	
社会デザイン研究科	6	2		1	18	
人工知能科学研究科	3	1		0	8	
キリスト教学研究科	1	1		0	7	
学校・社会教育講座	10	1		0	78	
社会情報教育研究センター	0	0		6	0	
立教学院史資料センター	0	0		1	0	
江戸川風歩記念大衆文化研究センター	0	0		1	0	
共生社会研究センター	0	0		1	0	
大学教育開発・支援センター	0	0		3	0	
立教サービスマーケティングセンター	0	1		0	6	
全学共通カリキュラム運営センター	0	0		0	486	
日本語教育センター	0	3		0	33	
外国語教育研究センター	7	19		0	83	
グローバル教育センター	0	3		0	18	
ラテンアメリカ研究所	0	0		0	8	
立教セカンドステージ大学	0	0		0	12	
合計	367	120		5	104	2041
総計						2637

学生状況

■ 学生数(2024.10.1現在)

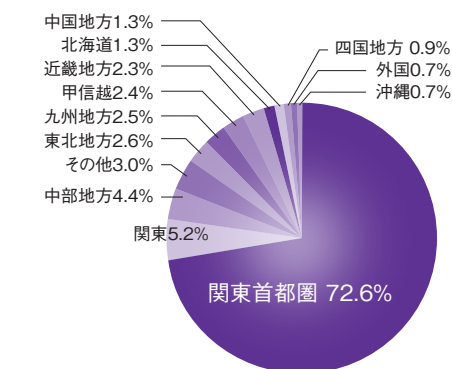
学部・学科等	在籍				
	男子	女子	計		
文学部	キリスト教学科	66	143	209	
	史学科	372	514	886	
	教育学科	教育学専攻	131	246	377
		初等教育専攻	26	54	80
		英米文学専修	232	418	650
		ドイツ文学専修	111	241	352
		フランス文学専修	94	234	328
		日本文学専修	127	349	476
	文芸・思想専修	138	235	373	
	小計	1,297	2,434	3,731	
	経済学部	経済学科	808	593	1,401
会計ファイナンス学科		381	316	697	
経済政策学科		383	347	730	
小計		1,572	1,256	2,828	
理学部	数学科	215	55	270	
	物理学科	251	66	317	
	化学科	174	118	292	
	生命理学科	124	170	294	
	小計	764	409	1,173	
社会学部	社会学科	297	442	739	
	現代文化学科	247	481	728	
	メディア社会学科	263	466	729	
	小計	807	1,389	2,196	
法学部	法学科	654	725	1,379	
	政治学科	207	243	450	
	国際ビジネス法学科	265	375	640	
	小計	1,126	1,343	2,469	
観光学部	観光学科	309	509	818	
	交流文化学科	163	555	718	
	小計	472	1,064	1,536	
福祉学部	福祉学科	137	417	554	
	コミュニティ政策学科	271	562	833	
	スポーツウェルネス学科	75	44	119	
小計	483	1,023	1,506		
スポーツ	スポーツウェルネス学科	414	277	691	
	小計	414	277	691	
	経営学部	経営学科	508	439	947
国際経営学科		299	394	693	
小計		807	833	1,640	
現代心理	心理学科	163	442	605	
	映像身体学科	176	568	744	
	小計	339	1,010	1,349	
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション学科	256	506	762	
	小計	256	506	762	
GLAP	GLAP	26	83	109	
	小計	26	83	109	
合計	8,363	11,627	19,990		

(注) 特別外国人学生・科目等履修生・特別聴講学生を除く

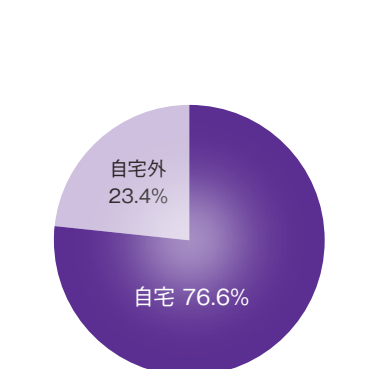
大学院学生在籍者数

研究科・専攻	在籍			
	男子	女子	計	
文学研究科	日本文学専攻	12	18	30
	英米文学専攻	8	5	13
	ドイツ文学専攻	4	6	10
	フランス文学専攻	1	7	8
	史学専攻	19	15	34
	教育学専攻	4	13	17
	比較文明学専攻	12	5	17
	超域文化学専攻	7	6	13
	小計	67	75	142
	経済学研究科	経済学専攻	45	13
小計		45	13	58
理学研究科	物理学専攻	50	9	59
	化学専攻	29	23	52
	数学専攻	15	0	15
	生命理学専攻	24	18	42
小計	118	50	168	
社会学研究科	社会学専攻	26	29	55
	小計	26	29	55
法学研究科	法政治学専攻	16	13	29
	小計	16	13	29
観光学研究科	観光学専攻	16	18	34
	小計	16	18	34
コミュニティ福祉学	コミュニティ福祉学専攻	11	17	28
	小計	11	17	28
スポーツ	スポーツウェルネス学専攻	18	11	29
	小計	18	11	29
ビジネス	ビジネスデザイン専攻	150	72	222
	小計	150	72	222
社会デザイン	社会デザイン学専攻	50	83	133
	小計	50	83	133
人工知能	人工知能科学専攻	127	22	149
	小計	127	22	149
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション専攻	9	30	39
	小計	9	30	39
経営学研究科	経営学専攻	36	21	57
	国際経営学専攻	38	40	78
	小計	74	61	135
現代心理	心理学専攻	3	2	5
	臨床心理学専攻	7	25	32
	映像身体学専攻	8	15	23
	小計	18	42	60
キリスト教学研究	キリスト教学研究コース	7	12	19
	ウィリアムズコース	0	1	1
小計	7	13	20	
合計	752	549	1,301	

■ 立教生の都道府県別出身校(2025年度)



■ 立教生の住居区分(2025年度)



財務状況

■ 事業活動収支計算書にみる財務比率

比率名	算式	2020	2021	2022	2023	2024
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	77.8%	77.1%	79.0%	78.4%	79.1%
補助金比率	補助金 事業活動収入	9.0%	9.8%	8.9%	9.5%	9.0%
基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入	3.3%	4.4%	3.8%	9.0%	18.3%
人件費比率	人件費 経常収入	48.8%	48.7%	49.1%	48.5%	47.4%
教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	36.5%	33.8%	38.1%	37.3%	39.2%
管理経費比率	管理経費 経常収入	4.2%	4.4%	4.5%	4.8%	5.0%
借入金等利息比率	借入金等利息 経常収入	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%

(注)算式について

※経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計 ※補助金比率の分子の補助金には、特別収支の「施設設備補助金」を含む

■ 私立大学等経常費補助金の推移

単位:千円

年度	専任教員等給与費	専任職員給与費	教育研究経常費	特別補助	※その他	計
2020	746,110	214,934	724,844	220,626	253,655	2,160,169
2021	864,178	249,896	767,152	211,611	265,538	2,358,375
2022	742,188	210,379	715,043	187,716	260,926	2,116,252
2023	834,900	227,819	805,833	168,495	269,500	2,306,547
2024	823,151	234,075	796,094	178,189	273,150	2,304,659

(注)その他とは、非常勤教員給与費、教職員福利厚生費、厚生補導費、研究旅費などである。

「教育振興資金」へのご協力をお願い致します

立教学院 募金事務局

「教育振興資金」は、学生・大学院生の保護者の皆さまに対して、本学の教育振興のためにご協力をお願いしている任意の寄付です。皆さまにはご理解・ご支援を賜わり、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

この寄付は、保護者の皆さまに対して在学中毎年お願いをしており、「特定公益増進法人」への寄付として免税措置(寄付金控除)を受けることができます。6月および11月に趣意書と振込用紙を送付させていただいておりますので、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

寄付に関するお問い合わせ

立教学院 募金事務局 TEL: 03-3985-2207

2026年度 学部学費その他の納入金

単位:円

	1年次 2026年度入学者	2年次 2025年度入学者	3年次 2024年度入学者	4年次 2023年度入学者
入学金	200,000			
授業料 (文学部、コミュニティ福祉学部、異文化コミュニケーション学部)	1,178,000	1,178,000	1,178,000	1,128,000
// (経済学部、社会学部、観光学部、経営学部)	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,121,000
// (法学部法学科・政治学科・国際ビジネス法学科〔グローバルコースを除く〕)	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,121,000
// (法学部国際ビジネス法学科グローバルコース)	1,271,000	1,271,000	1,271,000	1,221,000
// (理学部)	1,598,000	1,598,000	1,598,000	1,548,000
// (現代心理学部 心理学科)	1,215,000	1,215,000	1,215,000	1,165,000
// (現代心理学部 映像身体学科)	1,240,000	1,240,000	1,240,000	1,190,000
// (スポーツウエルネス学部)	1,240,000	1,240,000	1,240,000	1,190,000
// (環境学部)	1,350,000	—	—	—
// (GLAP)	1,900,000	1,900,000	1,900,000	1,850,000
実験・実習費 (文学部教育学科初等教育専攻)	—	—	10,000	—
// (理学部物理学科)	10,000	20,000	40,000	120,000
// (理学部化学科)	40,000	80,000	—	80,000
// (理学部生命理学科)	40,000	40,000	80,000	80,000
// (社会学部)	25,000	15,000	15,000	15,000
// (コミュニティ福祉学部福祉学科)	2,000	3,000	—	—
// (コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科)	2,000	3,000	—	—
// (経営学部)	40,000	20,000	20,000	20,000
// (現代心理学部)	15,000	15,000	15,000	15,000
// (異文化コミュニケーション学部)	10,000	3,000	3,000	1,000
// (スポーツウエルネス学部)	30,000	15,000	15,000	15,000
// (環境学部)	40,000	—	—	—
研究会費 (文学部)				3,000
// (社会学部)				1,500
// (法学部)				2,000
// (観光学部)				1,500
// (コミュニティ福祉学部)	—	—	—	2,500
// (経営学部)				3,000
// (現代心理学部)				3,000
// (スポーツウエルネス学部)				3,000
学生健康保険互助組合費	3,500	3,500	3,500	3,500
校友会終身会費 (法学部法学科法曹コースを除く)	—	—	—	50,000
校友会終身会費 (法学部法学科法曹コース)	—	—	50,000	—
[合計]				
文学部	1,381,500	1,181,500	1,181,500	1,184,500
文学部教育学科初等教育専攻	1,381,500	1,181,500	1,191,500	1,184,500
経済学部	1,374,500	1,174,500	1,174,500	1,174,500
理学部数学科	1,801,500	1,601,500	1,601,500	1,601,500
理学部物理学科	1,811,500	1,621,500	1,641,500	1,721,500
理学部化学科	1,841,500	1,681,500	1,601,500	1,681,500
理学部生命理学科	1,841,500	1,641,500	1,681,500	1,681,500
社会学部	1,399,500	1,189,500	1,189,500	1,191,000
法学部法学科 (法曹コースを除く)・政治学科・国際ビジネス法学科 (グローバルコースを除く)	1,374,500	1,174,500	1,174,500	1,176,500
法学部法学科法曹コース	1,374,500	1,174,500	1,224,500	—
法学部国際ビジネス法学科グローバルコース	1,474,500	1,274,500	1,274,500	1,276,500
観光学部	1,374,500	1,174,500	1,174,500	1,176,500
コミュニティ福祉学部福祉学科	1,383,500	1,184,500	1,181,500	1,184,000
コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科	1,383,500	1,184,500	1,181,500	1,184,000
経営学部	1,414,500	1,194,500	1,194,500	1,197,500
現代心理学部心理学科	1,433,500	1,233,500	1,233,500	1,236,500
現代心理学部映像身体学科	1,458,500	1,258,500	1,258,500	1,261,500
異文化コミュニケーション学部	1,391,500	1,184,500	1,184,500	1,182,500
スポーツウエルネス学部	1,473,500	1,258,500	1,258,500	1,261,500
環境学部	1,593,500	—	—	—
グローバル・リベラルアーツ・プログラム (GLAP)	2,103,500	1,903,500	1,903,500	1,903,500

立教大学では、2022年度より外国人留学生向けプログラム(NEXUSプログラム)を開始いたしました。

学費の詳細については、経理課までお問い合わせください。

校友会



立教大学には、卒業生の集まりとして立教大学校友会があります。

校友会は会員相互の親睦を深め、立教大学の発展に寄与する目的で設立されました。現在、全校友数は約24万人。国内のみならず世界各地でつながりを深めており、国内に161、海外にも32もの地域支部(立教会)があります。また、企業・職域ごとの立教会も結成され、昔を懐かしむだけでなく、立教のつながりを自らの生活や仕事にも活かしています。

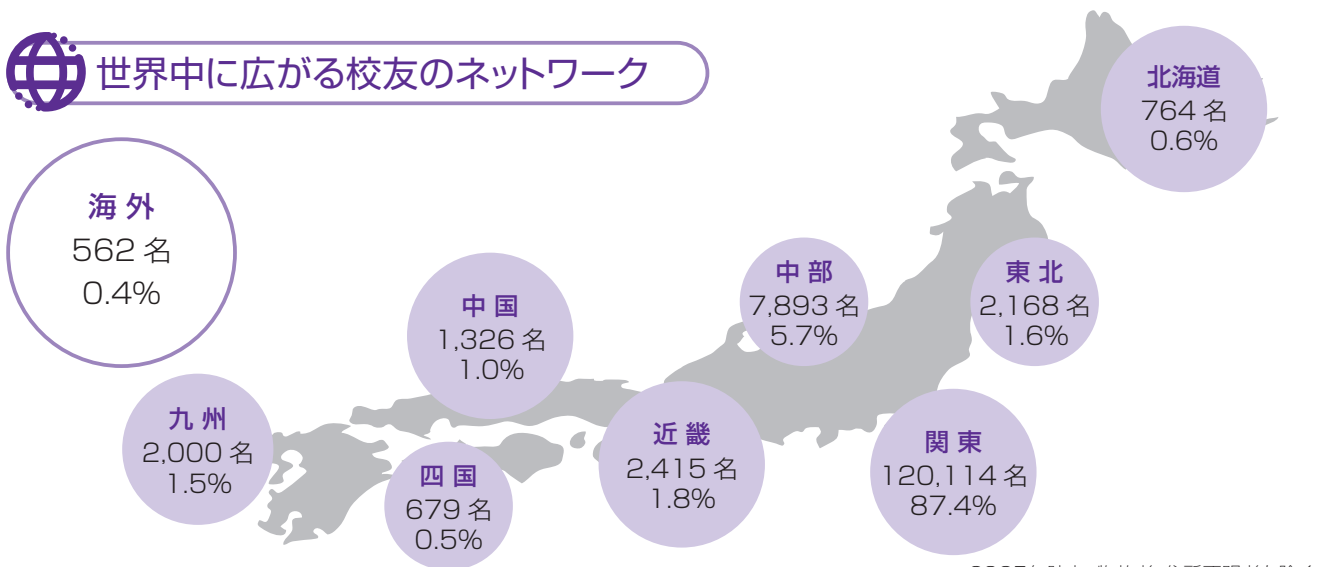
主な行事としては、全国17カ所で開催する「地区校友の集い」や、校友のお祭り「ホームカミングデー」のほか、卒業を控えた4年生をお祝いする「卒業おめでとう祝賀パーティ」の企画・運営も行っています。また、「校友会奨学金」を始めとする各種奨学金の給付も行っており、現役学生の支援にも力を入れています。校友会は全ての立教生に卒業後も立教を楽しみ、立教のつながりを活かしてほしいという思いで活動しています。

問い合わせ 立教大学校友会事務局

TEL : 03-3985-2634 E-mail : koyu@grp.rikkyo.ne.jp Webサイト : <https://koyu.rikkyo.ac.jp/>



世界中に広がる校友のネットワーク



※2025年時点。物故者、住所不明者を除く。

さまざまな分野で活躍する校友

さまざまな企業や業界ごとの立教会(校友同士の集まり)があり、新たな繋がり作りに役立っています。

◆企業・職域立教会交流会

企業人の校友同士の親睦を深めることを趣旨とし、年に一度立教大学校友会が主催しています。学生の皆さまにも社会で活躍する校友との接点を持ち将来のビジョン形成の役に立てていただきたいという思いから、近年は在学生の参加も歓迎しています。講演会と懇親会の二部制で開催しており、例年合計100名を超える校友・学生の皆さまにご参加いただいています。

【これまでに開催した講演会テーマ】

- ・ 県紙の現在とこれから ～ローカルメディアと創る地域の元気～
- ・ 経営者が語るスポーツビジネスの戦略と可能性
- ・ 敏腕経営者が「はたらく」の明日を語る

◆活動紹介

立教経済人クラブ

広く国内外の産業界で活躍する立教大学卒業の経営者・管理者・ヤングエグゼクティブなどから成る団体です。“楽しく役に立つ!”をモットーに「産学連携講演会」「朝食勉強会」などの定期的な勉強会のほか、毎年行われる新春名刺交換会や総会には100名以上の方が出席し、立教同士の繋がりを深めています。



立教経済人クラブ

立教税理士会

立教税理士会は立教大学出身の税理士が集まり、2016年に設立された会です。同窓の税理士の親睦を深める活動だけでなく、経済学部へ寄附講座を提供し、会員皆で講師を担当しています。この講座を通じて、立教出身の税理士がより多く誕生してくれることを願うとともに、税理士を目指さない学生にもさまざまな職業があることを知ってもらいたいと考えています。



立教税理士会

ホームカミングデー

毎年10月に行われるホームカミングデーは大学と校友会が共同で開催するお祭りです。

校友だけでなく、学生、保護者の皆さま、地域の方々にもご参加いただいています。

2026年度 開催日(予定) 10月18日(日)

※イベント内容は決まり次第、ホームカミングデー特設ホームページにてお知らせいたします。

これまでのホームカミングデー

「世代を超えて立教を楽しむ」をテーマに老若男女幅広い世代の方が参加をするホームカミングデー。2025年度も池袋キャンパスで開催し、多くの方にご来場いただきました。



校友会
YouTubeチャンネル



来場者は毎年1万人越え



校友による各種企画



次世代委員会主催のゲーム大会



在学生によるキャンパスツアー

大学・学生への支援

校友会の奨学金は、未来の「立教人」を育てる目的で設置されています。計3つの奨学金制度があり(「校友会奨学金」「校友会外国人留学生奨学金」「校友会成績優秀者留学支援奨学金」)、2024年度は合計で1,720万円を授与しました。



▲校友会奨学金を活用し、将来の研究者を目指して研究に打ち込む学生



▲校友会外国人留学生奨学金を活用し、多言語学習と国際交流に励む学生

次世代委員会

校友会は参加者の年齢層が高く、若手校友は参加しにくいというイメージをもつ人が多いことが長年の課題となっていました。そこで、若い世代が校友会にかかわる「きっかけ」をつくることを目的とした「次世代委員会」を2018年度に立ち上げました。在学生との特別企画や、パパママ世代の校友がお子様と一緒に楽しめるイベントなどを定期的に開催しています。気軽にご参加ください。



▲若手卒業生×学生 交流イベント

立教大学保護者の皆さまへ

立教大学校友会は、1907年の設立以来、校友同士の親睦を図り大学の発展に寄与することを目的に活動を続けてきました。在学生の皆さまも、立教大学を卒業すると校友会の一員となります。卒業後の長い人生、色々な壁に直面したり、選択に迷うことがあるかもしれませんが、そんなとき約24万人の校友は、人生の先輩として、同じ学び舎で過ごした仲間としてきっと力になってくれることでしょう。これから社会に出ていく学生たちが立教のつながりを活かし、より輝く人生を送ってくれることを願っています。

立教大学校友会 会長
株式会社オービックビジネスコンサルタント
代表取締役社長 和田 成史





「緊急連絡システム」に関するご案内

立教学院 総務部 総務課 TEL:03-3985-2253

立教大学では学生・教職員の携帯電話等のメールを利用した「緊急連絡システム」を運用しています。キャンパス所在地である東京都または埼玉県で、震度5強以上の大規模地震が発生した際に、本学から学生・教職員に安否確認メールを自動的に送信します。

ご家庭内におかれましても、各携帯電話会社が提供している災害伝言板サービスやスマートフォンのアプリケーション(災害用に限らず、日常的な連絡に用いているものを含む)等、ご利用しやすい連絡手段を決めておくことを推奨いたします。

「立教カード」は立教応援団の証明書！

ファーストカードに最適！安心・お得なカードです

立教学院では、カード会社と連携して立教学院公認のクレジットカード「立教カード」を発行しています。

このカード事業は学生の教育活動や課外活動の援助を目的としています。

立教カードは、カード会員の皆様のご利用金額に応じて、カード会社から本学へ還元金が支払われる仕組みとなっており、その還元金を活用し「立教カード奨励賞」を設け、毎年、課外活動において優秀な成績を収めた個人や団体へ奨励金を授与しています。

保護者の方はもちろん、在學生は学生カードをお申込みいただけます。

立教大生を応援できる「立教カード」のご入会をこの機会にぜひご検討ください。

立教カードは「三井住友カード」「りそなカード」「JCBカード」の3社からお選びいただけます。



学生カードは在学中年会費無料！

クレジットカードを初めて持つ大学生にとって、一番安心・安全なファーストカードになります。

学生(学部・大学院生)の皆さまは、在学中の年会費が無料、国内・海外旅行傷害保険も無料で付帯しています。(利用付帯)

利用限度額を設けているため安心して学生の皆さんにお持ちいただけます。

便利な！
オンライン入会
好きな時間に簡単にお申込みできます。

立教カード
オンライン入会

特典紹介

- 1 学生カードは在学中年会費無料！国内・海外旅行傷害保険が付帯(利用付帯)
- 2 メサイア演奏会チケットなど立教カード会員限定の抽選プレゼントを実施
- 3 協力店・各種施設の利用サービス(お得な割引などのご優待あり)
- 4 ご結婚の記念にオリジナル記念品をプレゼント
- 5 大学図書館の利用(立教カード提示で入館、図書閲覧が可能)
卒業生は図書館利用証の発行手続きにより、館外貸出もご利用いただけます。
※社会情勢によって入館を制限する場合があります。
- 6 聖路加国際病院の1日人間ドックを特別割引



カードのお申込み・お問い合わせ

【立教学院 立教カード事務局】池袋キャンパス正門前 セントポールプラザ3F

■受付時間 月～金 10:00～15:00(土日祝休) ■TEL:03-3985-2968

■Webサイト <https://www.st-paulsplaza.com/service/rikkyocard/>

■E-mail: rikkyo_card@grp.rikkyo.ne.jp

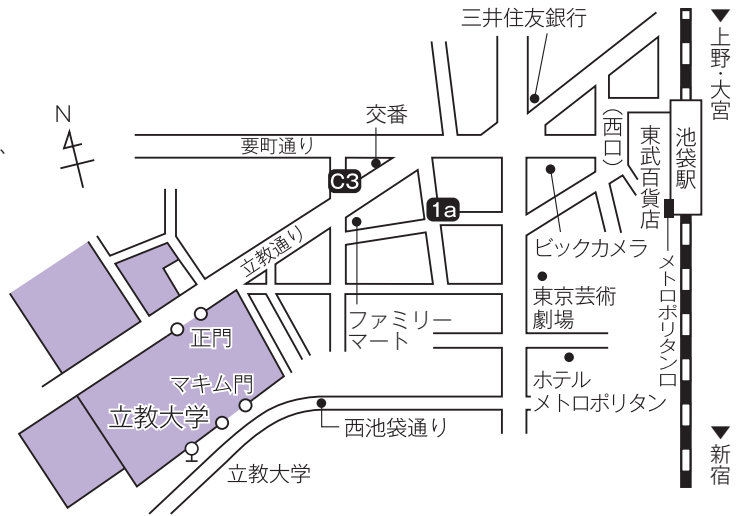


ST. PAUL'S PLAZA
立教カード

池袋キャンパス

〒171-8501
東京都豊島区西池袋3-34-1

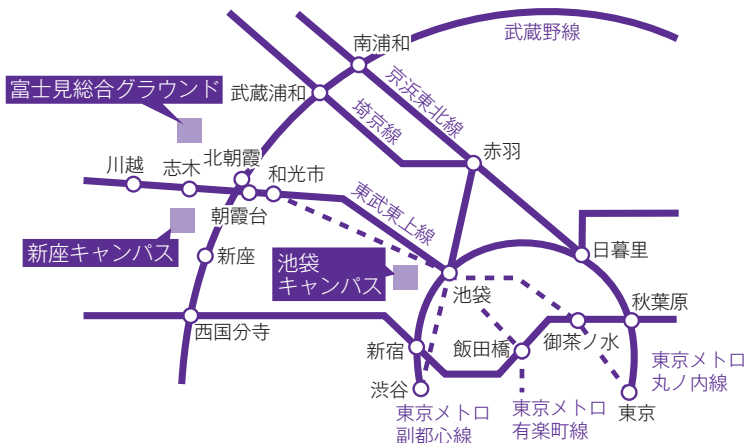
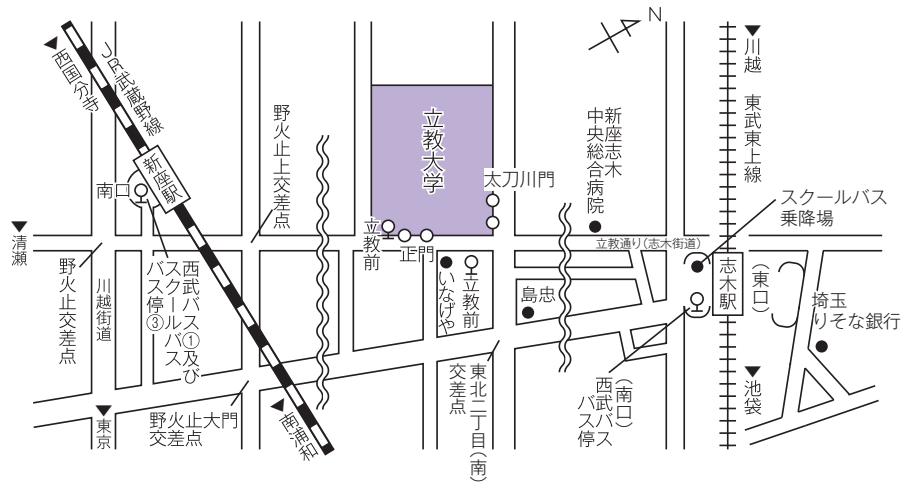
- JR各線、東武東上線、西武池袋線、東京メトロ丸ノ内線・有楽町線・副都心線「池袋駅」下車、西口より徒歩約7分
- 東京駅より東京メトロ丸ノ内線池袋駅まで約17分
- 東京駅よりJR山手線池袋駅まで約23分



新座キャンパス

〒352-8558
埼玉県新座市北野1-2-26

- 東武東上線（東京メトロ有楽町線・副都心線相互乗り入れ）/「志木駅」下車、南口スクールバス利用約7分、志木駅より徒歩約15分、または、南口西武バス利用（所沢駅東口行）、清瀬駅北口行）約10分「立教前」下車
- JR武蔵野線 / 「新座駅」南口下車、スクールバス利用約10分、徒歩約25分、または、南口西武バス利用（志木駅南口行（北野入口経由））約10分「立教前」下車



新座キャンパスでは
スクールバスを運行しています。



新座キャンパスでは、最寄駅（志木駅、新座駅）よりスクールバスを運行しています。学生の通学以外に、本校を訪問する方も利用でき、運賃は無料です。詳細は、右記の2次元コード、もしくは立教大学Webサイトの「アクセス」からご覧ください。



スクールバス
運行情報

各種ご案内



お問い合わせ先一覧

ご不明な点や、ご相談につきましては、電話でお尋ねください。電話番号は、池袋キャンパスは03-3985、新座キャンパスは048-471のあとに下記の番号を続けてください。担当部局へ直通でつながります。

	池袋	新座		池袋	新座
学生生活全般あるいは個人相談については	03-3985-	048-471-	教職・学芸員・司書・社会教育主事の資格については	03-3985-	048-471-
学生生活(授業、試験関係除く)については			学校・社会教育講座事務室へ	2229	—
学生サポート窓口へ	2438	6924	留学・国際交流については		
カウンセラーのいる学生相談所は	2653	7902	国際センターへ	2673	6792
チャプレンのいるチャペルは	2698	6638	学費の納入については		
体育会・サークルについては			経理課へ	2237	—
学生課(課外活動担当)へ	2438	6924	就職、進路については		
奨学金については			池袋/新座キャリアセンターへ	2433	6714
学生課(奨学金担当)へ	2441	6924	卒業後の活動については		
学生健保・学生教育研究災害傷害保険 部屋・アルバイト紹介については			校友会事務局へ	2634	—
学生課(福利厚生担当)へ	2442	6924	ご寄付については		
健康診断については			募金事務局へ	2207	—
保健室へ	2651	6680	書籍、文具、キャリアアップセミナー、 立教カード、保険・旅行については		
授業、試験については			企画課 収益事業事務局へ (www.st-paulsplaza.com)	2768	—
教務事務センターへ	2220	6942	その他ご不明なことは <small>(教育懇談会以外のお問い合わせについては該当部署に電話をおたずねします)</small>		
休学の届出および在学・成績・卒業等の 証明等については			教育懇談会事務局へ	2251	—
教務事務センターへ	2230	6942			
入学試験、転部・転科については					
入学センターへ	2660	—			



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

発行 立教大学 教育懇談会事務局
TEL:03-3985-2251

www.rikkyo.ac.jp

立教大学
シンボル
マーク



楯のマーク(オフィシャル・シンボル)

中央の楯のマークの中に「立」の文字、その下に十字架と開かれた聖書が描かれています。聖書の中の標語「PRO DEO ET PATRIA」は「神と国のために」というラテン語で、立教大学では、「普遍的なる真理を探究し、私たちの世界、社会、隣人のために」ととらえています。

ユリの花の紋章(セカンダリー・シンボル)

ユリは純潔の象徴とされ、キリスト教の三位一体の象徴とされます。立教大学では知・徳・善あるいは、愛・正義・誠を表すものとして使用しています。